

脳と発達

NO TO HATTATSU

第40巻

2008

総会号

第50回日本小児神経学会総会 第50回総会記念国際小児神経シンポジウム プログラム・抄録集

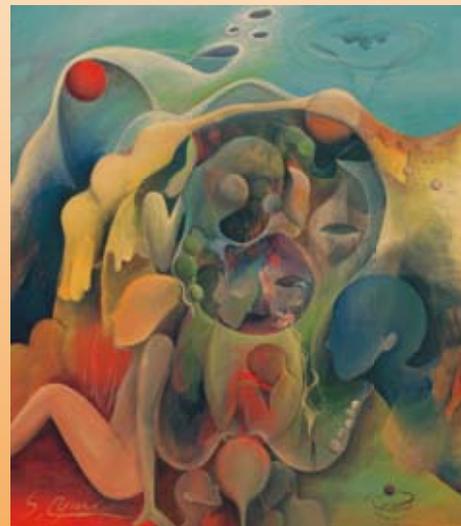
2008年(平成20年)5月28日(水), 29(木), 30日(金), 31日(土)



ホテル日航東京
会長 大澤真木子

小児神経学の過去・現在・未来 —小児神経学の進歩と子どものためになる実践の融合—

| | | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| 会長講演 | | 招待講演 1 | |
| 小児期筋強直性ジストロフィーの臨床 | 大澤真木子 …… 97 | Congenital muscular dystrophy | Francesca Muntoni …… 100 |
| 特別講演 1 | | 招待講演 2 | |
| 脳から見たところ | 岩田 誠 …… 98 | Convulsing our way toward the pathophysiology of autism —clinical models and lessons for treatment— | Roberto Tuchman …… 101 |
| 特別講演 2 | | | |
| 身体の日本 | 養老孟司 …… 99 | | |
| International Symposium Celebrating the 50th Meeting of the JSCN Part I | | | |
| 1) Big brains & small brains —genetic and epigenetic mechanisms of brain size alteration— | 77 | | |
| 2) Recent advances on neurocutaneous syndromes | 78 | | |
| 3) Age-related presentations of hereditary peripheral neuropathies in childhood | 79 | | |
| 4) Japanese encephalitis in Korea and Asian countries—Can it be under control?— | 80 | | |
| 5) The impact of infections of the central nervous system on African children | 81 | | |
| 6) Progress in the biological aspects of status epilepticus | 82 | | |
| 7) Gene therapy for muscular dystrophy | 83 | | |
| 8) Robot suits—cyberoid, biorobotics, control for supporting disabled persons— | 84 | | |
| International Symposium Celebrating the 50th Meeting of the JSCN Part II | | | |
| 1) History of child neurology in Japan | 85 | | |
| 2) Japanese contributions to child neurology—an international perspective— | 86 | | |
| 3) The Japan's role in child neurology in the AOCNA | 87 | | |
| International Symposium Celebrating the 50th Meeting of the JSCN Part III | | | |
| Fukuyama congenital muscular dystrophy—an overview— | 88 | | |
| 1) Most severe phenotype of Fukutinopathy | 89 | | |
| 2) Mild phenotypes in Fukutinopathy | 90 | | |
| 3) Fukutin gene mutations cause dilated cardiomyopathy with minimal muscle weakness | 91 | | |
| 4) Development of Fukutinopathy model mouse | 92 | | |
| International Symposium Celebrating the 50th Meeting of the JSCN Part IV | | | |
| 1) Recent advance in spinal muscular atrophy | 93 | | |
| 2) New insights into the pathogenesis of SMA | 94 | | |
| 3) Congenital myasthenic syndrome | 95 | | |



OFFICIAL JOURNAL OF THE JAPANESE SOCIETY OF CHILD NEUROLOGY

有限責任中間法人 日本小児神経学会機関誌

Vol. 40 Suppl.

会長挨拶

爽やかに風薫り、木の芽が美しく、命の息吹を感じずる頃となりました。

皆様には、充実した日々をお過ごしのことと拝察致します。平成20年5月28日(水)～31日(土)に「第50回日本小児神経学会総会」を、ホテル日航東京(お台場)において開催させていただきます。ここにその抄録集をお届けできますことを大変嬉しく存じます。

日本小児神経学会は、次世代を担う子供達の神経系を護り、より良い発達を促進すること、病に罹患した子ども達の状態改善ひいてはそのご家族の幸福も目的としています。本会は、小児医療の中でも発達や代謝病など多岐にわたる小児の神経疾患について専門的・集中的に研究討議する目的で、小児臨床神経学研究会として、1961年7月に世界に先駆けて発足しました。以来、毎年(初期は年数回)開催され、日本の小児神経疾患の啓蒙、研究、診療の討議の場所として、多大な貢献を致して参りました。1964年に日本小児神経学研究会と名称変更、1977年には研究会から学会へと発展いたしました。本学会は日本医学会にも所属し、会員も3,000人を擁する小児科の分科会の中でも最大の会であります。

21世紀は脳(心)の世紀とも言われておりますが、特に小児期は脳の発生、発達という大きな変遷を遂げる時期でもあり、成人とは異なるアプローチが必要でもあります。脳と心に関し、岩田 誠先生、養老孟司先生からハツとする様なお話が伺えると思います。近年発達障害の青年期の行動の問題が注目されておりますが、発達障害の原因も少しずつ明らかにされ、理論的根拠に基づいた治療・ケアも可能となってきました。招待講演はAutismについてTuchman先生、筋ジストロフィーをMuntoni先生にお願いしました。7つの主題(てんかん、フクチン異常症、新生児、脳外科、発達障害、遺伝、心身障害)を教育講演とシンポジウムの組み合わせで取り上げ、スポンサーードセミナーにも連動したものをお願いしました。1例をあげれば、朝日賞を受賞された福山幸夫名誉理事長の福山型筋ジストロフィーに関する展望に続いて、フクチノパチーの驚くべきスペクトラムに関するシンポジウム。また、発達障害では思春期の乗り越え方に関する佐々木正美先生の講演に続き、病態生理とケアの実践に関わるシンポジウム、さらには働く女性の子育てに役立つ講演へと続きます。いずれも素晴らしいものばかりです。また、ワークショップで脳炎・脳症を取り上げました。

本会では、国際社会に通用する若手研究者の育成も目的とし、50回記念国際シンポジウム、記念式典に加え、アジア諸国の小児神経学会との交流を目的としたプログラムを組み、国際社会に通用する若手研究者の育成、アジアにおける小児神経学の発展をも目的としております。28日の国際シンポジウムでは、日本からも脳の形成、筋ジスの遺伝子治療、ロボットスーツの知見を発信していただきます。また、Moshé先生にはシンポジウムに加えて翌朝にとても魅力的な脳波判読の教育講演もお願いしています。一般演題も518題を数え、多様な盛りだくさんのプログラムです。女性の共同参画、次世代育成支援のため、託児も行います(制限あり、申し込み順)。コンサータ処方医登録の講習会も行われます。

今回の主題は、「科学としての小児神経学の進歩と子どものためになる実践の融合」です。昔は、神経疾患はほとんど治療法がありませんでしたが、今は治療可能なものができました。科学的根拠を持ち、しかも子どもや家族のためになる実践ができる時代を迎えつつあると思います。医療の目的は医療的な悩みを持つ方に対し、その方の環境、心理的/精神的、社会的、経済的要因を考慮しつつ、医療的ケアを提供し、可能な最善の医療を検討し、生活の最適化を図ることです。小児ではことにその配慮が必要です。診断告知の場では、医師が希望を見つけ、「親が子に失望し、嫌悪する状況」を避ける配慮も必要です。学問的には正確でも家族への支援がないと2次障害を起し易いと思います。

記念すべき50回という学術集会を東京女子医科大学でお世話させていただきますことを大変光栄に存じております。皆様十分に楽しんでいただき、よりエビデンスのある医療を個々のお子さんのために実践するヒントを得てお帰りいただければ、この上ない喜びでございます。「学会に参加される前よりも参加された後の方が先生方の表情がより喜びに満ち輝いたものになりますよう」教室員一同鋭意努力して参る所存でございます。お誘い合わせの上、ご参加下さいますようお願い申し上げます。

敬具

平成20年5月

第50回日本小児神経学会総会
会長 大澤真木子
東京女子医科大学小児科主任教授

| | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| ■会場周辺図 | S004 |
| ■会場案内図 | S005 |
| ■お知らせとお願い | S007 |
| ■プログラム委員・総会事務局 | S010 |
| ■総会日程 | |
| 役員会・各種委員会 | S011 |
| ■日程 | |
| 第 1 日目 (5 月 28 日) | S013 |
| 第 2 日目 (5 月 29 日) | S014 |
| 第 3 日目 (5 月 30 日) | S016 |
| 第 4 日目 (5 月 31 日) | S018 |
| ■プログラム | |
| 特別演題日程 | S019 |
| 第 1 日目 (5 月 28 日) | S027 |
| 第 2 日目 (5 月 29 日) | S029 |
| 第 3 日目 (5 月 30 日) | S049 |
| 第 4 日目 (5 月 31 日) | S074 |
| ■ International Symposium Celebrating the 50th Meeting of the JSCN | |
| Part I : Recent Advances in Child Neurology | S077 |
| Part II : Celebration & Ceremony for the 50th Meeting of the JSCN | S085 |
| Part III : Fukutinopathy (含: 教育講演 3・シンポジウム 3) | S088 |
| Part IV : Topics in neuromuscular disorders | S093 |
| ■特別講演抄録 | |
| 会長講演 (小児期筋強直性ジストロフィーの臨床) | S097 |
| 特別講演 1 (脳から見たところ) | S098 |
| 特別講演 2 (身体の日本) | S099 |
| 招待講演 1 (Congenital muscular dystrophy) | S100 |
| 招待講演 2 (Convulsing our way toward the pathophysiology of autism — clinical models and lessons for treatment —) | S101 |
| 教育講演 1 (小児てんかんの外科治療) | S102 |
| 教育講演 2 (脳保護戦略最前線—研究室から ICU へ先進国から途上国へ—) | S103 |
| 教育講演 4 (脳性麻痺児の痙縮に対する選択的脊髄後根遮断術) | S105 |
| 教育講演 5 (発達障害への理解と対応—思春期をより円滑に乗り越えるために—) | S106 |
| 教育講演 6 (神経系細胞分化を制御するエピジェネティクス機構) | S107 |
| 教育講演 7 (脳性麻痺の考え方) | S108 |
| 教育講演 8 (微小管関連蛋白 doublecortin とその仲間たちによる神経細胞遊走の制御機構) | S109 |

| | |
|-------------------------------------------|------|
| シンポジウム 1 (小児てんかんの診断と治療－エキスパートオピニオン－) | S110 |
| シンポジウム 2 (新生児神経学トピックス) | S115 |
| シンポジウム 4 (小児神経学的側面から見た脳神経外科的アプローチ) | S120 |
| シンポジウム 5 (発達障害への小児神経学の寄与) | S125 |
| シンポジウム 6 (小児神経患者とエビジェネティクス) | S129 |
| シンポジウム 7 (重症心身障害児の包括的医療) | S134 |
| ワークショップ (脳炎・脳症：最近の話題) | S139 |
| モーニング教育セミナー 1 | S142 |
| モーニング教育セミナー 2 | S143 |
| モーニング教育セミナー 3 | S144 |
| モーニング教育セミナー 4 | S145 |
| モーニング教育セミナー 5 | S146 |
| モーニング教育セミナー 6 | S147 |
| ランチョンセミナー 1 | S148 |
| ランチョンセミナー 2 | S150 |
| ランチョンセミナー 3 | S151 |
| ランチョンセミナー 4 | S152 |
| ランチョンセミナー 5 | S153 |
| ランチョンセミナー 6 | S154 |
| ランチョンセミナー 7 | S155 |
| 夜間集会 1 (第 2 回眠りの研究会 子どもたちの健やかな眠りが未来を育む) | S156 |
| 夜間集会 2 イブニングセミナー (薬事委員会, コンサータ錠適正流通管理委員会) | S160 |
| 夜間集会 3 イブニングセミナー | S161 |
| 夜間集会 4 (社会活動委員会) | S162 |
| 夜間集会 5 イブニングセミナー | S170 |
| ■一般演題抄録 (口演) | |
| 第 2 日目 (5 月 29 日) | S173 |
| 第 3 日目 (5 月 30 日) | S205 |
| 第 4 日目 (5 月 31 日) | S258 |
| ■一般演題抄録 (ポスター) | |
| 第 2 日目 (5 月 29 日) | S273 |
| 第 3 日目 (5 月 30 日) | S354 |
| ■索引 | S433 |
| ■歴代総会会長・開催地・会期一覧 | S439 |
| ■瀬川プログラム招待講演者一覧 | S440 |
| ■日本小児神経学会優秀論文賞受賞者一覧 | S441 |
| ■協賛会社一覧 | S442 |

I. 参加者各位へ

- (1) 会場：ホテル日航東京（東京都港区台場 1-9-1 電話 03-5500-5500）
- (2) 受付：5月28日（水）11時より、ホテル日航東京 1F ホワイエにて開始します。
- (3) 登録：参加費 15,000 円を参加受付に提出して下さい。引換えにネームカード（領収書兼）をお渡しします。所属と氏名を記入して下さい。ネームカードのない方は、入場できません。なお、初期臨床研修医は 5,000 円、大学学生（大学院生は除く）は 2,000 円です。いずれも身分を証明するものがが必要です。大学学生は学生証呈示、初期研修医はあらかじめ所属施設長より現在初期研修中である証明書を取得し、持参して下さい。参加受付にて所属と氏名を用紙に記入してネームカードを受け取って下さい。
- (4) 個人情報保護に関する注意：個人情報保護の観点から、日本小児神経学会の『患者プライバシー保護に関する指針』を遵守し、本学会に発表する内容には患者さんやその他の関係者を特定できるような情報を表示しないようお願いいたします。特に、発作時ビデオ等、患者さんの表情などを提示せざるを得ない動画データについては、患者さんの同意が得られているものとします。さらに、今学会では会場内において、発表内容を写真およびビデオ等で撮影することは一切禁止させていただきます。参加者の皆様のご協力をお願い申し上げます。
- (5) 抄録集：総会当日はプログラム・抄録集をご持参下さい。お持ちでない方は参加受付内の抄録集販売受付にてお求め下さい。1冊 2,000 円で販売します。
- (6) 総会：第 1 回会員総会を学会 3 日目（5月30日）13時30分より第 1 会場（ベガサス A）で行います。会員参加者全員の出席をお願いいたします。
- (7) 日本小児神経学会年会費：平成 20 年度年会費（15,000 円）を未納の方は当該受付にて納入して下さい。
- (8) B&D 購読料：英文誌 Brain & Development の購読者で平成 20 年度購読料（18,000 円）を未納の方、または新たに購読を希望される方は当該受付にて納入して下さい。
- (9) 専門医研修単位：小児神経科専門医研修単位として学会参加 8 単位が認められます。また、小児科専門医研修単位として 8 単位が認められます。
- (10) 会員懇親会：会員懇親会を学会 2 日目（5月29日）19時00分より、ホテル日航東京 1F、第 1,2 会場（ベガサス A,B）にて行います。参加を希望される方は、当日 15 時までに参加費 5,000 円を添えて、参加受付内の懇親会受付までお申し込み下さい。
- (11) 学会 2 日目から 4 日目に共催セミナーを企画しております。
- (12) 会場での呼び出しは原則としていたしません。会場受付ホワイエの掲示板にご注意下さい。
- (13) 駐車場：会場内の駐車スペース（有料）は限られております。予めご了承下さい。

II. 座長各位へ

開始予定時刻の 10 分前までに、各会場座長受付にお立ち寄りの上、次座長席にお着き下さい。各会場とも座長交代のアナウンスはいたしません。口演の発表は各演題 7 分、討論は 3 分です。ポスターセッションは、発表 3 分、討論 2 分を含めて各演題 5 分間です。

スムーズな学会進行のために時間の厳守をよろしくお願い申し上げます。

III. 演題の採択

- (1) 520 題の演題申し込みがありました。プログラム委員会の審議の結果、演題取り下げ 2 題を除いた 518 題を採用、このうち一般口演 199 題、ポスターセッション 319 題と決定しました。
- (2) 本学会における海外助成プログラムの受賞者については、日本小児神経学会国際渉外委員会の審査

によりそれぞれ下記のように決定いたしました。

1. 2008 JSCN International Education Fellowship (2008 年日本小児神経学会国際教育助成) は Dr.Harshuti Shah (India) が受賞しました。受賞講演の演題番号は O-053 です。
2. 特別 Traveler Award を Dr.Ajit Rayamajhi (Nepal) が受賞しました。演題番号は O-033 です。
3. JSCN Award for Asian Young Investigator は下記の 7 人に受賞が決定いたしました。

| 受賞者 | 演題番号 |
|-------------------------------|-------|
| Dr. Xiong Hui (China) | O-151 |
| Dr. Lung-Chang Lin (Taiwan) | O-036 |
| Dr. Pou Leng Cheong (Taiwan) | O-035 |
| Dr. Wen-Chen Liang (Taiwan) | P-050 |
| Dr. Young-Eun Park (Korea) | O-149 |
| Dr. Jao-Shwann Liang (Taiwan) | P-007 |
| Dr. GUNADI (Indonesia) | O-169 |

- (3) 日本人を対象にした優秀ポスター賞 (若干名) は当日、本賞選考委員会の審査により決定し、5 月 29 日のセッションについては同日の懇親会で、5 月 30 日のセッションについては閉会式で発表いたします。

IV. 口演発表者へ

- (1) 発表は 7 分、討論は 3 分です。時間を厳守して下さい。
- (2) 一般演題は PC による発表のみとします。
- (3) PC 受付

受付場所は 1F の PC センター (1F ホワイエ) です。

*データの修正はできませんので予め最終版を作成してお持ち下さい。

受付時間：発表時間の 45 分前までにお越し下さい。

返却：発表終了後、発表データは事務局にて破棄いたします。

発表者は前演者が口演を開始したら直ちに次演者席に着席して下さい。

- (4) PC および発表データに関して

①各会場機材は Windows XP (Office 2003) を用意しております。

②プレゼンテーションソフトは Microsoft Power Point 2000 以降で作成して下さい。また、Windows Vista, Office2007 で発表用データを作成された場合は、必ず PC 本体をお持ち下さい。

③発表データを CD-R もしくは USB タイプのメモリースティックのいずれかに保存したものをお持ち下さい。予備を含めたメディアを 2 つ以上お持ちいただくことをお勧めいたします。MO, FD, ZIP 等は受け付けません。

④使用するフォントは特殊なものではなく、Power Point に設定されている標準的なフォントをご使用下さい。スライドはできるだけ英語で作製してください。

【日本語】MS ゴシック, MSP ゴシック, MS 明朝, MSP 明朝

【英語】Century, Century Gothic, Times New Roman, Arial, Arial Black,

Arial Narrow, Courier, Courier New, Georgia

⑤ PC 動画セッション以外の一般口演では動画・音声は使用できません。

⑥舞台上にはモニターとマウス・キーボードが設置されていますので、各自の操作で進めて下さい。

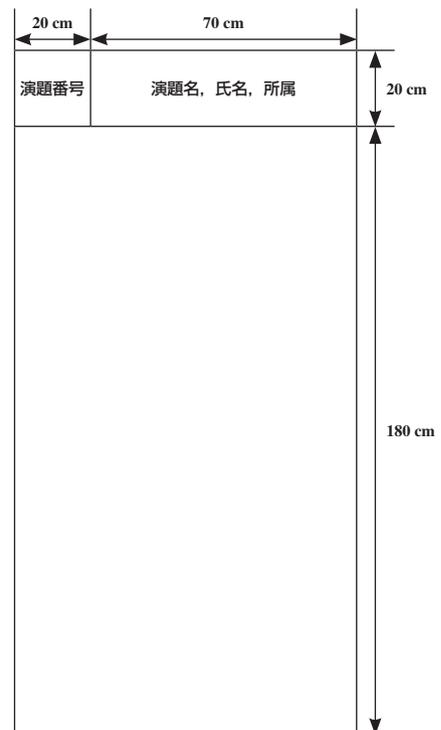
⑦発表データを Macintosh で作成された方は、ご自身のコンピュータを持参して下さい。接続は MiniD-Sub15 ピンのコネクタになりますので、パソコンの外部モニター出力端子の形状を必ず確認し、必要な場合は付属の接続端子をご持参下さい。

V. PC 動画セッション発表者へ

- (1) セッション名に (PC 動画) と記載されているセッションについては、動画・音声を使用することが可能です。
- (2) 発表の中で動画をご使用する場合、遠方からでも判読可能な鮮明な動画をご用意下さい。ビデオ (VHS・Mini-DV などの録画テープ) は使用できません。
- (3) PC 動画受付
受付場所は 1F の PC センター (1F ホワイエ) です。
*データの修正はできませんので予め最終版を作成してお持ち下さい。
受付時間：発表時間の 45 分前までにお越し下さい。
発表者は前演者が口演を開始したら直ちに次演者席に着席して下さい。
- (4) PC に関して
 - ①ご自身の PC をご準備下さい。省電力、スクリーンセーバー、パスワード、ネットワーク設定等は解除しておいて下さい。また、付属の AC アダプターもご持参下さい。
 - ②接続は MiniD-Sub15 ピンのコネクターになりますので、パソコンの外部モニター出力端子の形状を必ず確認し、必要な場合は付属の接続端子をご持参下さい。
 - ③ PC センターにて動作確認を行い、PC のカバーに演題番号、氏名、所属を記入した用紙を貼って下さい。用紙は PC センターにて準備します。
 - ④ PC はご自身で発表会場に持ち込み、会場前方のオペレーター卓にご提出下さい。発表終了後、オペレーター卓にてご返却いたします。

VI. ポスターセッション発表者へ

- (1) ポスターは学会 2, 3 日目に掲示・発表を行います。学会 2, 3 日目の指定時間に各演題については発表 3 分、討論 2 分といたします。質問者の方は、質問内容を簡潔にまとめておいて下さい。発表者の方は、各セッション開始時間の 10 分前には各自のポスター前で待機して下さい。
- (2) ポスター受付
受付場所：ポスター会場前にて行います。
掲 示：学会 2 日目 (5 月 29 日) に発表の方は、29 日の 8 時から 9 時の間に各自で掲示して下さい。
学会 3 日目 (5 月 30 日) に発表の方は、30 日の 8 時から 9 時の間に各自で掲示して下さい。
撤 去：学会 2 日目 (5 月 29 日) に発表を行った方は、29 日の 18 時から 19 時の間に各自で取り外して下さい。
学会 3 日目 (5 月 30 日) に発表を行った方は、30 日の 18 時から 19 時の間に各自で取り外して下さい。
当方での取り外し、返却はいたしません。撤去時間を過ぎても掲示してあるポスターは総会事務局にて処分いたします。
- (3) パネル
有効スペースは横 90 cm × 縦 180 cm です。演題番号を掲示



しておきますので、所定の場所に演題名、氏名、所属を含めて掲示して下さい（図参照）。押しピン等は会場にて用意いたします。

Ⅶ. 討論者へ

討論者は、座長の許可を得た上で、所属と氏名をはっきり述べ、討論を簡潔明瞭に進めて下さい。後続の討論者は、マイクの位置に並んで時間の節約をして下さい。

Ⅷ. ランチョンセミナー、モーニング教育セミナー、イブニングセミナー、夜間集会について

学会 1 日目（5 月 28 日）は 19 時より夜間集会 1 を開催します。

学会 2 日目（5 月 29 日）は 12 時半よりランチョンセミナー 1, 2, 3 を開催します。

学会 3 日目（5 月 30 日）は 8 時よりモーニング教育セミナー 1, 2, 3 を、12 時 20 分よりランチョンセミナー 4, 5, 6, 7 を、19 時より夜間集会 2, 3, 4, 5 を開催します。

学会最終日（5 月 31 日）はモーニング教育セミナー 4, 5, 6 を開催いたします。

いずれもお弁当または軽食を用意いたします。

ランチョンセミナーに関しては、各セミナーが開催される日の 8 時より 1F ホワイエにてランチョンセミナー整理券を先着順で配布しておりますので、必要な方はお受け取り下さい。

Ⅸ. 託児室

託児室をご用意いたしました。詳細はホームページをご参照の上、ご登録下さい。登録の締め切りは 5 月 14 日です。なお、定員になり次第締め切らせていただきます。

プログラム委員（敬称略、50 音順）

相原正男、石原傳幸、泉 達郎、大塚頌子、大野耕策、大井静雄、加我牧子、北住映二、久保田健夫、小西 徹、斎藤加代子、齊藤伸治、杉本健郎、榊原洋一、高梨潤一、竹内義博、高橋孝雄、新島新一、橋本俊顕、原 寿郎、浜野晋一郎、伏木信次、松石豊次郎、三池輝久、水口 雅、宮尾益知、桃井真里子、山野恒一、山内秀雄（以上 29 名）

事務局

事務局 長：小国弘量 事務局：平澤恭子、坂内優子、永木 茂、平野幸子、舟塚 真、今井 薫
式典特別委員：新島新一

事務局連絡先

〒 162-8666 東京都新宿区河田町 8-1
東京女子医科大学小児科学講座
Tel：03-3353-8111
Fax：03-5269-7338
Email：50jscn@convention.co.jp

| 日程 | 時間 | 階 | 部屋 |
|---------------------------|---------------|----|------------|
| 5月28日(水)〈総会第1日目〉 | | | |
| 理事会 | 9:00 ~ 11:00 | 1F | 第6会場 ジュピター |
| 理事会(新) | 11:40 ~ 12:00 | 1F | 第6会場 〃 |
| 評議員会(第1回社員総会) | 11:30 ~ 13:20 | 1F | 第5会場 アポロン |
| 5月29日(木)〈総会第2日目〉 | | | |
| 倫理委員会 | 8:00 ~ 9:00 | 1F | 菊 |
| 国際渉外委員会 | 8:00 ~ 9:00 | 1F | 菘 |
| 社会活動委員会 | 8:00 ~ 9:00 | 3F | ローズルーム |
| 脳と発達編集委員会 | 12:30 ~ 13:30 | 3F | ローズルーム |
| 歴史・史料委員会 | 12:30 ~ 13:30 | 1F | 梅 |
| 診療報酬向上委員会 | 12:30 ~ 13:30 | 3F | オーキッド |
| 5月30日(金)〈総会第3日目〉 | | | |
| 薬事委員会 | 12:30 ~ 13:30 | 3F | ローズルーム |
| Brain & Development 編集委員会 | 12:30 ~ 13:30 | 3F | サンライズテラス |
| 長期計画委員会 | 12:30 ~ 13:30 | 3F | オーキッド |
| 用語委員会 | 12:30 ~ 13:30 | 3F | アイリス |
| アドバイザーカウンスル | 16:00 ~ 17:00 | 3F | アイリス |
| 夜間集会(社会活動委員会) | 19:00 ~ 21:00 | 1F | 第4会場 シリウス |
| 夜間集会(薬事委員会) | 19:00 ~ 21:00 | 1F | 第1会場 ペガサスA |
| 5月31日(土)〈総会第4日目〉 | | | |
| 教育委員会 | 8:00 ~ 9:00 | 1F | 第6会場 ジュピター |
| 専門医委員会 | 8:00 ~ 9:00 | 1F | 第6会場 ジュピター |
| ホームページ委員会 | 11:00 ~ 12:00 | 1F | 第6会場 ジュピター |
| 第51回総会プログラム委員会 | 12:00 ~ 13:00 | 1F | 第6会場 ジュピター |

*会場は全てホテル日航東京

| | アポロン 第 5 会場 | ジュピター 第 6 会場 | オリオン ポスター会場 | |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8:00 | | | | |
| 9:00 | | | | |
| 10:00 | | 理事会 9:00 ~ 11:00 | | |
| 11:00 | | | | |
| 12:00 | 評議員会 (第 1 回社員総会) 11:30 ~ 13:20 | 理事会(新) 11:40 ~ 12:00 | | [略語表] ・ISC50JSCN インターナショナルシンポジウム (International Symposium Celebrating the 50th Meeting of the JSCN) ・SL 特別講演 (Special Lecture) ・IL 招待講演 (Invited Lecture) ・DL 教育講演 (Didactic Lecture) ・S シンポジウム (Symposium) ・WS ワークショップ (Workshop) ・MS モーニング教育セミナー (Morning Educational Seminar) ・LS ランチョンセミナー (Luncheon Seminar) ・ES 夜間集会 (Evening Seminar) ・O 一般演題 (口演) ・P 一般演題 (ポスター) ※セッション名の後に*の ついている演題は英語発 表を含みます |
| 13:00 | | | | |
| 14:00 | Opening Address | | ポスター掲示 | |
| 15:00 | ISC50 JSCN Part I 13:30 ~ 18:00 Recent Advances in Child Neurology Chairman:Robert Rust Takao Takahashi Chairman:Ching-Shiang chi Paolo Curatolo Chairman:Masaya Segawa Robert Ouvrier Chairman:Aida Salonga Yong-Seung Hwang Chairman:Virginia Wong Charles RJC Newton Chairman:Ein-Yiao Shen Solomon L Moshé Chairman:Yoshiyuki Suzuki Shinichi Takeda Chairman:Shigehiko Kamoshita Yoshiyuki Sankai | | | |
| 16:00 | | | | |
| 17:00 | | | | |
| 18:00 | | | | |
| 19:00 | | | | |
| 20:00 | | ES 1 19:00 ~ 21:00 第 2 回眠り研究会 子どもたちの健やかな眠りが 未来を育む 座長：神山 潤 | | |
| 21:00 | | | | |

| ベガサス A+B+C | | | シリウス | アポロン |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 第 1 会場 | 第 2 会場 | 第 3 会場 | 第 4 会場 | 第 5 会場 |
| 8:00 | | | | |
| 9:00 | <p>会長講演 小児期筋強直性ジストロフィーの臨床 8:50 ~ 9:20 大澤真木子 座長：熊谷公明</p> <p>優秀論文賞授賞式と受賞者のミニ講演 9:30 ~ 9:50 座長：橋本俊顕</p> | | | |
| 10:00 | <p>ISC50 JSCN Part II 9:50 ~ 11:30 Celebration & Ceremony for the 50th Meeting of the JSCN Yukio Fukuyama Robert A Ouvrier Yong-Seung Hwang Master and Mistress of Ceremonies : Hirokazu Oguni Kyoko Hirasawa</p> | | | |
| 11:00 | | | | |
| 12:00 | <p>SL 1 11:30 ~ 12:30 脳から見たところ 岩田 誠 座長：三池輝久</p> | | | |
| 13:00 | <p>LS 1 12:30 ~ 13:30 1) てんかん治療の新たな展開 池田昭夫 2) 抗てんかん薬の作用機序に基づく難治性てんかんの治療 須貝研司 座長：田中達也</p> | | <p>LS 2 12:30 ~ 13:30 1) Diagnosis and management of Seizures in the ICU 奥村彰久 2) Brain monitoring made easy Anita Kharbteng Chairman : Wu Xi-Ru</p> | |
| 14:00 | <p>SL 2 13:30 ~ 14:30 身体の日本 養老孟司 座長：桃井真里子</p> | | | |
| 15:00 | <p>IL 1 14:30 ~ 15:30 Congenital muscular dystrophy Francesca Muntoni 座長：大澤真木子</p> | | <p>学習障害 14:30 ~ 15:30 (O-001~006) 座長：宮尾益知 相原正男</p> | <p>てんかん・けいれん 1 14:30 ~ 15:40 (O-024~030) 座長：森本武彦 金澤 治</p> |
| 16:00 | <p>IL 2 15:30 ~ 16:30 Convulsing our way toward the pathophysiology of autism -clinical models and lessons for treatment- Roberto Tuchman 座長：加我牧子</p> | | <p>脳性麻痺・療育 1 15:30 ~ 16:30 (O-007~012) 座長：奈良隆寛 下泉秀夫</p> | <p>てんかん・けいれん 2* 15:40 ~ 17:00 (O-031~038) 座長：Kun-Long Hung 廣瀬伸一</p> |
| 17:00 | | | <p>脳性麻痺・療育 2 16:30 ~ 17:40 (O-013~019) 座長：児玉和夫 小沢 浩</p> | <p>てんかん・けいれん 3 17:00 ~ 18:10 (O-039~045) 座長：萩野谷和裕 花井敏男</p> |
| 18:00 | | | <p>発達障害と遺伝 17:40 ~ 18:20 (O-020~023) 座長：二木康之 加藤光広</p> | |
| 19:00 | | | | |
| 20:00 | | | | |

| ジュピター 第 6 会場 | | オリオン ポスター会場 | | | | | | | |
|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 8:00 | | | | | | | | | |
| 9:00 | | ポスター展示 | | | | | | | |
| 10:00 | | | | | | | | | |
| 11:00 | | | | | | | | | |
| 12:00 | | | | | | | | | |
| 13:00 | <p>LS 3 12:30 ~ 13:30 脳科学に基づいた講演の方法 — 国際学会での発表を成功させるために — 大坪 宏 座長：高橋孝雄</p> | | | | | | | | |
| 14:00 | | | | | | | | | |
| 15:00 | <p>代謝・変性 1* 14:30 ~ 15:50 (O-046 ~ 053) 座長：児玉浩子 泉 達郎</p> | | | | | <p>奇形・染色体 14:30 ~ 15:05 (P-001 ~ 007) 座長：和田敬仁 山本俊至</p> | <p>代謝 1 14:30 ~ 15:15 (P-041 ~ 049) 座長：藤井達哉 乾 幸治</p> | <p>発達障害 (一般・診断) 14:30 ~ 15:15 (P-083 ~ 091) 座長：安原昭博 齋藤義朗</p> | <p>新生児 1 14:30 ~ 15:05 (P-122 ~ 128) 座長：洲鎌盛一 小泉ひろみ</p> |
| 16:00 | <p>奇形・染色体* 15:50 ~ 16:50 (O-054 ~ 059) 座長：大橋博文 玉井 浩</p> | | | | | <p>筋 1 15:05 ~ 15:50 (P-008 ~ 016) 座長：館 延忠 野村芳子</p> | <p>代謝 2 15:15 ~ 16:05 (P-050 ~ 059) 座長：下澤伸行 桜庭 均</p> | <p>発達障害 (検査 1) 15:15 ~ 15:45 (P-092 ~ 097) 座長：萩野竜也 洲鎌倫子</p> | <p>薬物 15:05 ~ 15:35 (P-129 ~ 134) 座長：伊藤 進 内海康文</p> |
| 17:00 | <p>遺伝 1 16:50 ~ 17:50 (O-060 ~ 065) 座長：松石豊次郎 梶井直文</p> | | | | | <p>筋 2 15:50 ~ 16:30 (P-017 ~ 024) 座長：竹島泰弘 小牧宏文</p> | <p>血管障害 16:05 ~ 16:45 (P-060 ~ 067) 座長：佐藤博美 岡 明</p> | <p>発達障害 (検査 2) 15:45 ~ 16:15 (P-098 ~ 103) 座長：金村英秋 吳 東進</p> | <p>睡眠・自律神経 15:35 ~ 16:15 (P-135 ~ 142) 座長：栗屋 豊 藤本伸治</p> |
| 18:00 | | | | | | <p>遺伝 2 16:30 ~ 17:10 (P-025 ~ 032) 座長：熊谷俊幸 難波栄二</p> | <p>腫瘍・脳外 16:45 ~ 17:30 (P-068 ~ 076) 座長：川脇 寿 山下純正</p> | <p>発達障害 (支援・療育) 16:15 ~ 17:00 (P-104 ~ 112) 座長：大野雅樹 糸見和也</p> | <p>脳奇形 16:15 ~ 16:55 (P-143 ~ 150) 座長：伊東恭子 後藤知英</p> |
| 19:00 | | <p>遺伝 3 17:10 ~ 17:50 (P-033 ~ 040) 座長：沢石由記夫 富和清隆</p> | <p>精神障害 17:30 ~ 18:00 (P-077 ~ 082) 座長：友田明美 古莊純一</p> | <p>発達障害 (治療・経過) 17:00 ~ 17:45 (P-113 ~ 121) 座長：石崎朝世 小出博義</p> | <p>感染・免疫 1 16:55 ~ 17:25 (P-151 ~ 156) 座長：田沼直之 糸数直哉</p> | | | | |
| 20:00 | | | | | <p>感染・免疫 2 17:25 ~ 17:55 (P-157 ~ 162) 座長：武藤順子 平岩幹男</p> | | | | |

| ベガサス A + B + C | | | | | シリウス | アポロン |
|-----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|------|------|
| ベガサス A 第1会場 | ベガサス B 第2会場 | ベガサス C 第3会場 | シリウス 第4会場 | アポロン 第5会場 | | |
| 8:00 MS 1 8:00 ~ 9:00 眼で見るてんかん発作 一部分発作編 坂内優子 座長: 泉 達郎 | MS 2 8:00 ~ 9:00 EEG-an introduction- Solomon L. Moshé 座長: 大塚頌子 | MS 3 8:00 ~ 9:00 3) 成長ホルモン治療が脳代謝 に及ぼす影響について 新島新一 座長: 高田五郎 | | | | |
| 9:00 DL 1 9:00 ~ 9:40 小児てんかんの外科治療 堀 智勝 座長: 田中達也 | ISC50 JSCN Part III (DL 3) 9:00 ~ 9:40 Fukutinopathy Yukio Fukuyama Chairman: Ikuya Nonaka | DL 5 9:00 ~ 9:40 発達障害への理解と対応 一患春期をよの田増に乗り越 えるために 佐々木正美 座長: 山野恒一 | DL 7 脳性麻痺の考え方 9:00 ~ 9:40 横地 健治 座長: 小西 徹 | 急性脳炎・脳症 1 9:00 ~ 9:50 (O-085 ~ 089) 座長: 高梨潤一 山内秀雄 | | |
| 10:00 S 1 9:50 ~ 12:00 小児てんかんの診断と治療 —エキスパートオピニオン— 座長: 小国弘量 大塚頌子 | ISC50 JSCN Part III (S3) 9:50 ~ 12:00 Phenotypic Spectrum of Fukutinopathy Chairman: Tadayuki Ishihara Hideo Sugie | S 5 9:50 ~ 12:00 発達障害への小児神経学の寄与 座長: 原 仁 小枝達也 | S 7 9:50 ~ 12:00 重症心身障害児の包括的医療 座長: 北住映二 岩崎裕治 | 急性脳炎・脳症 2 9:50 ~ 10:30 (O-090 ~ 093) 座長: 前垣義弘 水口 雅 | | |
| | | | | 急性脳炎・脳症 3 10:30 ~ 11:30 (O-094 ~ 099) 座長: 市山高志 久保田雅也 | | |
| | | | | 急性脳炎・脳症 4 11:30 ~ 12:10 (O-100 ~ 103) 座長: 塩見正司 浜野晋一郎 | | |
| 12:00 | | | | | | |
| 13:00 LS 4 12:20 ~ 13:20 神経変性疾患の治療法実現に 向けて 辻 省次 座長: 衛藤義勝 | LS 5 12:20 ~ 13:20 Treatment for intractable epilepsy Paolo Curatolo 座長: 飯沼一宇 | LS 6 12:20 ~ 13:20 働く女性と子どもの 心の発達 渡辺久子 座長: 山野恒一 | LS 7 12:20 ~ 13:20 神経筋疾患の機器に よる咳介助 石川悠加 座長: 川井 充 | | | |
| 14:00 第1回会員総会 13:30 ~ 14:30 | | | | | | |
| 15:00 | ISC50 JSCN Part IV 14:30 ~ 15:40 Topics in neuromuscular disorders Yuh-Jyh Jong Yasushi Ito Keiko Ishigaki Chairman: Masaharu Hayashi Yuh-Jyh Jong | WS 14:30 ~ 15:40 脳炎・脳症: 最近の話題 座長: 山内秀雄 水口 雅 | 画像 1 14:30 ~ 15:30 (O-066 ~ 071) 座長: 椎原弘章 熊田聡子 | 発達・評価 14:30 ~ 15:30 (O-104 ~ 109) 座長: 中村みほ 五十嵐一枝 | | |
| 16:00 DL 2 15:40 ~ 16:20 脳保護戦略最前線—研究室から ICUへ—先進国から遠上国へ— 岩田欣介 座長: 山本 仁 | DL 4 15:40 ~ 16:20 脳性麻痺児の痙攣に対する選 択的脊髄後根遮断術 平 孝臣 座長: 斎藤加代子 | DL 6 15:40 ~ 16:20 神経系細胞分化を制御するエ ピジェネティクス機構 中島欽一 座長: 大野耕策 | てんかん 5 15:30 ~ 16:40 (O-072 ~ 078) 座長: 大府正治 高橋幸利 | 発達障害実態調査 15:30 ~ 16:30 (O-110 ~ 115) 座長: 平林伸一 林 隆 | | |
| 17:00 S 2 16:20 ~ 18:30 新生児神経学トピックス 座長: 早川昌弘 新島新一 | S 4 16:20 ~ 18:30 小児神経学的側面から見た 脳神経外科的アプローチ 座長: 大井静雄 伊達裕昭 | S 6 16:20 ~ 18:30 小児神経疾患とエピジェネ ティクス 座長: 久保田健夫 伏木信次 | てんかん 6 16:40 ~ 17:40 (O-079 ~ 084) 座長: 服部英司 宮本晶恵 | 発達障害の支援 16:30 ~ 17:30 (O-116 ~ 121) 座長: 星加明徳 小野次朗 | | |
| 18:00 | | | | 自閉症・その他 17:30 ~ 18:20 (O-122 ~ 126) 座長: 山下裕史朗 真田 敏 | | |
| 19:00 ES2 19:00 ~ 21:00 薬事委員会 コンサータ錠適正流通管理 委員会 座長: 宮島 祐 林 北見 | | ES3 19:00 ~ 20:00 日本の多発性硬化症と 視神経脊髄炎 座長: 原 寿郎 | ES4 19:00 ~ 21:00 社会活動委員会 座長: 杉本健郎 | ES5 座長: 大塚頌子 根津敦夫 | | |
| 20:00 | | | | | | |
| 21:00 | | | | | | |

| | ジュピター | オリオン | | | |
|-------|---------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| | 第 6 会場 | ポスター会場 | | | |
| 8:00 | | ポスター展示 | | | |
| 9:00 | 免疫性神経疾患 9:00 ~ 9:40 (O-127 ~ 130) 座長: 平野幸子 大矢達男 | | | | |
| 10:00 | 新生児 2 画像その他 9:40 ~ 10:40 (O-131 ~ 136) 座長: 楠田 聡 久保田哲夫 | | | | |
| 11:00 | 新生児 3 けいれん・脳波 10:40 ~ 11:40 (O-137 ~ 142) 座長: 早川文雄 常石秀市 | | | | |
| 12:00 | 脳外科 11:40 ~ 12:20 (O-143 ~ 146) 座長: 藍原康雄 藤井克則 | | | | |
| 13:00 | | | | | |
| 14:00 | | | | | |
| 15:00 | 筋ジストロフィー 1* 14:30 ~ 15:50 (O-147 ~ 154) 座長: 石川幸辰 林由起子 | 脳炎 1 14:30 ~ 15:15 (P-163 ~ 171) 座長: 林 北見 今村 淳 | てんかん 1 14:30 ~ 15:05 (P-203 ~ 209) 座長: 皆川公夫 堀田秀樹 | 画像 2 14:30 ~ 15:15 (P-240 ~ 248) 座長: 川上康彦 森本昌史 | 発達 14:30 ~ 15:10 (P-281 ~ 288) 座長: 稲垣真澄 高田 哲 |
| 16:00 | | 筋ジストロフィー 2 15:50 ~ 16:40 (O-155 ~ 159) 座長: 大谷宜伸 松尾雅文 | 脳炎 2 15:15 ~ 15:55 (P-172 ~ 179) 座長: 牛島廣治 田辺卓也 | てんかん 2 15:05 ~ 15:40 (P-210 ~ 216) 座長: 吉川秀人 前澤真理子 | 画像 3 15:15 ~ 15:50 (P-249 ~ 255) 座長: 松尾宗明 中川栄二 |
| 17:00 | Pompe 病* 16:40 ~ 17:50 (O-160 ~ 166) 座長: 井田博幸 田中あけみ | 脳炎 3 15:55 ~ 16:35 (P-180 ~ 187) 座長: 吉良龍太郎 麻生誠二郎 | てんかん 3 15:40 ~ 16:15 (P-217 ~ 223) 座長: 麻生幸三郎 鈴木保宏 | 末梢神経 15:50 ~ 16:35 (P-256 ~ 264) 座長: 下野昌幸 沖永剛志 | 脳性麻痺・療育 2 15:50 ~ 16:20 (P-297 ~ 302) 座長: 田角 勝 北原 信 |
| 18:00 | 神経・筋疾患* 17:40 ~ 18:20 (O-167 ~ 170) 座長: 竹内義博 後藤雄一 | 脳炎 4 16:35 ~ 17:05 (P-188 ~ 193) 座長: 藤田之彦 平安京美 | てんかん薬物療法 16:15 ~ 16:55 (P-224 ~ 231) 座長: 長尾秀夫 岩崎信明 | 形態・病理 16:35 ~ 17:10 (P-265 ~ 271) 座長: 宍倉啓子 高野知行 | 脳性麻痺・合併症 16:20 ~ 17:05 (P-303 ~ 311) 座長: 佐々木征行 落合幸勝 |
| 19:00 | | 脳炎 5 17:05 ~ 17:50 (P-194 ~ 202) 座長: 愛波秀男 吉岡 博 | てんかん 4 16:55 ~ 17:35 (P-232 ~ 239) 座長: 松本昭子 松坂哲應 | 代謝・変性 1 17:10 ~ 17:55 (P-272 ~ 280) 座長: 中野和俊 小坂 仁 | 脳性麻痺・不随意運動 17:05 ~ 17:45 (P-312 ~ 319) 座長: 樋口和郎 神田豊子 |
| 20:00 | | | | | |
| 21:00 | | | | | |

| | ベガサス A 第 1 会場 | ベガサス B 第 2 会場 | ベガサス C 第 3 会場 |
|-------|------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 8:00 | MS 4 8:00 ~ 9:00 小奇形から胎児病理を推理する 小崎健次郎 座長：山本 仁 | MS 5 8:00 ~ 9:00 小児神経画像診断 A to Z 大場 洋 座長：橋本俊顕 | MS 6 8:00 ~ 9:00 眼で見るてんかん発作—全般発作編— 小国弘量 座長：大田原俊輔 |
| 9:00 | DL 8 9:00 ~ 9:40 微小管関連蛋白 doublecortin とその 仲間たちによる神経細胞遊走の制御機構 田中輝幸 座長：高橋孝雄 | 不随意運動・てんかん (PC 動画) 9:00 ~ 9:50 (O-178 ~ 182) 座長：若井周治 木村一恵 | 補助診断 (PC 動画) 9:00 ~ 9:50 (O-189 ~ 193) 座長：山形崇倫 作田亮一 |
| 10:00 | 睡眠・行動障害 9:40 ~ 10:50 (O-171 ~ 177) 座長：神山 潤 杉田克生 | てんかん・けいれん 4 9:50 ~ 10:50 (O-183 ~ 188) 座長：吉永治美 永井利三郎 | ジストニア (PC 動画) 9:50 ~ 10:50 (O-194 ~ 199) 座長：館野昭彦 田川哲三 |
| 11:00 | 閉会式 10:50 ~ 11:00 | | |
| 12:00 | | 市民公開講座 こどもの心を温かく育むために 12:00 ~ 16:00 座長：松石豊次郎 榊原洋一 | |
| 13:00 | | 開催にあたって～子どもの心を温かく育むために、 今私達ができる事～ 大澤真木子 | |
| 14:00 | | 参加者の皆様へ 榊原洋一 1. 早起き早寝は子どもの心を育てる 神山 潤 | |
| 15:00 | | 2. 子どもの心の問題に対する小児神経科医の挑 戦 ～臨床と脳科学から～ 永光信一郎 | |
| 16:00 | | 3. トラウマの脳科学的研究から 加藤進昌 | |
| 17:00 | | 4. 障害児教育の立場から ～発達障害の子どもの ケアパートナーとして～ 原美智子 | |
| 18:00 | | 5. うつ病から子どもを護る 猪子香代 閉会挨拶 松石豊次郎 | |

会長講演

5月29日(木) 8:50～9:20 第1～3会場
 小児期筋強直性ジストロフィーの臨床
 座長 熊谷公明 (小さき花の園名誉園長)
 講演 大澤真木子 (東京女子医科大学小児科)

特別講演 1

5月29日(木) 11:30～12:30 第1～3会場
 脳から見たところ
 座長 三池輝久 (兵庫県立総合リハビリテーションセンター小児の睡眠と発達医療センター)
 講演 岩田 誠 (東京女子医科大学神経内科)

特別講演 2

5月29日(木) 13:30～14:30 第1～3会場
 身体の日本
 座長 桃井真里子 (自治医科大学小児科)
 講演 養老孟司 (東京大学名誉教授)

招待講演 1

5月29日(木) 14:30～15:30 第1～3会場
 Congenital muscular dystrophy
 座長 大澤真木子 (東京女子医科大学小児科)
 講演 Francesca Muntoni (Dubowitz Neuromuscular Centre, UCL Institute of Child Health, London, UK)

招待講演 2

5月29日(木) 15:30～16:30 第1～3会場
 Convulsing our way toward the pathophysiology of autism
 — clinical models and lessons for treatment —
 座長 加我牧子 (国立精神・神経センター精神保健研究所)
 講演 Roberto Tuchman (Department of Neurology, Miami Children's Hospital Dan Marino Center, Miami FL, USA)

日本小児神経学会優秀論文賞授賞式と受賞者のミニ講演

5月29日(木) 9:30～9:50 第1～3会場
 座長: 橋本俊顕 (徳島赤十字ひのみね総合療育センター)

International Symposium Celebrating the 50th Meeting of the JSCN Part I

5月28日(水) 13:30～18:00 第5会場
 Chairman Robert Rust (Department of Neurology, University of Virginia School of Medicine, Charlottesville, VA, USA)

Recent Advances in Child Neurology

- 1) Big brains & small brains — genetic and epigenetic mechanisms of brain size alteration —
 Chairman Robert Rust (Department of Neurology, University of Virginia School of Medicine, Charlottesville, VA, USA)
 Takao Takahashi (Department of Pediatrics, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan)
- 2) Recent advances on neurocutaneous syndromes
 Chairman Ching-Shiang Chi (Department of Pediatrics, Taichung Veterans General Hospital, Taichung, Taiwan)
 Paolo Curatolo (Professor of Pediatric Neurology and Psychiatry, Department of Neuroscience, Tor Vergata University, Rome, Italy)
- 3) Age-related presentations of hereditary peripheral neuropathies in childhood
 Chairman Masaya Segawa (Segawa Clinic)
 Robert A Ouvrier (The Institute for Neuromuscular Research, The Children's Hospital at Westmead, Sydney, Australia)

- 4) Japanese encephalitis in Korea and Asian countries— Can it be under control?—
Chairman Aida Salonga (Child Neuroscience Department, Philippine Children's Medical Center, Manila, Philippine)
Yong-Seung Hwang (Seoul National University, Children's Hospital, Seoul, Korea)
- 5) The impact of infections of the central nervous system on African children
Chairman Virginia Wong (Department of Pediatrics, Queen Mary Hospital, Hong Kong, China)
Charles RJC Newton (Kenya Medical Research Institute, Kilifi, Kenya and University College London, London, UK)
- 6) Progress in the biological aspects of status epilepticus
Chairman Ein-Yiao Shen (Department of Pediatrics, Taipei Medical University-Wan Fang Medical Center, Taipei, Taiwan)
Solomon L. Moshé (Albert Einstein College of Medicine and Montefiore Medical Center New York, NY, USA)
- 7) Gene therapy for muscular dystrophy
Chairman Yoshiyuki Suzuki (International University of Health and Welfare, Ohtawara, Japan)
Shinichi Takeda (Department of Molecular Therapy, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry, Kodaira, Japan)
- 8) Robot suits— cybernoid, biorobotics, control for supporting disabled persons—
Chairman Shigehiko Kamoshita (President Emeritus, International Medical Center of Japan, Tokyo, Japan)
Yoshiyuki Sankai (Department of System & Information Engineering, University of Tsukuba, Tsukuba, Japan)

International Symposium Celebrating the 50th Meeting of the JSCN Part II

Celebration & Ceremony for the 50th Meeting of the JSCN

5月29日(木) 9:50～11:30 第1～3会場

Master and Mistress of Ceremonies: Hirokazu Oguni & Kyoko Hirasawa (Dept of Ped TWMU)

Opening Address

Maiko Osawa (President of the 50th JSCN Congress)

- 1) History of Child Neurology in Japan
Yukio Fukuyama (Founder of the Japanese Society of Child Neurology)
- 2) Japanese contributions to child neurology— an international perspective—
Robert A Ouvrier (President of ICNA)
- 3) The Japan's role in child neurology in the AOCNA
Yong-Seung Hwang (President of AOCNA)

Presentation of Awards to JSCN Contributors

International Symposium Celebrating the 50th Meeting of the JSCN Part III

5月30日(金) 9:00～9:40 第2会場

Fukutinopathy

Chairman Ikuya Nonaka (National Center Hospital for Mental, Nervous and Muscular Disorders, National Center of Neurology and Psychiatry, Kodaira, Japan)

Fukuyama congenital muscular dystrophy : an overview

Yukio Fukuyama (Tokyo Woman's Medical University, Tokyo, Japan)

International Symposium Celebrating the 50th Meeting of the JSCN Part III

5月30日(金) 9:50～12:00 第2会場

Phenotypic Spectrum of Fukutinopathy

Chairman Tadayuki Ishihara (National Hakone Hospital, Odawara, Japan)

Hideo Sugie (Jichi Medical University, Jichi Children's Medical Center, Shimotsuke, Japan)

- 1) Most severe phenotype of Fukutinopathy
Mieko Yoshioka (Department of Pediatric Neurology, Kobe City Pediatric and General Rehabilitation Center for the Challenged, Kobe, Japan)
- 2) Mild phenotypes in Fukutinopathy
Francesco Muntoni (Dubowitz Neuromuscular Centre, UCL Institute of Child Health, London, UK)
- 3) Fukutin gene mutations cause dilated cardiomyopathy with minimal muscle weakness
Terumi Murakami¹, Yukiko Hayashi², Ikuya Nonaka², Makiko Osawa¹, Ichizo Nishino²
(Department of Pediatrics Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan¹, Department of Neuromuscular Research, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry, Kodaira, Japan²)
- 4) Development of Fukutinopathy model mouse
Tatsushi Toda (Division of Clinical Genetics, Osaka University Graduate School of Medicine, Suita, Japan)

International Symposium Celebrating the 50th Meeting of the JSCN Part IV

5月30日(金) 14:30～15:40 第2会場

Topics in neuromuscular disorders

Chairman Masaharu Hayashi (Tokyo Metropolitan Institute for Neuroscience, Fuchu, Japan)
Yuh-Jyh Jong (Kaohsiung Medical University, Kaohsiung, Taiwan)

1) Recent advance in spinal muscular atrophy

Yuh-Jyh Jong (Graduate Institute of Medicine, College of Medicine, Kaohsiung Medical University, Kaohsiung, Taiwan)

2) New insights into the pathogenesis of SMA

Yasushi Ito (Department of Pediatrics, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan)

3) Congenital myasthenic syndrome

Keiko Ishigaki (Department of Pediatrics, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan)

教育講演 1

5月30日(金) 9:00～9:40 第1会場

小児てんかんの外科治療

座長 田中達也 (旭川医科大学脳神経外科)

講演 堀 智勝 (東京女子医科大学脳神経外科)

教育講演 2

5月30日(金) 15:40～16:20 第1会場

脳保護戦略最前線—研究室からICUへ、先進国から途上国へ—

座長 山本 仁 (聖マリアンナ医科大学小児科)

講演 岩田欧介 (久留米大学小児科・高次脳疾患研究所, ロンドン大学母子保健学部周産期脳研究所)

教育講演 4

5月30日(金) 15:40～16:20 第2会場

脳性麻痺児の痙縮に対する選択的脊髄後根遮断術

座長 斎藤加代子 (東京女子医科大学遺伝子医療センター)

講演 平 孝臣 (東京女子医科大学脳神経外科)

教育講演 5

5月30日(金) 9:00～9:40 第3会場

発達障害への理解と対応—思春期をより円滑に乗り越えるために—

座長 山野恒一 (大阪市立大学大学院発達小児医学)

講演 佐々木正美 (川崎医療福祉大学医療福祉学部)

教育講演 6

5月30日(金) 15:40～16:20 第3会場

神経系細胞分化を制御するエピジェネティクス機構

座長 大野耕策 (鳥取大学脳神経小児科)

講演 中島欽一¹, 神山 淳¹, 波平昌一¹, Gage Fred H², 岡野栄之³, 澤本知延⁴
(奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科分子神経分化制御学¹, ソーク研究所²
慶応義塾大学生理学³, 名古屋市立大学大学院再生医学⁴)**教育講演 7**

5月30日(金) 9:00～9:40 第4会場

脳性麻痺の考え方

座長 小西 徹 (長岡療育園)

講演 横地健治 (聖隷三方原病院小児神経科)

教育講演 8

5月31日(土) 9:00～9:40 第1会場

微小管関連蛋白 doublecortin とその仲間たちによる神経細胞遊走の制御機構

座長 高橋孝雄 (慶應義塾大学小児科)

講演 田中輝幸 (東京大学大学院発達医科学)

シンポジウム 1

5月30日(金) 9:50～12:00 第1会場
 小児てんかんの診断と治療—エキスパートオピニオン—
 座長 小国弘量(東京女子医科大学小児科)
 大塚頌子(岡山大学小児神経科)

- 1) West 症候群とその周辺
 小林勝弘(岡山大学小児神経科)
- 2) Lennox 症候群とその周辺
 藤原建樹(国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)
- 3) ミオクロニーてんかん症候群
 小国弘量(東京女子医科大学小児科)
- 4) 潜因性、症候性部分てんかんの診断と成因、治療
 須貝研司(国立精神・神経センター武蔵病院小児神経科)
- 5) CSWS, LKS とその周辺
 奥村彰久(順天堂大学小児科)

シンポジウム 2

5月30日(金) 16:20～18:30 第1会場
 新生児神経学トピックス
 座長 早川昌弘(名古屋大学周産母子センター)
 新島新一(順天堂大学練馬病院小児科)

- 1) 脳モニターとしての amplitude integrated EEG の有用性
 平澤恭子(東京女子医科大学小児科)
- 2) 周産期脳障害の画像診断最前線
 相田典子(神奈川県立こども医療センター放射線科)
- 3) 脳保護療法—脳低温療法か? 薬物療法か?—
 清水正樹(埼玉県立小児医療センター未熟児新生児科)
- 4) 新生児医療が中枢神経予後に与えるインパクト
 城所博之(安城更生病院小児科, 名古屋大学大学院)

シンポジウム 4

5月30日(金) 16:20～18:30 第2会場
 小児神経学的側面から見た脳神経外科的アプローチ
 座長 大井静雄(東京慈恵会医科大学脳神経外科)
 伊達裕昭(千葉県こども病院脳神経外科)

- 1) 児童虐待における頭部外傷の脳神経外科的アプローチ
 荒木 尚(日本医科大学高度救命救急センター)
- 2) 小児脳血管障害における病態の特殊性と治療上の諸問題
 田母神令¹, 大井静雄^{1,2}, 阿部俊昭¹(東京慈恵会医科大学脳神経外科学¹, 同 病院総合母子健康医療センター小児脳神経外科²)
- 3) 頭蓋内くも膜嚢胞の治療適応と治療上の諸問題
 宮嶋雅一(順天堂大学脳神経外科)
- 4) 潜在性二分脊椎の診断とタイプ別に見た治療指針決定の諸問題
 栗原 淳, 西本 博(埼玉県立小児医療センター脳神経外科)
- 5) 神経疾患に対する細胞移植・再生療法: 脳虚血を中心に
 伊達 勲(岡山大学大学院脳神経外科学)

シンポジウム 5

5月30日(金) 9:50～12:00 第3会場
 発達障害への小児神経学の寄与
 座長 原 仁(横浜市中部地域療育センター)
 小枝達也(鳥取大学地域学部地域教育学科発達科学)

- 1) 自閉症の脳過形成—神経画像研究の知見—
 橋本俊顕(鳴門教育大学学校教育学部特別支援教育講座)
- 2) 発達障害と実行機能障害—認知神経心理学的理解—
 後藤裕介(山梨大学小児科)
- 3) AD/HD の行動抑制障害—臨床神経生理学の立場から—
 岡崎慎治(筑波大学人間総合科学研究科障害科学専攻)

- 4) “好い事作り”療法—困っている子と親への発達カウンセリング—
石川 丹 (楡の会こどもクリニック)

シンポジウム6

5月30日(金) 16:20～18:30 第3会場

小児神経疾患とエピジェネティクス

座長 久保田健夫 (山梨大学大学院環境遺伝医学)
伏木信次 (京都府立医科大学大学院分子病態病理学)

- 1) 小児神経疾患におけるエピジェネティクスのオーバービュー
久保田健夫 (山梨大学大学院環境遺伝医学)
- 2) Angelman 症候群—ゲノム刷り込み疾患の診断と治療—
齊藤伸治 (北海道大学小児科)
- 3) インプリント遺伝子 *Necdin* によるニューロン発達の制御
吉川和明 (大阪大学蛋白質研究所神経発生制御研究室)
- 4) 染色体工学的手法によるヒト染色体 15q11-13 重複モデルマウスの作製
内匠 透 (大阪バイオサイエンス研究所)
- 5) 環境化学物質による発生期脳エピゲノムの変化
伏木信次 (京都府立医科大学大学院分子病態病理学)

シンポジウム7

5月30日(金) 9:50～12:00 第4会場

重症心身障害児の包括的医療

座長 北住映二 (心身障害児総合医療療育センター)
岩崎裕治 (東京都立東部療育センター)

- 1) 重症心身障害児の呼吸障害への対応の進歩と課題
北住映二 (心身障害児総合医療療育センター)
- 2) 重症心身障害児における喉頭・気管障害の重要性と対応
水野勇司 (国立病院機構福岡東医療センター小児科)
- 3) 重症心身障害児における外科的対応の諸問題—特に変形による影響とその対応—
世川 修 (東京女子医科大学小児外科)
- 4) 重症心身障害児(者)の生を全うする医療としての「選択的医療」
山田美智子 (神奈川県立こども医療センター重症心身障害児施設)
- 5) 重症心身障害児者の地域医療ネットワークの必要性—在宅での palliative care と QOL—
宍倉啓子 (朋診療所)

ワークショップ

5月30日(金) 14:30～15:40 第3会場

脳炎・脳症：最近の話題

座長 山内秀雄 (獨協医科大学小児科)
水口 雅 (東京大学大学院発達医科学)

- 1) 小児急性脳症の最近の話題
山内秀雄 (獨協医科大学小児科)
- 2) 特異な脳炎・脳症後てんかん—AERRPS (難治頻回部分発作重積型急性脳炎) の臨床像—
栗屋 豊 (聖母会聖母病院小児科, 東京女子医科大学小児科)
- 3) インフルエンザ脳症の病型分類の試み
塩見正司 (大阪市立総合医療センター小児救急科)

モーニング教育セミナー1：興和創薬株式会社

5月30日(金) 8:00～9:00 第1会場

眼で見るてんかん発作—部分発作編—

座長 泉 達郎 (大分大学小児科)
講演 坂内優子 (東京女子医科大学小児科)

モーニング教育セミナー2：ユーシービージャパン株式会社

5月30日(金) 8:00～9:00 第2会場

EEG : an introduction

座長 大塚頌子 (岡山大学小児神経科)
講演 Solomon L Moshé (Albert Einstein College of Medicine and Montefiore Medical Center, New York, NY, USA)

モーニング教育セミナー 3：ファイザー株式会社

5月30日(金) 8:00～9:00 第3会場
成長ホルモン治療が脳代謝に及ぼす影響について
座長 高田五郎(公立米内沢総合病院)
講演 新島新一(順天堂大学練馬病院小児科)

モーニング教育セミナー 4：エーザイ株式会社

5月31日(土) 8:00～9:00 第1会場
小奇形から胎児病理を推理する
座長 山本 仁(聖マリアンナ医科大学小児科)
講演 小崎健次郎(慶應義塾大学小児科)

モーニング教育セミナー 5：万有製薬株式会社

5月31日(土) 8:00～9:00 第2会場
小児神経画像診断 A to Z
座長 橋本俊顕(徳島赤十字ひのみね総合療育センター)
講演 大場 洋(帝京大学放射線科)

モーニング教育セミナー 6：大日本住友製薬株式会社

5月31日(土) 8:00～9:00 第3会場
眼で見るてんかん発作—全般発作編—
座長 大田原俊輔(岡山大学名誉教授)
講演 小国弘量(東京女子医科大学小児科)

ランチョンセミナー 1：協和発酵工業株式会社

5月29日(木) 12:30～13:30 第1～3会場
座長 田中達也(旭川医科大学脳神経外科)
1) てんかん治療の新たなる展開
講演 池田昭夫(京都大学神経内科)
2) 抗てんかん薬の作用機序に基づく難治性てんかんの治療
講演 須貝研司(国立精神・神経センター武蔵病院小児神経科)

ランチョンセミナー 2：VIASYS HEALTHCARE

5月29日(木) 12:30～13:30 第4会場
座長 Wu Xi-Ru (First Teaching Hospital Beijing Medical University, Beijing, China)
1) Diagnosis and management of seizures in the ICU
講演 奥村彰久(順天堂大学小児科)
2) Brain monitoring made easy
講演 Anita Kharbteng (Clinical Support Manager, VIASYS Healthcare Hong Kong, China)

ランチョンセミナー 3：帝人ファーマ株式会社

5月29日(木) 12:30～13:30 第6会場
脳科学に基づいた講演の方法—国際学会での発表を成功させるために—
座長 高橋孝雄(慶應義塾大学小児科)
講演 大坪 宏(Director of Clinical Neurophysiology Division of Neurology, the Hospital for Sick Children, Asistant Professor, Department of Pediatrics, University of Toronto, Toront, Canada)

ランチョンセミナー 4：ジェンザイム・ジャパン株式会社

5月30日(金) 12:20～13:20 第1会場
神経変性疾患の治療法実現に向けて
座長 衛藤義勝(東京慈恵会医科大学リソゾーム病研究講座)
講演 辻 省次(東京大学大学院脳神経医学専攻神経内科)

ランチョンセミナー 5: グラクソ・スミスクライン株式会社

5月30日(金) 12:20～13:20 第2会場

Treatment for intractable epilepsy

座長 飯沼一字 (石巻赤十字病院)

講演 Paolo Curatolo (Professor of Pediatric Neurology and Psychiatry, Department of Neuroscience, Tor Vergata University, Rome, Italy)

ランチョンセミナー 6: 日本ベーリンガー・インゲルハイム株式会社

5月30日(金) 12:20～13:20 第3会場

働く女性と子どもの脳(心)の発達

座長 山野恒一 (大阪市立大学大学院発達小児医学)

講演 渡辺久子 (慶應義塾大学小児科)

ランチョンセミナー 7: フジ・レスピロニクス株式会社

5月30日(金) 12:20～13:20 第4会場

神経筋疾患の器械による咳介助

座長 川井 充 (国立病院機構東埼玉病院)

講演 石川悠加 (国立病院機構八雲病院小児科)

夜間集会 1

5月28日(水) 19:00～21:00 第6会場

第2回眠り研究会 子どもたちの健やかな眠りが未来を育む

座長: 神山 潤 (東京北社会保険病院小児科)

- 1) 監視下終夜PSGにおいて、頻回な体動を認めた症例の検討
加藤久美, 毛利育子, 谷池雅子 (大阪大学大学院子どものこころの分子統御機構研究センター)
- 2) 保健センター主体で4年間継続して行っているアクチウオッチを使用した生活習慣啓発活動
神山 潤¹, 中村加奈重², 肥田有紀子², 沢口茂代², 関口久恵², 山下益美², 北川ゆかり²
(東京北社会保険病院小児科¹, 足立区中央本町保健総合センター²)
- 3) 乳幼児の睡眠パターン—睡眠覚醒判定に関して—
安積陽子^{1,2}, 高田 哲¹ (神戸大学保健学専攻¹, 甲南女子大学看護リハビリテーション学部²)
- 4) 産後1～2ヵ月の母親の睡眠リズム—アクチグラフィを用いた検討—
大日向純子¹, 鈴木葉生¹, 荒木章子¹, 高橋 悟¹, 田中 肇¹, 村岡悦子² (旭川医科大学小児科¹, 同社会学講座²)
- 5) 乳幼児の簡易睡眠計測法の検討
大木 昇 (有限会社のるぶろライトシステムズ)
- 6) 乳幼児の睡眠調査と高照度光療法による治療の検討
上土井貴子¹, 川谷淳子², 友田明美², 三池輝久^{1,2} (熊本大学附属病院発達小児科¹, 同 大学院発達社会学²)
- 7) 健常中学生と不登校児における睡眠覚醒リズムと疲労, 認知機能の検討
川谷淳子¹, 上土井貴子², 友田明美¹, 白石晴士³, 三池輝久² (熊本大学大学院小児発達社会学¹, 同小児発達学², 同 附属病院発達小児科³)
- 8) Angelman症候群における睡眠障害の検討
大矢崇志, 山下裕史朗, 木谷由里, 岩崎瑞枝, 松石豊次郎 (久留米大学小児科)

夜間集会 2 イブニングセミナー (薬事委員会, コンサータ錠適正流通管理委員会): ヤンセンファーマ株式会社

5月30日(金) 19:00～21:00 第1会場

座長 宮島 祐 (東京医科大学小児科)

林 北見 (東京女子医科大学八千代医療センター小児科)

- 1) 小児科医のためのAD/HD診断治療ガイドラインとコンサータの流通システム概説
宮島 祐 (東京医科大学小児科)
- 2) 幼児発達障害児に対する治療的介入における問題点と提言
小枝達也 (鳥取大学地域学部地域教育学科)
- 3) Concerta時代のわが国のAD/HD治療のあり方
齊藤万比古 (国立国際医療センター国府台病院)
- 4) 薬物依存とメチルフェニデート
曾良一郎 (東北大学大学院精神・神経生物学)

夜間集会 3 イブニングセミナー：バイエル薬品株式会社

5月30日(金) 19:00～20:00 第3会場

日本の多発性硬化症と視神経脊髄炎

座長 原 寿郎 (九州大学成長発達医学分野 (小児科))

講演 藤原一男 (東北大学多発性硬化症治療学)

夜間集会 4 イブニングセミナー (社会活動委員会)

5月30日(金) 19:00～21:00 第4会場

座長 杉本健郎 (びわこ学園医療福祉センター)

- 1) 小児科学会超重症児調査からみえた課題
杉本健郎 (びわこ学園医療福祉センター, すぎもとボーン・クリニック, 日本小児科学倫理委員会)
- 2) 後方施設に実質上要求される役割
滝澤 昇 (国立病院機構富山病院小児科)
- 3) NICU 退院の問題点・後方施設の課題—新規開設施設にて見えてきた問題点—
常石秀市 (医療福祉センターきずな)
- 4) 学校教育における医療的ケアへの対応とその課題
下川和洋 (東京都立八王子東養護学校)
- 5) 卒業後の問題点・非医療職による医療的ケア
三浦清邦 (豊田市こども発達センター小児神経科)
- 6) 在宅支援診療所としての重症心身障害児への関わり
横井 透 (横井小児科内科医院)
- 7) 超重症児の在宅移行について (臨床的脳死状態児の在宅例として)
川島孝一郎 (仙台往診クリニック)
- 8) 在宅診療所ができること, できないこと
飯田 明 (中永谷ケアクリニック)

夜間集会 5 イブニングセミナー：グラクソ・スミスクライン株式会社

5月30日(金) 19:00～20:00 第5会場

座長 大塚頌子 (岡山大学小児神経科)

根津敦夫 (横浜療育医療センター)

- 1) 痙性麻痺小児に対するボツリヌス治療の有用性
高橋保彦 (九州厚生年金病院小児科)
- 2) 重度肢体不自由児 (者) 60 例の痙性斜頸および全身性過緊張に対する A 型ボツリヌス毒素療法の試み
足立昌夫 (加古川市民病院小児科)
- 3) 脳性麻痺のボツリヌス毒素療法—最近の文献レビューと治療ガイドライン (案)—
根津敦夫 (横浜療育医療センター)

市民公開講座：日本イーライリリー株式会社

5月31日(土) 12:00～16:00 第2会場

こどもの心を温く育むために

座長 松石豊次郎 (久留米大学小児科)

榊原洋一 (お茶の水女子大学チャイルドケア&エデュケーション講座)

第三回小児重症筋無力症研究会のお知らせ

日時：平成20年5月31日(土) 12:30～16:30

第50回日本小児神経学会総会 終了後

会場：タイム24ビル1階 HALL 1

東京都江東区青海二丁目45番 TEL 03-5531-0024

会費：1,000円

世話人：林正俊, 林雅晴, 野村芳子

連絡先：小児重症筋無力症研究会事務局 (瀬川小児神経学クリニック内 野村芳子)

Tel: 03-3294-0371, Fax: 03-3294-0290, E-mail: nomura-y@segawa-clinic.jp

共催：小児重症筋無力症研究会/アステラス製薬株式会社

第1日目 第5会場 (アポロン)

Opening Adress

13:30～18:00 International Symposium Celebrating the 50th Meeting of the JSCN Part I …………… (S077)

Recent Advances in Child Neurology

- 1) Big brains & small brains—genetic and epigenetic mechanisms of brain size alteration—
Chairman Robert Rust (Department of Neurology, University of Virginia School of Medicine, Charlottesville, VA, USA)
Takao Takahashi (Department of Pediatrics, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan)
- 2) Recent advances on neurocutaneous syndromes
Chairman Ching-Shiang Chi (Department of Pediatrics, Taichung Veterans General Hospital, Taichung, Taiwan)
Paolo Curatolo (Professor of Pediatric Neurology and Psychiatry, Department of Neuroscience, Tor Vergata University, Rome, Italy)
- 3) Age-related presentations of hereditary peripheral neuropathies in childhood
Chairman Masaya Segawa (Segawa Clinic)
Robert A Ouvrier (The Institute for Neuromuscular Research, The Children's Hospital at Westmead, Sydney, Australia)
- 4) Japanese encephalitis in Korea and Asian countries—Can it be under control?—
Chairman Aida Salonga (Child Neuroscience Department, Philippine Children's Medical Center, Manila, Philippine)
Yong-Seung Hwang (Seoul National University, Children's Hospital, Seoul, Korea)
- 5) The impact of infections of the central nervous system on African children
Chairman Virginia Wong (Department of Pediatrics, Queen Mary Hospital, HongKong, China)
Charles RJC Newton (Kenya Medical Research Institute, Kilifi, Kenya and University College London, London, UK)
- 6) Progress in the biological aspects of status epilepticus
Chairman Ein-Yiao Shen (Department of Pediatrics, Taipei Medical University-Wan Fang Medical Center, Taipei, Taiwan)
Solomon L Moshé (Albert Einstein College of Medicine and Montefiore Medical Center New York, NY, USA)
- 7) Gene therapy for muscular dystrophy
Chairman Yoshiyuki Suzuki (International University of Health and Welfare, Ohtawara, Japan)
Shinichi Takeda (Department of Molecular Therapy, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry, Kodaira, Japan)
- 8) Robot suits—Cyberoid, biorobotics, control for supporting disabled persons—
Chairman Shigehiko Kamoshita (President Emeritus, International Medical Center of Japan, Tokyo, Japan)
Yoshiyuki Sankai (Department of System & Information Engineering, University of Tsukuba, Tsukuba, Japan)

第1日目 第6会場 (ジュピター)

19:00～21:00 夜間集会 1 …………… (S156)

第2回眠り研究会 子どもたちの健やかな眠りが未来を育む

座長 神山 潤 (東京北社会保険病院小児科)

- 1) 監視下終夜 PSGにおいて、頻回な体動を認めた症例の検討
加藤久美, 毛利育子, 谷池雅子 (大阪大学大学院子どものこころの分子統御機構研究センター)
- 2) 保健センター主体で4年間継続して行っているアクチウオッチを使用した生活習慣啓発活動
神山 潤¹, 中村加奈重², 肥田有紀子², 沢口茂代², 関口久恵², 山下益美², 北川ゆかり² (東京北社会保険病院小児科¹, 足立区中央本町保健総合センター²)
- 3) 乳幼児の睡眠パターン—睡眠覚醒判定に関して—
安積陽子^{1,2}, 高田 哲¹ (神戸大学保健学専攻¹, 甲南女子大学看護リハビリテーション学部²)
- 4) 産後1～2ヵ月の母親の睡眠リズム—アクチグラフィを用いた検討—
大日向純子¹, 鈴木菜生¹, 荒木章子¹, 高橋 悟¹, 田中 肇¹, 村岡悦子² (旭川医科大学小児科¹, 同社会学講座²)

- 5) 乳幼児の簡易睡眠計測法の検討
大木 昇 (有限会社のるぶろライトシステムズ)
- 6) 乳幼児の睡眠調査と高照度光療法による治療の検討
上土井貴子¹, 川谷淳子², 友田明美², 三池輝久^{1,2} (熊本大学附属病院発達小児科¹, 同 大学院発達社会学²)
- 7) 健常中学生と不登校児における睡眠覚醒リズムと疲労, 認知機能の検討
川谷淳子¹, 上土井貴子², 友田明美¹, 白石晴士³, 三池輝久² (熊本大学大学院小児発達社会学¹ 同 小児発達学², 同 附属病院発達小児科³)
- 8) Angelman 症候群における睡眠障害の検討
大矢崇志, 山下裕史朗, 木谷由里, 岩崎瑞枝, 松石豊次郎 (久留米大学小児科)

第2日目 第1～3会場 (ペガサス)

- 8:50～9:20 会長講演 (S097)
 小児期筋強直性ジストロフィーの臨床
 座長 熊谷公明 (小さき花の園名誉園長)
 講演 大澤真木子 (東京女子医科大学小児科)
- 9:30～9:50 日本小児神経学会優秀論文賞授賞式と受賞者のミニ講演
 座長 橋本俊顕 (徳島赤十字ひのみね総合療育センター)
- 9:50～11:30 **International Symposium Celebrating the 50th Meeting of the JSCN Part II
 Celebration & Ceremony for the 50th Meeting of the JSCN** (S085)
 Master and Mistress of Ceremonies: Hirokazu Oguni & Kyoko Hirasawa (Dept of Ped TWMU)
 Opening Adress
 Maiko Osawa (President of the 50th JSCN Congress)
 1) History of child neurology in Japan
 Yukio Fukuyama (Founder of the Japanese Society of Child Neurology)
 2) Japanese contributions to child neurology — an international perspective —
 Robert A Ouvrier (President of ICNA)
 3) The Japan's role in child neurology in the AOCNA
 Yong-Seung Hwang (President of AOCNA)
Presentation of Awards to JSCN Contributors
- 11:30～12:30 特別講演 1 (S098)
 脳から見たところ
 座長 三池輝久 (兵庫県立総合リハビリテーションセンター小児の睡眠と発達医療センター)
 講演 岩田 誠 (東京女子医科大学神経内科)
- 12:30～13:30 ランチョンセミナー1: 協和発酵工業株式会社 (S148)
 座長 田中達也 (旭川医科大学脳神経外科)
 1) てんかん治療の新たな展開
 講演 池田昭夫 (京都大学神経内科)
 2) 抗てんかん薬の作用機序に基づく難治性てんかんの治療
 講演 須貝研司 (国立精神・神経センター武蔵病院小児神経科)
- 13:30～14:30 特別講演 2 (S099)
 身体の日本
 座長 桃井真里子 (自治医科大学小児科)
 講演 養老孟司 (東京大学名誉教授)
- 14:30～15:30 招待講演 1 (S100)
Congenital muscular dystrophy
 座長 大澤真木子 (東京女子医科大学小児科)
 講演 Francesca Muntoni (Dubowitz Neuromuscular Centre, UCL Institute of Child Health, London, UK)
- 15:30～16:30 招待講演 2 (S101)
**Convulsing our way toward the pathophysiology of autism
 — clinical models and lessons for treatment —**
 座長 加我牧子 (国立精神・神経センター精神保健研究所)
 講演 Roberto Tuchman (Department of Neurology, Miami Children's Hospital Dan Marino Center, Miami, FL, USA)

第2日目 第4会場 (シリウス)

- 12:30～13:30 ランチョンセミナー 2: VIASYS HEALTHCARE INC (S150)
 座長 Wu Xi-Ru (First Teaching Hospital Beijing Medical University, Beijing, China)
- 1) Diagnosis and management of seizures in the ICU
 講演 奥村彰久 (順天堂大学小児科)
- 2) Brain monitoring made easy
 講演 Anita Kharbteng (Clinical Support Manager, NeuroCare, Asia Pacific, VIASYS Healthcare Hong Kong Ltd, Hong Kong, China)
- 14:30～15:30 学習障害 (S173)
 座長 宮尾益知 (国立成育医療センター発達心理科)
 相原正男 (山梨大学小児科)
- O-001 読字障害 (Dyslexia) 疑い児の早期検出法に関する研究—第1報: 文章音読課題を用いた検討—
 ○内山仁志¹, 関あゆみ^{2,3}, 小枝達也^{2,3}
 鳥取大学大学院¹, 同 地域学部地域教育学科², 国立病院機構鳥取医療センター臨床研究部³
- O-002 読字障害 (Dyslexia) 疑い児の早期検出法に関する研究—第2報: 音韻処理課題を用いた検討—
 ○関あゆみ^{1,2}, 内山仁志³, 小枝達也^{1,2}
 鳥取大学地域学部地域教育学科¹, 国立病院機構鳥取医療センター臨床研究部², 鳥取大学大学院³
- O-003 読字反応時間検査による, ひらがな, ローマ字読字における Dual Route Cascaded Model 妥当性の検討
 ○杉田克生¹, 杉田記代子², 藤井克則³
 千葉大学教育学部基礎医科学¹, 東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学科², 千葉大学大学院小児病態学³
- O-004 Decoding と文章音読の関係について—音韻処理認知の観点から—
 ○若宮英司¹, 奥村智人², 水田めぐみ², 栗本奈緒子², 田中啓子³, 玉井 浩^{2,4}
 藍野大学医療保健学部¹, 大阪医科大学LDセンター², 昭和病院小児科³, 大阪医科大学小児科⁴
- O-005 発達性読み書き障害児におけるひらがな単音読み能力と文章音読流暢性の関連
 ○奥村智人¹, 栗本奈緒子¹, 水田めぐみ¹, 田中啓子⁴, 若宮英司³, 玉井 浩²
 大阪医科大学LDセンター¹, 同 小児科², 藍野大学医療保健学部³, 昭和病院小児科⁴
- O-006 快・不快感情の神経機構における前頭前野の役割—event-related NIRSを用いた研究—
 ○星 詳子, 黄 敬華
 東京都精神医学総合研究所脳機能解析研究チーム
- 15:30～16:30 脳性麻痺・療育 1 (S176)
 座長 奈良隆寛 (宮城県立こども病院リハビリテーション科)
 下泉秀夫 (国際医療福祉リハビリテーションセンターなす療育園)
- O-007 超重症児の嗅覚反応—近赤外線光トポグラフィー (NIRS) による検討—
 ○小林康子¹, 大村 清¹, 菊池紀彦¹, 八島 猛¹, 尾崎久記², 土屋 滋³
 国立病院機構西多賀病院小児科¹, 茨城大学教育学部障害児生理², 東北大学小児科³
- O-008 早産児における小脳病変の臨床的意義
 ○荒井 洋, 青天目信, 加藤良美, 平井聡里
 森之宮病院小児神経科
- O-009 重症心身障害児 (者) におけるセレン欠乏症の臨床特性
 ○是松聖悟, 清水未希, 阿南亜紀, 丹生 文, 後藤千佳, 関口和人, 佐藤圭右, 末延聡一, 泉 達郎
 大分大学脳・神経機能統御講座小児科学
- O-010 重度の痙縮に対する包括的医療
 ○長澤哲郎¹, 星野英紀¹, 水口浩一¹, 久保田雅也¹, 師田信人², 岡 明^{1,3}
 国立成育医療センター神経内科¹, 同 脳神経外科², 東京大学小児科³
- O-011 小児下肢痙縮に対するボツリヌス毒素療法
 ○根津敦夫, 武下草生子, 市川和志
 横浜市立大学市民総合医療センター小児総合医療センター

O-012 超・準超重症心身障害児におけるインフルエンザワクチン接種前後の抗体価の変化

○真柄慎一¹, 小西 徹¹, 木下 悟²
重症心身障害児施設長岡療育園小児科¹, 国立病院機構新潟病院小児科²

16:30～17:40 脳性麻痺・療育 2…………… (S179)

座長 児玉和夫 (大阪総合発達療育センター肢体不自由児施設南大阪療育園, 重症心身障害施設フェニックス)

小沢 浩 (島田療育センター支援部)

O-013 大学病院における超重症心身障害児管理の問題

○竹下絵里, 大谷良子, 板橋 尚, 喜多俊二, 島村圭一, 村上信行, 作田亮一, 永井敏郎
獨協医科大学越谷病院小児科

O-014 重症心身障害児 (者) のQOL評価表作成の試み

○松本昭子¹, 宮崎修次¹, 長谷川桜子²
愛知県心身障害者コロニーこばと学園¹, 同 発達障害研究所教育福祉学部²

O-015 人工呼吸器装着児と気管切開児医療的ケアの現況—小児科学会全国8府県調査から—

○杉本健郎^{1,2}, 田村正徳^{1,3}
日本小児科学会倫理委員会¹, びわこ学園医療福祉センター², 埼玉医科大学総合医療センター小児科³

O-016 神奈川における気管切開と呼吸器のアンケート調査

○鮫島希代子, 高木篤史, 辻 恵, 小坂 仁, 井合瑞江, 山下純正, 山田美智子
神奈川県立こども医療センター神経内科

O-017 福祉施設での長期人工呼吸患者の全身管理体制についての考察—皮膚・排泄ケア認定看護師と連携した褥瘡ケアを通して—

○山口文佳^{1,2}, 家島 厚¹, 桑島克子¹, 近藤郁子¹
茨城県立こども福祉医療センター小児科¹, 埼玉医科大学総合医療センター小児科²

O-018 神奈川県立養護学校における医療的ケア実施数の推移と教師の意識変化について

○宮本雄策^{1,2}, 山本 仁², 福田美穂², 村上浩史², 神山紀子², 橋本修二²
川崎市立多摩病院小児科¹, 聖マリアンナ医科大学小児科²

O-019 ジャワ島中部地震の被災地における障害児地域支援プログラム

○高田 哲¹, 松田宣子¹, 松井学洋¹, 山本暁生¹, スナルティニーハプサラ²
神戸大学大学院保健学専攻¹, 国立ガジャマダ大学²

17:50～18:30 発達障害と遺伝…………… (S182)

座長 二木康之 (佛教大学保健医療技術学部)

加藤光広 (山形大学発達生体防御学講座小児医科学)

O-020 乳児期からけいれん発作を繰り返しているレット症候群の女兒にみられたCDKL5遺伝子異常

○高橋 悟, 荒木章子, 大日向純子, 鈴木菜生, 田中 肇, 藤枝憲二
旭川医科大学小児科

O-021 Rett症候群の責任蛋白質MeCP2の標的遺伝子探索—自閉症のマーカー遺伝子の同定にむけて—

○久保田健夫¹, 伊藤雅之², 後藤雄一², 稲澤譲治³
山梨大学大学院環境遺伝医学講座¹, 国立精神・神経センター神経研究所疾研二部², 東京医科歯科大学難治疾患研究所分子細胞遺伝学³

O-022 SHANK3異常による自閉症の臨床的検討

○岡本伸彦¹, 内野茂夫²
大阪府立母子保健総合医療センター¹, 国立精神・神経センター神経研究所代謝研究部²

O-023 Angelman症候群原因遺伝子Ube3aの神経特異的インプリンティングの分子機構

○木住野達也
長崎大学先端生命科学研究支援センターゲノム機能解析分野

第2日目 第5会場 (アポロン)

14:30～15:40 てんかん・けいれん 1 (S184)

座長 森本武彦 (愛媛県立子ども療育センター)
金澤 治 (埼玉医科大学神経精神科・心療内科)

- O-024 熱性けいれん重積症の急性期拡散強調画像と発作症状, 脳波所見**
○横井摂理¹, 辻 健史², 中田智彦³, 久保田哲夫⁴, 丸山幸一⁵, 糸見世子⁶, 加藤 徹², 祖父江文子⁷, 梶田光春⁸, 奥村彰久⁹, 夏目 淳³
公立陶生病院小児科¹, 岡崎市民病院小児科², 名古屋大学小児科³, 安城更生病院小児科⁴, 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科⁵, 名古屋第一赤十字病院小児科⁶, 名古屋記念病院小児科⁷, 厚生連加茂病院小児科⁸, 順天堂大学小児科⁹
- O-025 熱性けいれん重積症における拡散強調画像の異常とFDG-PET所見**
—Partial volume correctionによる検討—
○夏目 淳^{1,2}, 丸山幸一³, 祖父江文子⁴, 奥村彰久⁵
名古屋大学小児科¹, 名古屋第一赤十字病院小児科², 愛知県心身障害者コロニー小児神経科³, 名古屋記念病院小児科⁴, 順天堂大学小児科⁵
- O-026 急性脳症と熱性けいれん重積の急性期脳波と頭部MRIの検討**
○中田智彦¹, 辻 健史², 横井摂理³, 丸山幸一⁴, 加藤 徹², 久保田哲也⁵, 祖父江文子⁶, 奥村彰久⁷, 夏目 淳¹
名古屋大学小児科¹, 岡崎市民病院小児科², 公立陶生病院小児科³, 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科⁴, 愛知県厚生連安城更生病院小児科⁵, 名古屋記念病院小児科⁶, 順天堂大学小児科⁷
- O-027 てんかん重積状態患者における神経学的基礎疾患の検討**
○岡西 徹^{1,2}, 前垣義弘¹, 大野耕策¹
鳥取大学脳神経小児科¹, 名古屋市立大学新生児・小児医学²
- O-028 岡山市における小児のてんかん重積状態の疫学調査 (2003～2005年) —発症率と特徴—**
○西山逸子, 岡 牧郎, 小林勝弘, 吉永治美, 大塚頌子
岡山大学大学院発達神経病態学 (小児神経科)
- O-029 熱性けいれんの遺伝的因子の検討—SYN2について—**
○石崎義人, 吉良龍太郎, 鳥巢浩幸, 實藤雅文, 由茅直子, 原 寿郎
九州大学大学院成長発達医学 (小児科)
- O-030 熱性けいれん初回発作児に直面した両親の心理的状況**
○畑 園子^{1,2}, 金村英秋¹, 畠山和男¹, 杉田完爾¹, 相原正男¹
山梨大学小児科¹, 山梨赤十字病院小児科²

15:40～17:00 てんかん・けいれん 2 (S188)

座長 Hung Kun-Long (Cathay General Hospital)
廣瀬伸一 (福岡大学小児科)

- O-031 乳児重症ミオクロニーてんかん患者38例の抗てんかん薬治療効果**
○高橋宏佳, 高橋幸利, 美根 潤, 大谷早苗, 大谷英之, 池田浩子, 四家達彦, 下村次郎, 久保田裕子, 久保田英幹, 重松秀夫, 井上有史, 藤原建樹
国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科
- O-032 乳児重症ミオクロニーてんかん (SMEI) およびその辺縁群患者におけるCZP, KBr併用療法の有効性と臨床的特性**
○岡成和夫, 曾根律子, 内山伸一, 前田知己, 佐藤圭右, 泉 達郎
大分大学脳・神経機能統御講座小児科学
- O-033 Do all children with first episode of fever and seizure need a lumbar puncture?**
○Ajit Rayamajhi, Ruby Joshi Bataajo, Chandeshwar Mahaseth
Department of Pediatrics, National Academy of Medical Sciences, Kathmandu, Nepal
- O-034 Levetiracetam adjunctive therapy in children with refractory epilepsy**
○Kun-Long Hung, Ching-Wan Tsai, Ching-Wan Liu, Hung-Tsai Liao
Department of Pediatrics, Cathay Hospital, Taipei, Taiwan

- O-035 Clinical analysis of 30 patients with tuberous sclerosis complex: relationship of abnormal brain imaging, seizures and cognitive function**
 ○Pou-Leng Cheong¹, Yi-Ning Su², Wang-Tso Lee³
 Department of Pediatrics, Hsinchu General Hospital, Executive Yuan, Hsinchu, Taiwan¹, Department of Medical Genetics² and Department of Pediatrics³, National Taiwan University Hospital, Taipei, Taiwan
- O-036 Mozart effect on epileptiform discharge in children of epilepsy in Taiwanese**
 ○Lung-Chang Lin, Rei-Cheng Yang
 Department of Pediatrics, Kaohsiung Medical University Hospital, Kaohsiung Medical University, Kaohsiung, Taiwan
- O-037 軽度の脳性麻痺と知的障害を伴うローランドてんかんの予後**
 ○金澤 治^{1,2}, 小西 薫²
 埼玉医科大学神経精神科・心療内科¹, さいたま市総合療育センターひまわり学園小児神経科²
- O-038 行動異常を呈したBECT患児における前頭前野の成長と発作持続期間との関連に関する前方視的研究—3-D MRIによる検討—**
 ○金村英秋, 杉田完爾, 相原正男
 山梨大学小児科

17:00～18:10 てんかん・けいれん 3 (S192)

座長 萩野谷和裕 (宮城県拓桃医療療育センター)
 花井敏男 (福岡市立こども病院小児神経科)

- O-039 スパズムを発症した結節性硬化症に対するVigabatrin治療**
 ○北井征宏¹, 森田祥子¹, 新谷 研¹, 富永康仁¹, 青天目信², 下野九理子¹, 沖永剛志¹, 大藺恵一¹
 大阪大学大学院小児科学¹, 森之宮病院小児神経科²
- O-040 West症候群における初回ACTH療法の治療効果と予後の関係**
 ○奥村良法, 愛波秀男, 渡邊誠司, 平野恵子, 北條博厚
 静岡県立こども病院神経科
- O-041 3次元定位関心領域設定を用いたWest症候群の局所脳血流量の検討**
 ○浜野晋一郎¹, 吉成 聡^{1,2}, 日暮憲道^{1,2}, 田中 学¹, 南谷幹之^{2,3}, 菊池健二郎², 小一原玲子^{1,4}, 衛藤義勝²
 埼玉県立小児医療センター神経科¹, 東京慈恵会医科大学小児科², 埼玉県立小児医療センター保健発達部³, 深谷赤十字病院小児科⁴
- O-042 点頭てんかん患者の予後と¹H-MR spectroscopy (MRS) 所見との相関**
 ○今村 淳, 宮嶋弘呂子, 松尾直樹, 伊藤玲子, 折居恒治
 岐阜県総合医療センター小児科
- O-043 大脳白質髄鞘化障害, 重度発達遅滞をきたすWest症候群の臨床的特徴**
 ○遠山 潤¹, 赤坂紀幸¹, 齋藤なか¹, 小坂 仁², 山下純正², 前垣義弘³, 福村 忍⁴, 高山留美子⁴, 植松 貢⁵, 萩野谷和裕^{5,6}
 国立病院機構西新潟中央病院小児科¹, 神奈川県立こども医療センター神経内科², 鳥取大学脳神経小児科³, 青森県立中央病院小児科⁴, 東北大学大学院小児病態学⁵, 宮城県拓桃医療療育センター小児科⁶
- O-044 West症候群を呈したホロカルボキシラーゼ合成酵素欠損症の姉妹例**
 ○服部文子¹, 安藤直樹¹, 小林 悟¹, 伊藤哲哉¹, 藤本伸治², 坂 京子³, 石川達也^{1,4}, 戸荻 創¹
 名古屋市立大学大学院新生児・小児医学¹, つつじが丘こどもクリニック², 市立四日市病院小児科³, 日本福祉大学⁴
- O-045 West症候群における免疫学的機序に関する研究 (第1報)**
 ○椎原 隆, 渡辺美緒
 群馬県立小児医療センター神経内科

第2日目 第6会場 (ジュピター)

- 12:30～13:30 ランチョンセミナー3：帝人ファーマ株式会社…………… (S151)
 脳科学に基づいた講演の方法—国際学会での発表を成功させるために—
 座長 高橋孝雄 (慶應義塾大学小児科)
 講演 大坪 宏 (Director of Clinical Neurophysiology, Division of Neurology, the Hospital for Sick Children, Assistant Professor, Department of Pediatrics, University of Toronto, Toronto, Canada)
- 14:30～15:50 代謝・変性 1…………… (S195)
 座長 児玉浩子 (帝京大学小児科)
 泉 達郎 (大分大学脳・神経機能統御講座小児科学)
- O-046 Tay-Sachs病—ヘクソサミニダーゼAにおける構造変化と臨床表現型との関連性—
 ○桜庭 均
 明治薬科大学分析化学
- O-047 GM1ガングリオシドーシスとオートファジー機能異常
 ○難波栄二, 檜垣克美
 鳥取大学生命機能研究支援センター遺伝子探索分野
- O-048 A群色素性乾皮症剖検脳での知的障害に関する免疫組織化学的解析 (第1報)
 ○林 雅晴¹, 大戸達之², 荒木 聡³
 東京都神経科学総合研究所神経発達・再生研究分野¹, 筑波大学小児科², 東京医科歯科大学小児科³
- O-049 培養細胞のピルビン酸脱水素酵素複合体活性が正常でE1 α サブユニット遺伝子変異を有していた15女児例の臨床像
 ○内藤悦雄¹, 島川清司¹, 西村美緒¹, 小谷裕美子², 香美祥二²
 徳島赤十字ひのみね総合療育センター小児科¹, 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部²
- O-050 MCT8欠損症例の分子基盤
 ○伊藤順庸, 柿沼宏明
 金沢医科大学発生発達医学
- O-051 軽症型グリシン脳症 (非ケトーシス型高グリシン血症) のマウスモデルの作成と解析—行動異常と虚血に対する脆弱性—
 ○呉 繁夫
 東北大学遺伝病学分野
- O-052 Pelizaeus-Merzbacher病の治療薬スクリーニング系の作成
 ○小坂 仁^{1,3}, 黒澤健司², 井合瑞江¹, 山田美智子¹, 山下純正¹
 神奈川県立こども医療センター神経内科¹, 同 遺伝科², 神奈川県立がんセンター臨床研究所³
- O-053 Phenotypic characteristic of galactosemia in the post-neonatal age in India
 ○Harshuti Shah¹, Zachary Grinspan²
 Rajvee Child Neuro and Orthospine Hospital¹, Department of Child Neurology, Columbia University, New York, NY, USA²
- 15:50～16:50 奇形・染色体…………… (S199)
 座長 大橋博文 (埼玉県立小児医療センター遺伝科)
 玉井 浩 (大阪医科大学小児科)
- O-054 SMIDデータベースを利用した滑脳症患者の疫学調査
 ○赤坂紀幸¹, 遠山 潤¹, 齋藤なか¹, 佐々木征行²
 国立病院機構西新潟中央病院てんかんセンター小児科¹, 国立精神・神経センター武蔵病院小児神経科²
- O-055 X-tiling arrayを用いたX連鎖性精神発達遅滞 (XLMR) の原因遺伝子探索
 ○本田尚三^{1,2}, 林 深^{1,2}, 井本逸勢^{1,2}, 中川栄二³, 後藤雄一⁴, 稲澤譲治^{1,2}
 東京医科歯科大学難治疾患研究所分子細胞遺伝学¹, 科学技術振興機構CREST², 国立精神・神経センター武蔵病院小児神経科³, 同 神経研究所疾研二部⁴

- O-056** 先天異常疾患における潜在的染色体異常を探索・診断するツールとしてのアレイ CGH の有用性
○林 深^{1,2}, 本田尚三^{1,2}, 井本逸勢^{1,2}, 稲澤譲治^{1,2}
東京医科歯科大学難治疾患研究所分子細胞遺伝学¹, 科学技術振興機構 CREST²
- O-057** New microdeletion syndrome involving 2p15-16.1 in a patient with developmental delay identified by CGH-array
○Jao-Shwann Liang¹, Keiko Shimojima¹, Koyo Ohno², Chitose Sugiura², Yukiharu Une³, Kousaku Ohno², Toshiyuki Yamamoto¹
International Research and Educational Institute for Integrated Medical Sciences (IREIIMS), Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan¹, Division of Child Neurology, Institute of neurological Sciences, Faculty of Medicine, Tottori University, Yonago, Japan², Une Clinic, Onomichi, Japan³
- O-058** 小児神経疾患の診断における高密度オリゴアレイの意義
○山本俊至¹, 下島圭子¹, 遠山 潤², 奥村彰久³, 前垣義弘⁴, 小国弘量⁵
東京女子医科大学国際統合医科学インスティテュート¹, 国立病院機構西新潟病院小児科², 順天堂大学小児科³, 鳥取大学脳神経小児科⁴, 東京女子医科大学小児科⁵
- O-059** 14番染色体母性片親性ダイソミーはフロッピーインファントの重要な鑑別診断である
○斉藤伸治, 柳生一自, 末田慶太郎, 朝比奈直子, 白石秀明
北海道大学小児科

16:50～17:50 遺伝 1 (S202)

座長 松石豊次郎 (久留米大学小児科)
梶井直文 (江別市立病院小児科)

- O-060** 胎生期にビスフェノールA 曝露されたマウス胎仔終脳における DNA メチル化変動の網羅的解析
○矢追 毅¹, 伊東恭子¹, 中村恵子^{1,2}, 伏木信次¹
京都府立医科大学大学院分子病態病理学¹, 同 小児発達医学²
- O-061** NKX2-1 遺伝子変異による良性遺伝性舞蹈病の1例
○加藤光広, 沼倉周彦, 中村和幸, 早坂 清
山形大学発達生体防御学講座小児医科学
- O-062** Charcot-Marie-Tooth 病の遺伝子診断: MLPA 法を用いて
○阿部暁子, 早坂 清
山形大学発達生体防御学講座小児医科学
- O-063** アポトーシス抑制因子 HAX1 遺伝子変異による中枢神経症状—重症好中球減少症に併存する中枢神経症状の検討—
○石川暢恒, 小林正夫
広島大学大学院小児科学
- O-064** 広汎性発達障害における CADPS2 のスプライシングバリエント定量解析と臨床プロフィールの検討
○今西宏之, 北山真次, 松尾雅文
神戸大学大学院小児科学
- O-065** 自閉性障害および自閉症のない発達障害における HOXD11 遺伝子多型と第2指長と第4指長比との関連について
○杉江陽子¹, 杉江秀夫², 福田冬季子², 大澤純子¹, 鈴木輝彦¹, 大関武彦¹
浜松医科大学小児科¹, 自治医科大学小児科²

第2日目 ポスター会場 (オリオン)

14:30～15:05 奇形・染色体 (S273)

座長 和田敬仁 (信州大学衛生学公衆衛生学)
山本俊至 (東京女子医科大学国際統合医科学インスティテュート)

- P-001** Pitt-Hopkins 症候群の1例
○福村 忍¹, 館 延忠²
市立釧路総合病院小児科¹, 札幌医科大学保健医療学部²
- P-002** 先天性脊椎癒合を合併した 11/22 混合トリソミーの1例
○豊島光雄, 米衛ちひろ, 四俣一幸, 河野嘉文
鹿児島大学小児科

P-003 歯突起形成異常を伴った先端異骨症の1例

○深町 亮¹, 森 淳子¹, 森内浩幸²

重症心身障害児(者)施設みさかえの園むつみの家小児科¹, 長崎大学小児科²

P-004 West症候群を発症した染色体早期解離症候群(PCS症候群)の姉弟例

○小侯 卓¹, 新井ひでえ¹, 田邊雄三^{1,2}

千葉県こども病院神経科¹, そがこどもクリニック²

P-005 知的障害, てんかん, 小眼球症を合併した16番短腕, 17番長腕染色体転座例

○井上元子, 森 雅人, 山形崇倫, 桃井真里子

自治医科大学小児科学

P-006 自閉症を合併したY成分を有するターナー症候群女児例

○水野誠司¹, 平林 優², 鈴木基正², 丸山幸一², 熊谷俊幸²

愛知県心身障害者コロニー中央病院小児内科¹, 同 小児神経科²

P-007 Schizencephaly in Leopard syndrome—a case report—

○Jao-Shwann Liang¹, Steven Shinnforng Peng²

Department of Pediatrics, Far Eastern Hospital, Taipei, Taiwan¹, Department of Radiology, National Taiwan

University Hospital, Taipei, Taiwan²

15:05~15:50 筋 1 (S276)

座長 舘 延忠 (札幌医科大学保健医療学部)

野村芳子 (瀬川小児神経学クリニック)

P-008 小児Charcot-Marie-Tooth病1A型に対する新たな治療法—アスコルビン酸治療の有効性—

○藤井克則, 遠藤真美子, 田辺 良, 斎藤直樹, 河野陽一

千葉大学大学院小児病態学

P-009 SIL1変異を持つMarinesco-Sjögren症候群の病理学的解析

○岡田麻里, 野口 悟, 林由起子, 埜中征哉, 西野一三

国立精神・神経センター神経研究所疾研一部

P-010 乳幼児筋炎はlaminA/C遺伝子変異を伴ったEmery-Dreifuss型筋ジストロフィーを示唆する

○小牧宏文¹, 林由起子², 加藤光広³, 佐久間啓¹, 斎藤義朗¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹,

佐々木征行¹, 埜中征哉^{1,2}, 西野一三²

国立精神・神経センター武蔵病院小児神経科¹, 同 神経研究所疾研一部², 山形大学発達生体防御学講座小児医科学³

P-011 発作持続が長く, アセタゾラミドが著効した正K性周期性四肢麻痺の1例

○寺澤大祐, 折居建治, 船戸道徳, 寺本貴英, 深尾敏幸, 近藤直実

岐阜大学大学院小児病態学

P-012 先天性筋無力症と考えられた1例

○松岡太郎

市立豊中病院小児科

P-013 2歳で発症した抗MuSK抗体陽性重症筋無力症の女児例

○小篠尚子, 間部裕代, 三池輝久

熊本大学発達小児科

P-014 タクロリムス投与により長期に亘るステロイド治療から離脱できた, ステロイド依存性眼筋型重症筋無力症の1小児例

○加藤高広¹, 石川亜貴¹, 大屋一博¹, 舘 延忠²

札幌医科大学小児科¹, 同 保健医療学部²

P-015 球麻痺症状を主体とした重症筋無力症の2例

○野村恵子, 小篠史朗, 三ツ井弘一, 中村恭子, 木村重美, 三池輝久

熊本大学発達小児科

P-016 小児期発症重症筋無力症の予後

○白石一浩, 名取千枝子

国立病院機構宇多野病院小児神経科

- 15:50～16:30 筋 2 (S281)
- 座長 竹島泰弘(神戸大学大学院小児科学)
小牧宏文(国立精神・神経センター武蔵病院小児神経科)
- P-017 Duchenne型筋ジストロフィーに対してエクソンスキップ誘導を用いた治療の適応患者のスクリーニング法の確立**
○木村重美¹, 伊藤 薫², 小篠史郎¹, 中村恭子¹, 野村恵子¹, 藤井 績², 松倉 誠²,
三ツ井弘一¹, 三池輝久¹
熊本大学大学院小児発達学¹, 崇城大学薬学部臨床薬学薬物治療学²
- P-018 染色体異常を伴ったDuchenne型筋ジストロフィーの1男児例**
○渡邊聖子^{1,2}, 河島尚志¹, 星加明德¹, 南 成祐³, 西野一三³
岡山大学小児神経科¹, 東京医科大学病院小児科², 国立精神・神経センター武蔵病院臨床検査部
DNA診断・治療室³
- P-019 Duchenne型筋ジストロフィーにアスピリンは有効か**
○斉藤利雄, 神野 進
国立病院機構刀根山病院神経内科
- P-020 心拍数増加・呼吸困難感・末梢冷感・発汗を発作性にくりかえしたデュシャンヌ型筋ジストロフィーの1症例**
○中村恭子, 木村重美, 小篠史郎, 野村恵子, 三ツ井弘一, 三池輝久
熊本大学附属病院発達小児科
- P-021 気管内肉芽から大量出血したDuchenne型筋ジストロフィーの1例**
○小篠史郎, 木村重美, 野村恵子, 中村恭子, 三ツ井弘一, 三池輝久
熊本大学附属病院発達小児科
- P-022 滋賀県における機械的咳介助装置(MAC)の在宅使用への公的補助の取り組み**
○藤井達哉, 宮嶋智子, 熊田知浩, 木村暢佑, 三國貴康
滋賀県立小児保健医療センター小児科
- P-023 Duchenne型筋ジストロフィーにおけるジストロフィン遺伝子変異と心電図異常に関する検討**
○高見勇一, 栗野宏之, 起塚 庸, 親里嘉展, 八木麻理子, 竹島泰弘, 松尾雅文
神戸大学大学院小児科学
- P-024 急性胃腸炎を契機に一過性の心機能低下を呈した肢帯型筋ジストロフィーの1例**
○野村寿博¹, 上牧 勇¹, 後藤知英², 作田亮一³
国立病院機構埼玉病院小児科¹, 東京都立清瀬小児病院神経科², 獨協医科大学越谷病院小児科³
- 16:30～17:10 遺伝 2 (S285)
- 座長 熊谷俊幸(愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科)
難波栄二(鳥取大学生命機能研究支援センター遺伝子探索)
- P-025 脊髄筋萎縮症3型に髄芽腫を併発した1例—髄芽腫発症の遺伝学的検討—**
○秋吉健介¹, 末延聡一¹, 園田幸司¹, 前田知己¹, 是松聖悟¹, 泉 達郎¹, 石川幸辰²
大分大学脳・神経機能統御講座小児科学¹, 国立病院機構八雲病院小児科²
- P-026 精神遅滞の病因・病態解明をめざした系統的遺伝学的解析とリサーチ・リソース・レポジトリの拡充(続報)**
○中川栄二¹, 高野享子², 和田敬仁³, 久保田健夫⁴, 加藤光広⁵, 難波栄二⁶, 斉藤伸治⁷,
稲澤譲治⁸, 黒澤健司⁹, 後藤雄一^{1,2}
国立精神・神経センター武蔵病院小児神経科¹, 同 神経研究所疾研二部², 信州大学社会予防医学
講座³, 山梨大学大学院環境遺伝医学⁴, 山形大学小児科⁵, 鳥取大学生命機能研究支援センター⁶,
北海道大学小児科⁷, 東京医科歯科大学難治疾患研究所⁸, 神奈川県立こども医療センター遺伝科⁹
- P-027 NPHP1遺伝子変異を伴うJoubert症候群の1例**
○和田敬仁¹, 平林伸一²
信州大学遺伝医学・予防医学¹, 長野県立こども病院神経科²
- P-028 小脳低形成を認めた最若年発症のHuntington舞蹈病**
○吉成 聡^{1,2}, 浜野晋一郎^{1,2}, 南谷幹之^{2,3}, 田中 学¹, 日暮憲道^{1,2}, 衛藤義勝²
埼玉県立小児医療センター神経科¹, 東京慈恵会医科大学小児科², 埼玉県立小児医療センター保健
発達部³

- P-029** 眼瞼下垂, 嘔吐, 易疲労性で発症し, 脳卒中様発作を起こしたミトコンドリア病 (MELAS疑い) の1歳男児例
 ○尾崎明子, 武市知己
 高知県立幡多けんみん病院小児科
- P-030** Rett症候群3例の発達とビタミンEの影響
 ○家島 厚, 近藤郁子, 桑島克子, 山口文佳
 茨城県立こども福祉医療センター小児科
- P-031** MECP2遺伝子エキソン1およびプロモーター領域に変異をもつRett症候群
 ○大内田守¹, 吉永治美², 大守伊織³, 大塚頌子², 岡 鉄次⁴
 岡山大学大学院分子遺伝学¹, 同 発達神経病態学², 同 細胞生理学³, 旭川荘療育センター児童院⁴
- P-032** SMEI症例におけるNedd4/Nedd4-2遺伝子異常の検索
 ○倉橋宏和^{1,2}, 加藤 徹³, 吉良龍太郎⁴, 安元佐和¹, 井上貴仁¹, 廣瀬伸一¹
 福岡大学小児科¹, 名古屋大学大学院小児科学², 岡崎市民病院小児科³, 九州大学大学院成長発達医学分野小児科⁴

17:10~17:50 遺伝 3 (S289)

座長 沢石由記夫 (秋田大学小児科学)
 富和清隆 (京都大学大学院遺伝カウンセラー・コーディネータユニット)

- P-033** 周期性失調症2型の1家系—acetazolamideへの反応性は臨床診断に有用か—
 ○長尾芳朗, 大澤麻記
 社会保険中央総合病院小児科
- P-034** 先天性髄鞘化障害の原因遺伝子検索
 ○植松 貢¹, 萩野谷和裕², 福與なおみ¹, 涌澤圭介¹, 土屋 滋¹, 菊池敦生¹
 東北大学大学院小児病態学¹, 宮城県拓桃医療療育センター小児科²
- P-035** 高密度オリゴアレイとfiber-FISH法を用いたPelizaeus-Merzbacher病におけるPLP1遺伝子の重複メカニズムの解明
 ○下島圭子¹, 井上岳彦², 齋藤加代子³, 山本俊至¹
 東京女子医科大学国際統合医科学インスティテュート¹, 鳥取大学脳神経小児科², 東京女子医科大学遺伝子医療センター³
- P-036** 酵素ミスマッチ切断による簡便かつ高感度な遺伝子変異スクリーニング法の開発
 ○新井田要, 辻 隆範
 金沢大学小児科
- P-037** 難治性てんかんを契機に診断された乳児型Alexander病の1例
 ○遠藤真美子¹, 藤井克則¹, 田邊 良¹, 沢石由記夫², 川戸 仁³, 河野陽一¹
 千葉大学大学院小児病態学¹, 秋田大学小児科², 国保旭中央病院小児科³
- P-038** 乳児期早期にけいれんを発症した色素失調症の検討
 ○安部信平¹, 奥村彰久¹, 浜野晋一郎², 田中 学², 椎原 隆³, 津留智彦⁴, 相崎貢一⁴,
 鳥邊泰久⁵, 荒井 洋⁶
 順天堂大学小児科¹, 埼玉県立小児医療センター神経科², 群馬県立小児医療センター神経内科³,
 松戸市立病院小児科⁴, 大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科⁵, 森之宮病院小児神経科⁶
- P-039** 重症型MCT8異常症の1家系3症例における早期神経学的特徴について
 ○沢石由記夫¹, 矢野珠巨¹, 渡部泰弘¹, 平山 文², 幕田政博²
 秋田大学小児科¹, 秋田県小児療育センター²
- P-040** COL1A2異常を認め長期生存中の骨形成不全症II型の1例
 ○八谷靖夫¹, 林 雅晴², 渥美 聡¹, 久保田雅也³
 都立府中療育センター小児科¹, 東京都神経科学総合研究所臨床病理², 国立成育医療センター神経内科³

14:30~15:15 代謝 1 (S293)

座長 藤井達哉 (滋賀県立小児保健医療センター)
 乾 幸治 (いぬいこどもクリニック)

- P-041** 急性肺炎で発症したMELASの剖検例
 ○山下純正, 高木篤史, 辻 恵, 鮫島希代子, 井合瑞江, 小坂 仁, 山田美智子
 神奈川県立こども医療センター神経内科

- P-042** 脊髄小脳変性症の診断後に判明したミトコンドリアDNA11778変異Leber病の1症例
○富田 直^{1,2}, 星野 愛¹, 花房由季子¹, 繁友律子¹, 熊田聡子¹, 栗原栄二¹
都立神経病院神経小児科¹, 都立八王子小児病院²
- P-043** 小児大脳型ALDの視覚性事象関連電位P1成分の検討—発症極早期診断における有用性—
○古島わかかな^{1,2}, 稲垣真澄¹, 軍司敦子¹, 井上祐紀¹, 加我牧子¹
国立精神・神経センター精神保健研究所知的障害部¹, 東京医科歯科大学大学院発生発達病態学²
- P-044** 長期経過を観察しえたCanavan病の日本人女性例
○水口浩一¹, 星野英紀¹, 長澤哲郎¹, 浜口 弘², 久保田雅也¹
国立成育医療センター神経内科¹, 都立東大和療育センター²
- P-045** ムコ多糖症II型の閉塞性呼吸障害に、NIPPV (noninvasive positive pressure ventilation) が有効であった2例
○松井秀司, 椎木俊秀, 武智信幸, 長 博雪, 舟橋満寿子, 鈴木康之
東京小児療育病院小児科
- P-046** 合成酵素補充療法を開始したムコ多糖症2型 (Hunter症候群) の1女兒例
○里 龍晴¹, 本田涼子¹, 今村善彦¹, 津留 陽³, 松本 正², 森内浩幸²
長崎大学小児科¹, 同 保健学科², 国立病院機構長崎病院³
- P-047** 臍帯血幹細胞移植を施行したHunter症候群の中樞神経系における組織学的検討
○新谷 研, 北井征宏, 星野奈津子, 富永康仁, 下野九理子, 沖永剛志, 毛利育子, 酒井規夫, 谷池雅子, 大藪恵一
大阪大学大学院小児科学
- P-048** 乳児型Pompe病に対してrhGAA療法を行った1例
○赤川美絵, 栗屋智就, 納富誠史郎, 柴田 実, 山中康成, 加藤竹雄, 依藤 亨, 中畑龍俊
京都大学大学院発達小児科学
- P-049** 酵素補充療法が有効であった糖原病II型の1例
○鳥邊泰久, 最上友紀子, 柳原恵子, 鈴木保宏
大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科
- 15:15 ~ 16:05** 代謝 2 (S297)
座長 下澤伸行 (岐阜大学生命科学総合研究支援センターゲノム研究分野)
桜庭 均 (明治薬科大学分析化学)
- P-050** Mutation analysis and response to riboflavin therapy in Taiwanese MADD patients
○Wen-Chen Liang^{1,2}, Aya Ohkuma², Kanako Goto², Yukiko K. Hayashi², Yuh-Jyh Jong¹, Ichizo Nishino²
Division of Pediatric Neurology, Department of Pediatrics, Kaohsiung Medical University Hospital, Kaohsiung, Taiwan¹, Department of Neuromuscular Research, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry, Kodaira, Japan²
- P-051** D-bifunctional protein欠損症脳組織の脂質分析—Zellweger症候群との比較—
○斉藤真木子¹, 山下純正², 伊藤雅之³, 水口 雅¹
東京大学大学院発達医学¹, 神奈川県立こども医療センター神経内科², 国立精神・神経センター神経研究所疾研二部³
- P-052** 半年で大脳白質変性の急速な進行をきたしたvanishing white matter diseaseの乳児発症例
○星野 愛¹, 富田 直¹, 熊田聡子¹, 花房由季子¹, 仁後綾子², 奥村さやか², 栗原栄二¹, 山本俊至³
都立神経病院神経小児科¹, 都立府中病院小児科², 東京女子医科大学国際統合医科学インスティテュート³
- P-053** 易興奮性, 不眠を呈したmegalencephalic leukoencephalopathy with subcortical cysts (MLC) の1例
○雨宮 馨¹, 柏井洋文¹, 水野陽子¹, 鈴木里伊奈¹, 小出彩香¹, 久保田雅也¹, 井出秀平²
都立八王子小児病院小児内科¹, 都立東部療育センター²
- P-054** 特異な糖鎖付加異常を呈した先天性グリコシル化異常症の1例
○大戸達之¹, 榎園 崇¹, 岩崎陽子², 平井直実¹, 田中竜太¹, 佐々木征行³, 大野耕策⁴, 湯浅 勲⁵, 鴨田知博¹
筑波大学小児科¹, 済生会横浜市東部病院こどもセンター², 国立精神・神経センター武蔵病院小児神経科³, 鳥取大学脳神経小児科⁴, 同 法医学⁵

- P-055** 感染に伴い肺出血を繰り返した先天性グリコシル化異常症の剖検例
 ○松尾宗明¹, 佐々木和也¹, 前田寿幸¹, 田島大輔¹, 大野耕策²
 佐賀大学小児科¹, 鳥取大学脳神経小児科²
- P-056** 質量分析で迅速に診断できたCDG症候群1a型の2例
 ○藤原伸一¹, 岡本伸彦², 植竹公明¹, 小野寺隆³, 柳生一自⁴, 末田慶太郎⁴, 朝比奈直子⁴, 白石秀明⁴, 齊藤伸治⁴
 帯広厚生病院小児科¹, 大阪府立母子保健総合医療センター², 伊達赤十字病院小児科³, 北海道大学小児科⁴
- P-057** Menkes病における症状・治療の実態
 ○小沢 浩¹, 児玉浩子²
 鳥田療育センター支援部¹, 帝京大学小児科²
- P-058** 中枢神経症状を主体とするメチルマロン酸血症の1例
 ○吉井啓介^{1,2}, 内木康博¹, 堀川玲子¹
 国立成育医療センター内分泌代謝科¹, 東京女子医科大学小児科²
- P-059** マルチプルカルボキシラーゼ欠損症と疑ったピオチン欠乏症の1例
 ○柿澤裕子¹, 糸見和也¹, 山口清次²
 あいち小児保健医療総合センター神経科¹, 島根大学小児科学²

16:05～16:45 血管障害 (S302)

座長 佐藤博美 (伊豆医療福祉センター脳神経外科)
 岡 明 (東京大学小児科)

- P-060** MR angiography にて一過性 spasms を認めた3例
 ○杉山延喜, 佐々木真理子, 横山淳一, 宮下好洋
 東海大学専門診療学系小児科学
- P-061** ステロイド投与中に脳静脈洞血栓症をきたし急性期に全般性高振幅徐波を認めた先天性筋ジストロフィーの1男児例
 ○原島知恵, 手塚純一郎, 大野祥一郎
 国立病院機構福岡病院小児科
- P-062** 脳内多発性海綿状血管腫 (cerebral cavernous malformations) の3例
 ○眞庭 聡, 中野広輔
 松山赤十字病院小児科
- P-063** 頭蓋内内頸動脈解離による前脈絡叢動脈閉塞を起こし片麻痺症状を呈した脳梗塞の9歳男児例
 ○柏井洋文¹, 水野葉子¹, 雨宮 馨¹, 鈴木里伊奈¹, 小出彩香¹, 谷口 真², 林 雅晴³, 田沼直之³, 宮田理英³
 都立八王子小児病院小児内科¹, 都立神経病院脳神経外科², 東京都神経科学総合研究所神経発達・再生³
- P-064** MRIにて脳軟膜高信号 (ivy sign) を呈したreversible cerebral vasoconstriction syndromeの12歳男児例
 ○吉岡誠一郎
 草津総合病院小児科
- P-065** モヤモヤ症候群を合併した神経線維腫症1型の3例
 ○中野恭子, 新関昌枝, 吉川秀人
 宮城県立こども病院神経科
- P-066** 長期中心静脈栄養中に、脳幹梗塞によるClaude症候群を呈した1例
 ○藤田貴子, 二之宮信也, 中村紀子, 井手口博, 井上貴仁, 安元佐和, 廣瀬伸一
 福岡大学小児科
- P-067** 凝固線溶系亢進を伴い、進行性皮膚・骨萎縮を呈した先天性毛細血管拡張性大理石様皮膚 (CMTC) の2例
 ○後藤千佳, 秋吉健介, 前田知己, 末延聡一, 是松聖悟, 泉 達郎
 大分大学脳・神経機能統御講座小児科学

16:45～17:30 腫瘍・脳外 (S306)

座長 川脇 寿 (大阪市立総合医療センター小児神経内科)
山下純正 (神奈川県立こども医療センター神経内科)

- P-068** 高ナトリウム血症を呈した側脳室脈絡叢乳頭腫の乳児例
○短田浩一
国立病院機構舞鶴医療センター小児科
- P-069** 大脳基底核原発の ganglioglioma の1女児例
○佐藤敦志, 高橋 寛, 三牧正和, 斉藤真木子, 岡 明, 水口 雅
東京大学小児科
- P-070** 脳幹腫瘍術後に非侵襲的換気療法を用いて気管切開を回避した1例
○大谷杏奈
手稲溪仁会病院小児科
- P-071** 視床下部過誤腫に合併し, 急性脳症で死亡した infantile spasms の1例
○矢野珠巨, 沢石由記夫, 高橋 勉
秋田大学生殖発達医学講座小児科学
- P-072** インターフェロン長期投与により進行が停止している ependymoblastoma の1女児例
○武藤庫参, 三木直樹
市立島田市民病院小児科
- P-073** 脳外科治療を必要とした結節性硬化症の2例
○渡邊健二¹, 佐野のぞみ¹, 大迫 豊², 八代一孝³
国立病院機構南九州病院小児科¹, 国分生協病院², 鹿児島大学脳神経外科³
- P-074** 急性骨髄性白血病の治療中止後に小脳失調で発症した白質脳症の1例
○二之宮信也¹, 井上貴仁¹, 米倉順孝¹, 藤田貴子¹, 井原由紀子¹, 友納優子¹, 中村紀子¹, 井手口博¹,
安元佐和¹, 崎山美知代², 廣瀬伸一¹
福岡大学小児科¹, 九州がんセンター²
- P-075** 中枢神経症状で発症した血液腫瘍の2例
○榎園 崇¹, 福島 敬¹, 大戸達之¹, 田中竜太¹, 太田正康², 工藤寿子¹, 鴨田知博¹
筑波大学小児科¹, 取手協同病院小児科²
- P-076** 気管切開部にデスマイド型線維腫症を生じた Lowe 症候群の1例
○三ツ井弘一, 小篠史郎, 中村恭子, 野村恵子, 木村重美, 三池輝久
熊本大学附属病院発達小児科

17:30～18:00 精神障害 (S311)

座長 友田明美 (熊本大学大学院小児発達社会学)
古荘純一 (青山学院大学教育学科)

- P-077** 神経性食思不振症に対するデキサメサゾン抑制試験の検討
○荒川千賀子, 今井由生, 遠藤あゆみ, 小平隆太郎, 藤田之彦
日本大学小児科
- P-078** 摂食障害児の入院初期治療に関する問題点—内科学的な検討—
○板橋 尚, 竹下絵里, 大谷良子, 小池牧子, 間崎 薫, 島村圭一, 村上信行, 作田亮一,
永井敏郎
獨協医科大学越谷病院小児科
- P-079** 不適切な家庭環境により適応障害をきたした弟の受診を契機に兄が自閉症であると診断された双子例
○奈良千恵子¹, 横山浩之², 廣瀬三恵子¹, 涌澤圭介¹, 土屋 滋¹
東北大学小児科¹, 山形大学看護学科臨床看護学²
- P-080** 長期間経過観察し得た小児期発症の社会不安障害の3例
○横山浩之¹, 廣瀬三恵子², 奈良千恵子², 涌澤圭介², 萩野谷和裕³, 土屋 滋², 飯沼一字⁴
山形大学看護学科臨床看護学¹, 東北大学大学院小児病態学², 宮城県拓桃医療療育センター³, 石
巻赤十字病院⁴
- P-081** 強制正常化現象を繰り返す小児難治てんかんの1例
○廣瀬三恵子¹, 横山浩之², 萩野谷和裕^{1,3}, 菊池敦生^{1,4}, 中山東城¹, 植松 貢¹, 飯沼一字⁴,
土屋 滋¹
東北大学病院小児科¹, 山形大学看護学科臨床看護学², 宮城県拓桃医療療育センター³, 石巻赤
十字病院⁴

P-082 精神神経症状を示した代理 Munchausen 症候群の4例

○三輪真美¹, 中村由紀子¹, 松田博雄^{1,3}, 別所文雄¹, 加藤雅江²
杏林大学小児科¹, 同 医療相談室², 淑徳大学総合福祉学部社会福祉学科³

14:30～15:15 発達障害 (一般・診断) …………… (S314)

座長 安原昭博 (安原こどもクリニック)
斎藤義朗 (国立精神・神経センター武蔵病院小児神経科)

P-083 問診と微細神経学的徴候による簡便な運動困難の判断基準について

○柏木 充, 橋本竜作, 鈴木周平
大阪医科大学高次脳機能発達総合研究講座

P-084 書字を苦手とする児童の背景因子に関する検討

○川谷正男¹, 中井昭夫¹, 平谷美智夫²
福井大学病態制御医学講座小児科¹, 平谷こども発達クリニック²

P-085 Williams 症候群の認知の特徴についての検討

○砂原真理子¹, 猪子香代², 大澤真木子¹
東京女子医科大学病院小児科¹, 東京都精神医学総合研究所児童思春期研究部門²

P-086 Williams 症候群における視空間認知能力と漢字写字の発達

○中村みほ¹, 水野誠司², 熊谷俊幸², 松本昭子³
愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所¹, 同 中央病院小児神経科², 同 こぼと学園³

P-087 注意欠陥/多動性障害児の母親におけるマタernalアタッチメントの形成プロセスについて

○眞野祥子¹, 宇野宏幸², 堀内史枝³
愛媛県立医療技術大学保健科学部看護学科¹, 兵庫教育大学大学院臨床・健康教育学系², 愛媛大学精神科・神経科³

P-088 Summer Treatment Program 前後のAD/HD児睡眠調査

○岩崎瑞枝¹, 松石豊次郎², 家村明子², 大矢崇志², 飯塚千穂², 中島正幸², 永光信一郎², 山下裕史朗²
科学技術振興機構社会技術研究開発センター¹, 久留米大学小児科学²

P-089 成人期AD/HDの実際

○西間木敦子, 宮尾益知, 奥山真紀子
国立成育医療センターこころの診療部発達心理科

P-090 神経性食欲不振症をきっかけに気づかれたAsperger症候群の1例

○友納優子^{1,3}, 井上登生², 井原由紀子^{1,3}, 金海武志^{1,3}, 井上貴仁³, 安元佐和³, 廣瀬伸一³
中津市民病院小児科¹, 井上小児科医院², 福岡大学小児科³

P-091 Asperger 症候群と注意欠陥/多動性障害の情動比較

○山城 大, 金村英秋, 加賀佳美, 青柳閣郎, 杉田完爾, 相原正男
山梨大学小児科

15:15～15:45 発達障害 (検査 1) …………… (S318)

座長 荻野竜也 (中国学園大学子ども学部子ども学科)
洲鎌倫子 ((社)発達協会王子クリニック)

P-092 The Boston Qualitative Scoring System (BQSS) for Rey-Osterrieth Complex Figure (ROCF) Qualitative scoresの発達の变化

○中野広輔¹, 荻野竜也², 渡邊聖子³, 竹内章人³, 岡 牧郎³, 大塚頌子³
松山赤十字病院小児科¹, 中国学園大学子ども学部・子ども学科², 岡山大学大学院発達神経病態学³

P-093 発達障害とMcGurk効果

○森田孝次, 桜井俊輔, 市橋いずみ, 田角 勝, 板橋家頭夫
昭和大学小児科

P-094 大脳性視覚障害児に対する視察による瞳孔反応法を用いたコントラスト感度測定 (第1報)

—健常者における測定の信頼性と妥当性—
○境 信哉¹, 平山和美², 加藤光広³, 齊藤伸治⁴, 境 直子⁵
北海道大学保健学科作業療法学専攻¹, 東北大学大学院高次機能障害学², 山形大学小児科³, 北海道大学小児科⁴, 札幌緑花会緑ヶ丘療育園⁵

- P-095** 大脳性視覚障害児に対する視察による瞳孔反応法を用いたコントラスト感度測定 (第2報)
—大脳性視覚障害児に対する測定の意義—
○境 信哉¹, 平山和美², 加藤光広³, 斉藤伸治⁴, 境 直子⁵, 清和ちづる⁶, 仁尾栄子⁷, 白石秀明⁴, 高柳 勝⁸, 小林康子⁹
北海道大学保健学科作業療法学専攻¹, 東北大学大学院高次機能障害学², 山形大学小児科³, 北海道大学小児科⁴, 札幌緑花会緑ヶ丘療育園⁵, 山形県立総合療育訓練センター⁶, エコー療育園⁷, 仙台市立病院小児科⁸, 国立病院機構西多賀病院小児神経⁹
- P-096** 発達性読み書き障害2例の漢字指導—聴覚法適用条件について—
○中村雅子^{1,2}, 稲垣真澄¹, 加我牧子¹
国立精神・神経センター精神保健研究所知的障害部¹, 東京大学耳鼻咽喉科²
- P-097** 学童における Rapid Automatized Naming (RAN) 課題—数字単独課題, 線画単独課題, 数字・線画交互課題の比較検討—
○小林朋佳^{1,2}, 稲垣真澄¹, 軍司敦子¹, 矢田部清美¹, 加我牧子¹, 後藤隆章³, 小池敏英³
国立精神・神経センター精神保健研究所知的障害部¹, 都立府中療育センター小児科², 東京学芸大学教育学部³

15:45～16:15 発達障害 (検査 2) (S321)

座長 金村英秋 (山梨大学小児科)
 吳 東進 (東京女子医科大学乳児行動発達学)

- P-098** 近赤外線スペクトロスコピーを用いたAD/HD児の反応抑制機能評価
○井上祐紀¹, 稲垣真澄¹, 軍司敦子¹, 篠田晴男², 加我牧子¹
国立精神・神経センター精神保健研究所知的障害部¹, 立正大学心理学部²
- P-099** fMRIを用いた, “場にそぐわない行動” 認知にかかわる脳賦活部位の検討
○涌澤圭介^{1,2}, 土屋 滋¹, 横山浩³
東北大学大学院小児病態学¹, 同 加齢医学研究所脳機能開発研究分野², 山形大学看護学科臨床看護学³
- P-100** 自閉症スペクトラム障害児における視覚・聴覚刺激による前頭葉機能活性変化の検討
○成田奈緒子¹, 成田正明²
文教大学教育学部特別支援教育専修¹, 三重大学大学院²
- P-101** 自閉症児のMR像—DTIと3D-MRSを組み合わせて—
○花岡 繁
都立北療育医療センター城南分園
- P-102** 自閉症の前頭葉機能—in vivo¹ H-MRSによる検討—
○藤井笑子¹, 森 健治¹, 宮崎雅仁¹, 橋本俊顕², 原田雅史³
徳島大学小児医学¹, 鳴門教育大学学校教育学部障害児教育², 徳島大学診療放射線技術学³
- P-103** 広汎性発達障害児における睡眠時紡錘波の出現様式と発達経過に関する検討
○木村育美¹, 宮尾益知², 久保田雅也³, 小森隆司⁴
都立多摩療育園小児神経科¹, 国立成育医療センター発達心理科², 同 神経内科³, 東京都神経科学総合研究所神経発達・再生研究分野臨床神経病理研究部門⁴

16:15～17:00 発達障害 (支援・療育) (S324)

座長 大野雅樹 (京都女子大学発達教育学部児童学科)
 糸見和也 (あいち小児保健医療総合センター神経科)

- P-104** 発達外来初診時年齢とその経過・予後について (第2報)
○澤井ちひろ¹, 阪上由子¹, 岩見美香¹, 岡田真子¹, 西倉紀子^{1,2}, 吉岡誠一郎^{1,3}, 高野知行¹, 竹内義博¹
滋賀医科大学小児科¹, 石部医療センター小児科², 草津総合病院小児科³
- P-105** 福岡市における心身障害児の実態調査
○権藤健二郎¹, 武本環美¹, 花井敏男¹, 塩永淳子², 宮崎千明³
福岡市立こども病院小児神経科¹, 福岡市立心身障害福祉センター², 福岡市立西部療育センター³
- P-106** 広汎性発達障害の一般診療に関する医療機関へのアンケート調査
○西村悟子
岐阜県立希望が丘学園小児科

- P-107** 高機能広汎性発達障害の思春期における問題点と病態—家族機能と社会機能との関係から—
○前田洋佐, 西間木敦子, 中野三津子, 宮尾益知
国立成育医療センターこころの診療部
- P-108** 不登校を主訴に受診した広汎性発達障害児の調査および具体的対応について
○宮地泰士^{1,2}, 石川道子², 井口敏之^{2,3}, 今枝正行^{2,4}, 浅井朋子^{2,5}
浜松医科大学子どもこころの発達研究センター¹, 名古屋大学大学院新生児小児医学², 星が丘マ
タニテイ病院³, 名古屋市北部地域療育センター⁴, 名古屋市児童福祉センター⁵
- P-109** 発達障害児の小児救急受診状況調査
○永井利三郎¹, 久林智佳¹, 田川哲三^{2,3}, 谷池雅子^{2,4}, 今石秀則^{2,5}, 荒井 洋^{2,6}, 田辺卓也^{2,7}, 藪田玲子^{2,8},
田中順子^{2,9}, 西田 勝^{2,10}
大阪大学保健学専攻¹, 大阪小児科医会勤務医部会障害児問題検討委員会², 大阪厚生年金病院小児
科³, 大阪大学子どもの心の発達研究センター⁴, 今石こどもクリニック⁵, 森之宮病院小児神経科⁶,
枚方市民病院小児科⁷, 市立伊丹病院小児科⁸, 田中北梅田クリニック⁹, 枚方療育園¹⁰
- P-110** 発達障害児医療における支援情報の共有についての質的研究
○堀口寿広¹, 秋山千枝子², 昆かおり³
国立精神・神経センター精神保健研究所社会精神保健部¹, あきやま子どもクリニック², 皆春堂
かおり小児科³
- P-111** 軽度知的障害を有し、特別支援学級へ編入を行った学童期の結節性硬化症2例に対する小児慢性疾患コー
ディネーターによる支援
○峯岸真千子, 下郷幸子, 高橋孝雄
慶應義塾大学小児科
- P-112** School AMPS (School Version of the Assessment of Motor and Process Skills) を用いた学童期の発達障害
児への支援
○林 優子
県立広島大学保健福祉学部

17:00～17:45 発達障害 (治療・経過) (S329)

座長 石崎朝世 (社発達協会王子クリニック)
小出博義 (ハロークリニック)

- P-113** 知的障害児の発達経過とリハビリテーションアプローチ
○大越優美, 長 博雪, 舟橋満寿子, 鈴木康之
東京小児療育病院小児科
- P-114** 発達障害児の音楽ソーシャルスキルトレーニング
○呉 東進
東京女子医科大学乳児行動発達学講座
- P-115** 保育士に対するペアレントトレーニングの試み
○反頭智子¹, 青柳閣郎¹, 畠山和男¹, 相原正男²
山梨県立あけぼの医療福祉センター小児科¹, 山梨大学小児科²
- P-116** 発達障害生徒に対する特別支援専門家チームにおける小児神経科医の役割—東京都江戸川区の例—
○勝盛 宏, 白川清吾
東京臨海病院小児科
- P-117** 小児神経科医による学校巡回指導例の検討
○中島正幸^{1,2}, 山下裕史朗², 松石豊次郎²
聖マリア病院母子総合医療センター新生児科¹, 久留米大学小児科²
- P-118** メチルフェニデート使用患児の保護者の意識調査—アンケート調査による検討—
○伊住浩史¹, 梶本まどか², 市山高志², 古川 漸²
萩市民病院小児科¹, 山口大学小児科²
- P-119** AD/HD Summer Treatment Program で個別プログラムとリタリン追加を要した1例
○山下裕史朗, 飯塚千穂, 大矢崇志, 中島正幸, 永光信一郎, 松石豊次郎
久留米大学小児科
- P-120** 小児精神神経疾患におけるアリピプラゾールの有効性について
○小笠原さゆ里¹, 宮尾益知¹, 中野三津子²
国立成育医療センターこころの診療部¹, 同 発達心理学²

P-121 自閉症スペクトラム診断までの期間短縮の試みと診断後の児の経過

○長尾靖子¹, 荒木 敦¹, 金子一成², 國吉京子³, 楠本健司³
 関西医科大学滝井病院小児科¹, 同 枚方病院小児科², 同 滝井病院形成外科³

14:30～15:05 新生児 1 (S333)

座長 洲鎌盛一 (国立成育医療センター総合診療部)
 小泉ひろみ (秋田市立病院小児科)

P-122 粗大脳病変のない在胎25週以下の児の神経行動学的予後

○洲鎌盛一
 国立成育医療センター総合診療部

P-123 長期挿管を要する先天性筋強直性ジストロフィー重症例の検討

○大塚春美¹, 鈴木康浩¹, 岩松利至¹, 田辺 良², 溝口枝里子³, 佐々木香織⁴, 齊藤加代子^{3,5},
 大澤真木子³
 千葉市立海浜病院新生児科¹, 千葉大学大学院小児病態学², 東京女子医科大学小児科³,
 同 八千代医療センター小児科⁴, 同 遺伝子医療センター⁵

P-124 正期産児型低酸素性虚血性脳症の児における生後2週以降の新生児脳波所見とウエスト症候群発症との関連性の検討

○加藤 徹¹, 辻 健史¹, 早川文雄¹, 城所 博², 久保田哲夫², 鈴木基正³, 丸山幸一³, 夏目 淳⁴,
 奥村彰久⁵, 渡邊一功⁶
 岡崎市民病院小児科¹, 安城更生病院小児科², 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科³,
 名古屋大学小児科⁴, 順天堂大学小児科⁵, 愛知淑徳大学医療福祉学部⁶

P-125 早産低出生体重児における尿中メラトニン代謝産物と8-OHdGの継次的変化

○荒木章子^{1,2}, 白井 勝², 大日向純子¹, 鈴木菜生¹, 高橋 悟¹, 田中 肇¹, 沖 潤一², 藤枝憲二¹
 旭川医科大学小児科¹, 旭川厚生病院小児科²

P-126 簡易無呼吸解析装置を用いた新生児の臨時的無呼吸の検討

○青柳陽子, 財津亜友子, 向江徳太郎, 岡田純一郎, 廣瀬彰子, 神田 洋, 藤野 浩,
 前野泰樹, 岩田欧介, 松石豊次郎
 久留米大学小児科

P-127 胎児母体間輸血による多嚢胞性脳軟化症をきたしながら言語発達が良好な1女児例

○中村和幸, 加藤光広, 早坂 清
 山形大学発達生体防御学講座小児医科学

P-128 脳室周囲白質軟化症とてんかんについて

○福田邦明¹, 桐野友子², 藤原由美², 牛田美幸², 遠藤彰一¹
 国立病院機構香川小児病院神経内科¹, 同 小児科²

15:05～15:35 薬物 (S337)

座長 伊藤 進 (香川大学小児科)
 内海康文 (うつみ医院小児科)

P-129 zonisamide (ZNS) による薬剤誘発性過敏症候群の15歳男児例

○鳥尾倫子, 武本環美, 権藤健二郎, 花井敏男
 福岡市立こども病院小児神経科

P-130 けいれん重積型インフルエンザ脳症の経過中に薬剤誘発性過敏性症候群 (DIHS) を併発した1男児例

○苛原 香, 麻生誠二郎
 日本赤十字社医療センター小児科

P-131 HHV-6脳症後に発症した drug-induced hypersensitivity syndrome の1例

○才田 聡¹, 田中里江子^{1,2}
 日本赤十字社和歌山医療センター第1小児科¹, 稲祥会稲田病院小児科²

P-132 てんかん治療中に合併した薬疹の症例検討

○中村由紀子, 三輪真美, 別所文雄
 杏林大学小児科

P-133 抗てんかん剤の催奇形性に関する国際的調査 (EURAP) の日本における現状報告

○大谷英之¹, 田中正樹^{1,2}, 高橋幸利¹, 井上有史¹, 藤原建樹¹, 笹川睦男³, 溝渕雅広⁴
 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター¹, 田中神経クリニック², 国立病院機構西新潟中央
 病院てんかんセンター³, 中村記念病院⁴

P-134 ALL加療中にタクロリムス脳症を起こした1例

○小松博子, 山下裕史朗, 飯塚千穂, 大矢崇志, 永光信一郎, 稲田浩子, 松石豊次郎
久留米大学小児科

15:35～16:15 睡眠・自律神経…………… (S340)

座長 栗屋 豊 (聖母会聖母病院小児科)
藤本伸治 (つつじが丘こどもクリニック)

P-135 健常中学生と不登校児における睡眠覚醒リズムと疲労, 認知機能の検討

○川谷淳子¹, 上土井貴子², 友田明美¹, 白石晴士³, 三池輝久²
熊本大学大学院小児発達社会学¹, 同 小児発達学², 同 附属病院発達小児科³

P-136 不登校児の睡眠異常に対するメラトニン治療の効果

○大日向純子, 荒木章子, 鈴木菜生, 高橋 悟, 田中 肇, 藤枝憲二
旭川医科大学小児科

P-137 小児期の過眠症とオレキシン測定第2報

○有井潤子¹, 神林 崇³, 久保田博昭², 矢野珠巨⁴, 澤石由記夫⁴, 渡部泰弘⁴
千葉労災病院小児科¹, 千葉大学大学院小児病態学², 秋田大学精神科³, 同 小児科⁴

P-138 鎮痛薬抵抗性の小児片頭痛に対するトリプタン製剤の有効性および安全性の検討

○北村重和¹, 立岡良久²
甲南病院神経内科¹, 立岡神経内科²

P-139 周期性嘔吐症候群に対する valproate sodium 予防内服療法の検討

○疋田敏之¹, 児玉浩子¹, 仲本なつ恵^{1,2}, 荻田佳織¹, 天方かおり¹, 金子衣野¹, 藤井靖史¹, 藤田靖子¹,
柳川幸重¹

帝京大学小児科¹, 目白大学保健医療学部²

P-140 アデノイド・扁桃摘出後に足の不快感の訴えが消失した閉塞性睡眠時無呼吸症候群とレストレスレッグス症候群を合併した1歳女児例

○加藤久美^{1,2}, 毛利育子¹, 谷池雅子¹
大阪大学大学院子どものこころの分子統御機構研究センター¹, 大阪回生病院睡眠医療センター²

P-141 めまい・行動異常を主訴とし, 不思議の国のアリス症候群と考えられた8歳女児例

○秋谷 進^{1,2}, 宮本幸伸¹
三愛会総合病院小児科¹, 埼玉県立小児医療センター精神科²

P-142 局所的な発汗を主訴とした急性自律神経ニューロパチーの2例

○新井ひでえ¹, 久保田博昭², 田邊雄三^{1,3}, 小俣 卓¹
千葉県こども病院神経科¹, 千葉県千葉リハビリテーションセンター小児科², そがこどもクリニック³

16:15～16:55 脳奇形…………… (S344)

座長 伊東恭子 (京都府立医科大学大学院分子病態病理学)
後藤知英 (東京都立清瀬小児病院神経科)

P-143 Frontal localized hemimegalencephaly の2例—hemimegalencephaly の最軽症型?—

○小野陽一¹, 遠山 潤², 須貝研司³, 前垣義弘¹, 大野耕策¹
鳥取大学脳神経小児科¹, 国立病院機構西新潟中央病院てんかんセンター小児科², 国立精神・神経センター武蔵病院小児神経科³

P-144 日齢2のけいれんで発症した新生児片側巨脳症の1例

○中島健太郎¹, 巷岡彩子¹, 有馬慶太郎¹, 中川真智子¹, 鶴田志緒¹, 草川 功¹, 細谷亮太¹, 荻原正明²
聖路加国際病院小児科¹, 荻原医院²

P-145 胎児MRIにて脳室拡大, 脳梁低形成, 小脳低形成を指摘された3症例の経過

○高橋 寛¹, 佐藤敦志¹, 三牧正和¹, 齊藤真木子², 岡 明¹, 水口 雅²
東京大学小児科¹, 同 発達医科学²

P-146 両側大脳半球の脳奇形におけるてんかんの特徴と治療効果

○斎藤義朗^{1,3}, 須貝研司¹, 中川栄二¹, 佐久間啓¹, 小牧宏文¹, 佐々木征行¹, 大槻泰介², 大野光洋³,
近藤章子³, 前垣義弘³, 大野耕策³
国立精神・神経センター武蔵病院小児神経科¹, 同 脳神経外科², 鳥取大学脳神経小児科³

- P-147** 脳奇形を伴ったC (Opitz trigonocephaly) 症候群の1女児例
 ○森 淳子¹, 深町 亮¹, 要 匡³, 森内浩幸²
 重症心身障害児(者)施設みさかえの園むつみの家小児科¹, 長崎大学小児科²,
 琉球大学医科遺伝学³
- P-148** Suppression-burst (S-B) pattern EEGを伴ったmicrocephaly with simplified gyral pattern (MSG) の1例
 ○西村 陽¹, 大神 文², 森岡茂己¹, 長谷川龍志¹, 戸澤雄紀¹, 磯田賢一¹, 松井史裕¹, 森本昌史¹
 京都府立医科大学大学院小児発達医学¹, 福知山市立市民病院小児科²
- P-149** Tethered cord in Miller-Dieker syndrome — a new association—
 ○Wen-Cheng Chang, Jao-Shwann Liang
 Department of Pediatrics, Far Eastern Memorial Hospital, Taipei, Taiwan
- P-150** メキシコの神経管閉鎖障害4症例—葉酸投与の実状と問題点—
 ○尾上幸子
 メキシコ国ベラクルス州立市民病院小児科

16:55～17:25 感染・免疫 1 (S348)

- 座長 田沼直之 (東京都立府中療育センター小児科)
 糸数直哉 (どんぐりこども診療所)
- P-151** 右下肢の弛緩性麻痺をきたし脊髄炎と考えられた男児例
 ○羽鳥誉之¹, 大久保隆¹, 橋本 清², 藤野 修²
 さいたま赤十字病院小児科¹, 日本医科大学小児科²
- P-152** 神経根障害の合併が疑われた横断性脊髄炎での髄液マーカーの経時的推移
 ○安西有紀¹, 林 雅晴², 宮田理英², 田沼直之², 大矢達男¹
 済生会横浜市東部病院小児科¹, 東京都神経科学総合研究所臨床病理²
- P-153** PRLES所見を呈したaquaporin-4抗体陽性脊髄炎の女児例
 ○横井俊明¹, 服部英司¹, 岡野善行¹, 鶴原昭史¹, 松岡 収¹, 山野恒一¹, 中野栄子²,
 松井 大², 田中正美², 小西哲郎², 田中恵子³
 大阪市立大学大学院発達小児医学¹, 国立病院機構宇多野病院神経内科², 新潟大学神経内科³
- P-154** 抗aquaporin-4抗体が陽性であった視神経脊髄型多発性硬化症の女児例
 ○児玉晴香, 安藤 淳, 谷内雅代, 杉浦裕子, 森口直彦
 近畿大学堺病院小児科
- P-155** 非けいれん性てんかん重積をきたした多発性硬化症の1例
 ○栗屋智就¹, 加藤竹雄¹, 大封智雄¹, 柴田 実¹, 山中康成¹, 白石一浩³, 富和清隆²,
 中畑龍俊¹
 京都大学大学院発達小児科学¹, 同 遺伝カウンセラー・コーディネータユニット², 国立病院機構
 宇多野病院小児科³
- P-156** 小児多発性硬化症の家族支援体制について
 ○平野幸子, 舟塚 真, 小平かやの, 石垣景子, 中山智博, 大澤真木子
 東京女子医科大学小児科

17:25～17:55 感染・免疫 2 (S351)

- 座長 武藤順子 (東京女子医科大学八千代医療センター小児科)
 平岩幹男 (office 21 kitatoda)
- P-157** Decoy Receptor 3 ameliorates experimental autoimmune encephalitis through down regulation of innate and adaptive immunity concomitant with suppression of TH17 cells
 ○Shyi-Jou Chen¹, Yen-Lin Wang¹, Su-Feng Wu³, Chich-Chien Wang¹, Jen-Hsin Kao^{2,4},
 Pao-Luh Tac⁴, Chia-Cho Wu⁵, Chien-Len Liao⁶, Huey-Kang Sytwu^{2,6,7}
 Department of Pediatrics¹, Graduate Institute of Life Science², Department of Pharmacology⁴, Department
 of Nephrology⁵, Department of Microbiology and Immunology, Graduate Institute of Medical Sciences,
 National Defense Medical Center, Taipei, Taiwan⁶, Department of Microbiology and Immunology, National
 Chung University, Taiwan⁷

- P-158** インフルエンザ脳症を反復した若年性特発性関節炎例
○佐藤優子, 福田冬季子, 後藤珠子, 森 雅人, 山形崇倫, 杉江秀夫, 桃井真里子
自治医科大学小児科学
- P-159** MRワクチン後に発症し, SPECTにて小脳血流の低下を認めた急性小脳失調症の1例
○大野光洋¹, 近藤章子², 浅井康一¹, 大野耕策²
鳥根県立中央病院小児科¹, 鳥取大学脳神経小児科²
- P-160** 当院でリハビリ併用療法を実施した亜急性硬化性全脳炎 (SSPE) の4例
○大見 剛¹, 玉城邦人¹, 城間直秀²
琉球大学小児科¹, たかえすクリニック²
- P-161** 初診時より大脳皮質病変と対側の基底核病変を認めた Rasmussen syndrome の1例
○三牧正和¹, 佐藤敦志¹, 高橋 寛¹, 伊藤雅之², 高橋幸利³, 岡 明¹, 水口 雅⁴
東京大学小児科¹, 国立精神・神経センター神経研究所疾研二部², 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター³, 東京大学大学院発達医科学⁴
- P-162** SCN1A 変異を認めた Rasmussen 脳炎の1例
○小林勝弘¹, 大守伊織², 大内田守³, 井上拓志¹, 前垣義弘⁴, 大塚頌子¹
岡山大学大学院発達神経病態学小児神経科¹, 同 細胞生理学², 同 分子遺伝学³, 鳥取大学脳神経小児科⁴

第3日目 第1会場 (ペガサスA)

- 8:00 ~ 9:00 モーニング教育セミナー 1: 興和創薬株式会社 (S142)
 眼で見るてんかん発作一部分発作編—
 座長 泉 達郎 (大分大学脳・神経機能統御講座小児科学)
 講演 坂内優子 (東京女子医科大学小児科)
- 9:00 ~ 9:40 教育講演 1 (S102)
 小児てんかんの外科治療
 座長 田中達也 (旭川医科大学脳神経外科)
 講演 堀 智勝 (東京女子医科大学脳神経外科)
- 9:50 ~ 12:00 シンポジウム 1 (S110)
 小児てんかんの診断と治療—エキスパートオピニオン—
 座長 小国弘量 (東京女子医科大学小児科)
 大塚頌子 (岡山大学小児神経科)
- 1) West 症候群とその周辺
 小林勝弘 (岡山大学小児神経科)
 - 2) Lennox 症候群とその周辺
 藤原建樹 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)
 - 3) ミオクロニーてんかん症候群
 小国弘量 (東京女子医科大学小児科)
 - 4) 潜因性, 症候性部分てんかんの診断と成因, 治療
 須貝研司 (国立精神・神経センター武蔵病院小児神経科)
 - 5) CSWS, LKS とその周辺
 奥村彰久 (順天堂大学小児科)
- 12:20 ~ 13:20 ランチョンセミナー 4: ジェンザイム・ジャパン株式会社 (S152)
 神経変性疾患の治療法実現に向けて
 座長 衛藤義勝 (東京慈恵会医科大学リソゾーム病研究講座)
 講演 辻 省次 (東京大学大学院脳神経医学専攻神経内科)
- 13:30 ~ 14:30 第1回会員総会
- 15:40 ~ 16:20 教育講演 2 (S103)
 脳保護戦略最前線—研究室からICUへ, 先進国から途上国へ—
 座長 山本 仁 (聖マリアンナ医科大学小児科)
 講演 岩田欧介 (久留米大学小児科・高次脳疾患研究所, ロンドン大学母子保健学部周産期
 脳研究所)
- 16:20 ~ 18:30 シンポジウム 2 (S115)
 新生児神経学トピックス
 座長 早川昌弘 (名古屋大学周産母子センター)
 新島新一 (順天堂大学練馬病院小児科)
- 1) 脳モニターとしての amplitude integrated EEG の有用性
 平澤恭子 (東京女子医科大学小児科)
 - 2) 周産期脳障害の画像診断最前線
 相田典子 (神奈川県立こども医療センター放射線科)
 - 3) 脳保護療法—脳低温療法か? 薬物療法か?—
 清水正樹 (埼玉県立小児医療センター未熟児新生児科)
 - 4) 新生児医療が中枢神経予後に与えるインパクト
 城所博之 (安城更生病院小児科, 名古屋大学大学院)

19:00 ~ 21:00 夜間集会 2 イブニングセミナー (薬事委員会・コンサータ錠適正流通管理委員会) :
ヤンセンファーマ株式会社 (S160)

座長 宮島 祐 (東京医科大学小児科)
林 北見 (東京女子医科大学八千代医療センター小児科)

- 1) 小児科医のための AD / HD 診断治療ガイドラインとコンサータの流通システム概説
宮島 祐 (東京医科大学小児科)
- 2) 幼児発達障害児に対する治療的介入における問題点と提言
小枝達也 (鳥取大学地域学部地域教育学科)
- 3) Concerta 時代のわが国の AD / HD 治療のあり方
齊藤万比古 (国立国際医療センター国府台病院)
- 4) 薬物依存とメチルフェニデート
曾良一郎 (東北大学大学院精神・神経生物学)

第3日目 第2会場 (ペガサス B)

8:00 ~ 9:00 モーニング教育セミナー 2 : ユーシービー・ジャパン株式会社 (S143)
EEG : an introduction

座長 大塚 頌子 (岡山大学脳小児神経科)
講演 Solomon L Moshé (Albert Einstein College of Medicine and Montefiore Medical Center,
New York, NY, USA)

9:00 ~ 9:40 International Symposium Celebrating the 50th Meeting of the JSCN Part III (S088)
Fukutinopathy

Chairman Ikuya Nonaka (National Center Hospital for Mental, Nervous and Muscular
Disorders, National Center of Neurology and Psychiatry, Kodaira,
Japan)

Fukuyama congenital muscular dystrophy : an overview
Yukio Fukuyama (Tokyo Woman's Medical University, Tokyo, Japan)

9:50 ~ 12:00 International Symposium Celebrating the 50th Meeting of the JSCN Part III (S089)
Phenotypic Spectrum of Fukutinopathy

Chairman Tadayuki Ishihara (National Hakone Hospital, Odawara, Japan)
Hideo Sugie (Jichi Medical University, Jichi Children's Medical Center, Shimotsuke,
Japan)

- 1) Most severe phenotype of Fukutinopathy
Mieko Yoshioka (Department of Pediatric Neurology, Kobe City Pediatric and General Rehabilitation Center for
the Challenged, Kobe, Japan)
- 2) Mild phenotypes in Fukutinopathy
Francesco Muntoni (Dubowitz Neuromuscular Centre, UCL Institute of Child Health, London, UK)
- 3) Fukutin gene mutations cause dilated cardiomyopathy with minimal muscle weakness
Terumi Murakami¹, Yukiko Hayashi², Ikuya Nonaka², Makiko Osawa¹, Ichizo Nishino²
(Department of Pediatrics Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan¹, Department of Neuromuscular
Research, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry, Kodaira, Japan²)
- 4) Development of Fukutinopathy model mouse
Tatsushi Toda (Division of Clinical Genetics, Osaka University Graduate School of Medicine, Suita, Japan)

12:20 ~ 13:20 ランチョンセミナー 5: グラクソ・スミスクライン株式会社 (S153)
Treatment for intractable epilepsy

座長 飯沼一宇 (石巻赤十字病院)

講演 Paolo Curatolo (Professor of Pediatric Neurology and Psychiatry, Department of Neuroscience, Tor Vergata University, Rome, Italy)

14:30 ~ 15:40 International Symposium Celebrating the 50th Meeting of the JSCN Part IV (S093)
Topics in neuromuscular disorders

Chairman Masaharu Hayashi (Tokyo Metropolitan Institute for Neuroscience, Fuchu, Japan)
 Yuh-Jyh Jong (Kaohsiung Medical University, Kaohsiung, Taiwan)

- 1) Recent advance in spinal muscular atrophy
 Yuh-Jyh Jong (Graduate Institute of Medicine, College of Medicine, Kaohsiung Medical University, Kaohsiung, Taiwan)
- 2) New insights into the pathogenesis of SMA
 Yasushi Ito (Department of Pediatrics, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan)
- 3) Congenital myasthenic syndrome
 Keiko Ishigaki (Department of Pediatrics, Tokyo Women's Medical University, Tokyo, Japan)

15:40 ~ 16:20 教育講演 4 (S105)
脳性麻痺児の痙縮に対する選択的脊髄後根遮断術

座長 斎藤加代子 (東京女子医科大学遺伝子医療センター)

講演 平 孝臣 (東京女子医科大学脳神経外科)

16:20 ~ 18:30 シンポジウム 4 (S120)
小児神経学的側面から見た脳神経外科的アプローチ

座長 大井静雄 (東京慈恵会医科大学脳神経外科)

伊達裕昭 (千葉県こども病院脳神経外科)

- 1) 児童虐待における頭部外傷の脳神経外科的アプローチ
 荒木 尚 (日本医科大学高度救命救急センター)
- 2) 小児脳血管障害における病態の特殊性と治療上の諸問題
 田母神令¹, 大井静雄^{1,2}, 阿部俊昭¹ (東京慈恵会医科大学脳神経外科学¹, 同 病院総合母子健康医療センター小児脳神経外科²)
- 3) 頭蓋内くも膜嚢胞の治療適応と治療上の諸問題
 宮嶋雅一 (順天堂大学脳神経外科)
- 4) 潜在性二分脊椎の診断とタイプ別に見た治療指針決定の諸問題
 栗原 淳, 西本 博 (埼玉県立小児医療センター脳神経外科)
- 5) 神経疾患に対する細胞移植・再生療法: 脳虚血を中心に
 伊達 勲 (岡山大学大学院脳神経外科学)

第3日目 第3会場 (ペガサスC)

8:00 ~ 9:00 モーニング教育セミナー 3: ファイザー株式会社 (S144)
成長ホルモン治療が脳代謝に及ぼす影響について

座長 高田五郎 (公立米内沢総合病院)

講演 新島新一 (順天堂大学練馬病院小児科)

9:00 ~ 9:40 教育講演 5 (S106)
発達障害への理解と対応—思春期をより円滑に乗り越えるために—

座長 山野恒一 (大阪市立大学大学院発達小児医学)

講演 佐々木正美 (川崎医療福祉大学医療福祉学部)

9:50 ~ 12:00 シンポジウム 5 (S125)
 発達障害への小児神経学の寄与

座長 原 仁 (横浜市中部地域療育センター)
 小枝達也 (鳥取大学地域学部地域教育学科発達科学)

- 1) 自閉症の脳過形成—神経画像研究の知見—
 橋本俊顕 (鳴門教育大学学校教育学部特別支援教育講座)
- 2) 発達障害と実行機能障害—認知神経心理学的理解—
 後藤裕介 (山梨大学小児科)
- 3) AD/HD の行動抑制障害—臨床神経生理学の立場から—
 岡崎慎治 (筑波大学人間総合科学研究科障害科学専攻)
- 4) “好い事作り”療法—困っている子と親への発達カウンセリング—
 石川 丹 (楡の会こどもクリニック)

12:20 ~ 13:20 ランチョンセミナー 6: 日本ベーリンガー・インゲルハイム株式会社 (S154)
 働く女性と子どもの脳(心)の発達

座長 山野恒一 (大阪市立大学大学院発達小児医学)
 講演 渡辺久子 (慶應義塾大学小児科)

14:30 ~ 15:40 ワークショップ (S139)
 脳炎・脳症: 最近の話題

座長 山内秀雄 (獨協医科大学小児科)
 水口 雅 (東京大学大学院発達医科学)

- 1) 小児急性脳症の最近の話題
 山内秀雄 (獨協医科大学小児科)
- 2) 特異な脳炎・脳症後てんかん—AERRPS (難治頻回部分発作重積型急性脳炎) の臨床像—
 栗屋 豊 (聖母会聖母病院小児科, 東京女子医科大学小児科)
- 3) インフルエンザ脳症の病型分類の試み
 塩見正司 (大阪市立総合医療センター小児救急科)

15:40 ~ 16:20 教育講演 6 (S107)
 神経系細胞分化を制御するエピジェネティクス機構

座長 大野耕策 (鳥取大学脳神経小児科)
 講演 中島欽一¹, 神山 淳¹, 波平昌一¹, Gage Fred H², 岡野栄之³, 澤本知延⁴
 (奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科分子神経分化制御学¹, ソーク研究所² 慶應義塾大学生理学³, 名古屋市立大学大学院再生医学⁴)

16:20 ~ 18:30 シンポジウム 6 (S129)
 小児神経疾患とエピジェネティクス

座長 久保田健夫 (山梨大学大学院環境遺伝医学)
 伏木信次 (京都府立医科大学大学院分子病態病理学)

- 1) 小児神経疾患におけるエピジェネティクスのオーバービュー
 久保田健夫 (山梨大学大学院環境遺伝医学)
- 2) Angelman 症候群—ゲノム刷り込み疾患の診断と治療—
 齊藤伸治 (北海道大学小児科)
- 3) インプリント遺伝子 *Necdin* によるニューロン発達の制御
 吉川和明 (大阪大学蛋白質研究所神経発生制御研究室)
- 4) 染色体工学的手法によるヒト染色体 15q11-13 重複モデルマウスの作製
 内匠 透 (大阪バイオサイエンス研究所)
- 5) 環境化学物質による発生期脳エピゲノムの変化
 伏木信次 (京都府立医科大学大学院分子病態病理学)

19:00 ~ 20:00 夜間集会 3 イブニングセミナー: バイエル薬品株式会社 (S161)
 日本の多発性硬化症と視神経脊髄炎

座長 原 寿郎 (九州大学成長発達医学分野 (小児科))
 講演 藤原一男 (東北大学多発性硬化症治療学)

第3日目 第4会場 (シリウス)

9:00 ~ 9:40 教育講演 7 (S108)
脳性麻痺の考え方

座長 小西 徹 (長岡療育園)
講演 横地健治 (聖隷三方原病院小児神経科)

9:50 ~ 12:00 シンポジウム 7 (S134)
重症心身障害児の包括的医療

座長 北住映二 (心身障害児総合医療療育センター)
岩崎裕治 (東京都立東部療育センター)

- 1) 重症心身障害児の呼吸障害への対応の進歩と課題
北住映二 (心身障害児総合医療療育センター)
- 2) 重症心身障害児における喉頭・気管障害の重要性と対応
水野勇司 (国立病院機構福岡東医療センター小児科)
- 3) 重症心身障害児における外科的対応の諸問題—特に変形による影響とその対応—
世川 修 (東京女子医科大学小児外科)
- 4) 重症心身障害児 (者) の生を全うする医療としての「選択的医療」
山田美智子 (神奈川県立こども医療センター重症心身障害児施設)
- 5) 重症心身障害児者の地域医療ネットワークの必要性—在宅での palliative care と QOL —
宍倉啓子 (朋診療所)

12:20 ~ 13:20 ランチョンセミナー 7: フジ・レスピロニクス株式会社 (S155)
神経筋疾患の器械による咳介助

座長 川井 充 (国立病院機構東埼玉病院)
講演 石川悠加 (国立病院機構八雲病院小児科)

14:30 ~ 15:30 画像 1 (S205)

座長 椎原弘章 (あしかがの森足利病院小児科)
熊田聡子 (都立神経病院神経小児科)

- O-066** 脳科学による親性育成過程の神経基盤の解明
—機能的 MRI を用いた乳児泣き場面に対する反応の検討 (第2報) —
○中井昭夫¹, 松木健一²
福井大学病態制御医学講座小児科学¹, 同 教育地域科学部発達科学²
- O-067** 基底核視床病変における拡散テンソル画像
○奥村彰久¹, 早川昌弘², 辻 健史², 斎藤雅子¹, 田中恭子¹, 中澤友幸¹
順天堂大学小児科¹, 名古屋大学大学院小児科学²
- O-068** Septo-optic dysplasia 10 症例の画像的検討
○温井めぐみ, 九鬼一郎, 木村志保子, 服部妙香, 岡崎 伸, 川脇 寿, 富和清隆
大阪市立総合医療センター小児医療センター小児神経内科
- O-069** けいれん重積で発症し急激な脳浮腫を呈した敗血症関連脳症の2小児例
○近藤章子, 藤井裕士, 岡西 徹, 大野光洋, 杉浦千登勢, 井上岳彦, 斎藤義朗, 前垣義弘, 大野耕策
鳥取大学脳神経小児科
- O-070** 脳血流 SPECT と ¹²³I-*Iomazenil* SPECT の解離所見の検討
○九鬼一郎¹, 川脇 寿¹, 服部妙香¹, 温井めぐみ¹, 木村志保子¹, 岡崎 伸¹, 石川順一², 外川正生²,
塩見正司³, 富和清隆^{1,4}
大阪市立総合医療センター小児医療センター小児神経内科¹, 同 小児医療センター小児救急科²,
同 感染症センター³, 京都大学遺伝カウンセラーコーディネーターユニット⁴
- O-071** MRI スペクトロスコピーを用いた非侵襲的乳酸定量法
○岩崎信明¹, 田中竜太², 松村 明³, 阿武 泉⁴, 磯部智範³, 大戸達之², 中山純子¹,
絹笠英世¹
茨城県立医療大学小児科¹, 筑波大学小児科², 同 脳神経外科³, 同 放射線科⁴

- 15:30 ~ 16:40 てんかん 5 (S208)
- 座長 大府正治 (沖縄県立南部医療センター・子ども医療センター小児神経科)
高橋幸利 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科)
- O-072 重症心身障害児 (者) のてんかんに関する臨床脳波学的研究
—てんかん発作予後因子の統計学的検討—
○松本昭子^{1,2,3}, 宮崎修次¹, 中村みほ², 熊谷俊幸³
愛知県心身障害者コロニーこぼと学園¹, 同 発達障害研究所², 同 中央病院小児神経科³
- O-073 成人期に達した Dravet 症候群の長期経過に関する研究
○若井麻里, 遠藤文香, 岡 牧郎, 小林勝弘, 大塚頌子
岡山大学大学院発達神経病態学 (小児神経科)
- O-074 てんかん性棘波の分布と臨床像の関連性
○吉永治美, 石崎裕美子, 井上拓志, 菊本健一, 大塚頌子
岡山大学大学院発達神経病態学 (小児神経科)
- O-075 複数回の脳磁図検査を試行した局在関連性てんかん症例の脳磁図所見の検討
○齋藤なか¹, 遠山 潤¹, 赤坂紀幸¹, 笹川睦男², 亀山茂樹³
国立病院機構西新潟中央病院小児科¹, 同 精神科², 同 脳神経外科³
- O-076 脳波上徐波睡眠時に連続する棘徐波 (CSWS) を認めた小児例の検討
○深沢達也¹, 東 慶輝¹, 夏目 淳¹, 生田岳人², 城所博之³, 奥村彰久⁴, 根来民子⁵
名古屋大学小児科¹, 愛知県青い鳥医療福祉センター小児科², 安城更生病院小児科³, 順天堂大学小児科⁴, 岡崎女子短期大学人間福祉学科⁵
- O-077 全般性強直間代性けいれんが先行して発症した小児の欠神てんかんに関する臨床的研究
○若本裕之¹, 福田光成², 林 正俊³
愛媛県立中央病院小児科¹, 愛媛大学小児科², 市立宇和島病院小児科³
- O-078 MRI で一側前頭葉に皮質形成異常を指摘された小児の脳波上てんかん性焦点の経時的変化
○南谷幹之^{1,2}, 浜野晋一郎^{2,3}, 田中 学³, 吉成 聡^{2,3}, 日暮憲道^{2,3}, 衛藤義勝²
埼玉県立小児医療センター保健発達部¹, 東京慈恵会医科大学小児科²,
埼玉県立小児医療センター神経科³
- 16:40 ~ 17:40 てんかん 6 (S212)
- 座長 服部英司 (大阪市立大学大学院発達小児医学)
宮本晶恵 (北海道立旭川肢体不自由児総合療育センター小児科)
- O-079 グルコースポーター 1 異常症における定性 FDG-PET 所見の statistical parametric mapping を用いた検討
○東 慶輝¹, 夏目 淳¹, 深沢達也¹, 根来民子², 渡邊一功³, 柳原恵子⁴
名古屋大学小児科¹, 岡崎女子短期大学人間福祉学科², 愛知淑徳大学医療福祉学部³, 大阪府立母子保健総合医療センター研究所免疫部門⁴
- O-080 皮質形成異常におけるプロトン MRS によるてんかん病態の解析
○森 健治¹, 藤井笑子¹, 森 達夫¹, 宮崎雅仁¹, 原田雅史², 香美祥二¹
徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部小児医学¹, 同 診療放射線技術学²
- O-081 インフルエンザワクチン接種後にてんかンを発病した 3 症例における, 病態, 治療法の検討
○美根 潤, 高橋幸利, 高橋宏佳, 大谷早苗, 池田浩子, 山崎悦子, 久保田裕子, 今井克美, 藤原建樹
国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター
- O-082 てんかんと合併する 22q11.2 欠失症候群 (CATCH22) における神経放射線学的検討
○森 達夫^{1,2}, 森 健治¹, 藤井笑子¹, 香美祥二¹, 原田雅史³
徳島大学小児医学¹, 高松赤十字病院小児科², 徳島大学診療放射線技術学³
- O-083 幼弱ラット温熱誘発けいれんモデルのけいれん準備性に与えるテオフィリンの影響
○福田光成¹, 鈴木由香¹, 渡部承平¹, 森本武彦²
愛媛大学大学院小児医学¹, 愛媛県立子ども療育センター²
- O-084 カイニン酸誘発けいれん重積後の成熟および新生仔ラット海馬における炎症性サイトカイン発現の検索
○佐久間悟, 横井俊明, 服部英司, 松岡 収, 山野恒一
大阪市立大学大学院発達小児医学

19:00 ~ 21:00 夜間集会 4 (社会活動委員会) (S162)

座長 杉本健郎 (びわこ学園医療福祉センター)

- 1) 小児科学会超重症児調査からみえた課題
杉本健郎 (びわこ学園医療福祉センター, すぎもとボーン・クリニック, 日本小児科学倫理委員会)
- 2) 後方施設に実質上要求される役割
滝澤 昇 (国立病院機構富山病院小児科)
- 3) NICU 退院の問題点・後方施設の課題—新規開設施設にて見えてきた問題点—
常石秀市 (医療福祉センターきずな)
- 4) 学校教育における医療的ケアへの対応とその課題
下川和洋 (都立八王子東養護学校)
- 5) 卒業後の問題点・非医療職による医療的ケア
三浦清邦 (豊田市こども発達センター小児神経科)
- 6) 在宅支援診療所としての重症心身障害児への関わり
横井 透 (横井小児科内科医院)
- 7) 超重症児の在宅移行について (臨床的脳死状態児の在宅例として)
川島孝一郎 (仙台往診クリニック)
- 8) 在宅診療所ができること, できないこと
飯田 明 (中永谷ケアクリニック)

第3日目 第5会場 (アポロン)

9:00 ~ 9:50 急性脳炎・脳症 1 (S215)

座長 高梨潤一 (亀田メディカルセンター小児科)

山内秀雄 (獨協医科大学小児科)

O-085 小児急性脳症の病態解明 (第1報)

— MRI 拡散強調像で Bright Tree 型の白質病変を呈する脳症の治療時期と反応—

○早川文雄¹, 辻 健史¹, 加藤 徹¹, 奥村彰久²

岡崎市民病院小児科¹, 順天堂大学小児科²

O-086 小児急性脳症の病態解明 (第2報)

— MRI 拡散強調像で Bright Tree 型の白質病変を呈する脳症の脳波所見—

○辻 健史¹, 早川文雄¹, 加藤 徹¹, 奥村彰久²

岡崎市民病院小児科¹, 順天堂大学小児科²

O-087 可逆性脳梁膨大部病変を有する脳炎脳症 (MERS) における神経症状の検討

○高梨潤一^{1,6}, 多田弘子^{1,2}, 鈴木基正³, 山内秀雄^{4,6}, 吉川秀人^{5,6}

亀田メディカルセンター小児科¹, 瀬川小児神経学クリニック², 岡崎市民病院小児科³, 獨協医科大学小児科⁴, 宮城県立こども病院神経科⁵, 厚生労働省佐々木班脳症分会⁶

O-088 可逆性脳梁膨大部病変を有する脳炎脳症 (MERS) は低ナトリウム性脳症と重複する

○多田弘子^{1,2}, 高梨潤一^{1,6}, 鈴木基正³, 山内秀雄^{4,6}, 吉川秀人^{5,6}

亀田メディカルセンター小児科¹, 瀬川小児神経学クリニック², 岡崎市民病院小児科³, 獨協医科大学小児科⁴, 宮城県立こども病院神経科⁵, 厚生労働省佐々木班脳症分会⁶

O-089 急性脳症における CPT II 熱不安定性フェノタイプの解析

○久保田雅也¹, 小沢 浩², 水野葉子³, 柏井洋文³, 雨宮 馨³, 鈴木里伊奈³, 小出彩香³, 星野 愛⁴,

Yao Dengbing⁵, 木戸 博⁵

国立成育医療センター神経内科¹, 島田療育センター², 都立八王子小児病院小児科³, 都立神経病院神経小児科⁴, 徳島大学疾患酵素学研究センター応用酵素・疾患代謝研究部門⁵

9:50 ~ 10:30 急性脳炎・脳症 2 (S217)

座長 前垣義弘 (鳥取大学脳神経小児科)

水口 雅 (東京大学大学院発達医科学)

O-090 急性期に異常言動を呈した急性脳症の臨床像

○奥村彰久¹, 城所博之², 久保田哲夫², 辻 健史³, 鈴木基正³, 加藤 徹³, 夏目 淳⁴,

早川文雄³, 渡辺一功⁵

順天堂大学小児科¹, 安城更生病院小児科², 岡崎市民病院小児科³, 名古屋大学大学院小児科学⁴, 愛知淑徳大学医療福祉学部⁵

O-091 MRIにて広範な両側半球病変を認めた急性脳症の臨床像

○奥村彰久¹, 城所博之², 鈴木基正³, 久保田哲夫², 斉藤雅子¹, 中澤友幸¹, 辻 健史³, 加藤 徹³, 夏目 淳⁴, 早川文雄³

順天堂大学小児科¹, 安城更生病院小児科², 岡崎市民病院小児科³, 名古屋大学大学院小児科学⁴

O-092 MRIで海馬に異常信号を呈した急性脳症4例の検討

○田中 学¹, 日暮憲道¹, 吉成 聡¹, 南谷幹之², 浜野晋一郎¹
埼玉県立小児医療センター神経科¹, 同 保健発達部²

O-093 けいれん重積で発症したHHV6関連脳症の4例

○祖父江文子¹, 深沢達也²
名古屋記念病院小児科¹, 名古屋大学小児科²

10:30 ~ 11:30 急性脳炎・脳症 3 (S219)

座長 市山高志 (山口大学大学院小児科学)
久保田雅也 (国立成育医療センター神経内科)

O-094 けいれん重積型急性脳症におけるMMP-9とTIMP-1の役割

○末永尚子^{1,2}, 市山高志², 久保田雅也³, 伊住浩史⁴, 遠山 潤⁵, 古川 漸²
鼓ヶ浦こども医療福祉センター小児科¹, 山口大学大学院小児科学², 東京都立八王子小児病院小児内科³, 川崎医科大学小児科学2講座⁴, 国立病院機構西新潟中央病院小児科⁵

O-095 溶血性尿毒症症候群(HUS)脳症におけるサイトカインおよびMMP-9, TIMP-1解析

○市山高志¹, 松重武志¹, 梶本まどか¹, 伊予田邦昭², 古川 漸¹
山口大学大学院小児科学¹, 広島市民病院小児科²

O-096 小児急性脳症における髄液バイオマーカーに関する研究

○山内秀雄, 仲島大輔, 栗林良多, 渡部功之, 今高城治, 有阪 治
獨協医科大学小児科

O-097 急性脳症における髄液タウ蛋白の測定

○田沼直之¹, 宮田理英², 林 雅晴³, 久保田雅也⁴, 高梨潤一⁵, 奥村彰久⁶
都立府中療育センター小児科¹, 東京北社会保険病院小児科², 東京都神経科学総合研究所神経発達・再生研究³, 国立成育医療センター神経内科⁴, 亀田メディカルセンター小児科⁵, 順天堂大学小児科⁶

O-098 小児の急性辺縁系脳炎における抗GluR epsilon 2抗体の意義

○高橋幸利, 山崎悦子, 西村成子, 角替央野, 藤原建樹
国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科

O-099 小児脳死患者における血清NSEの経時的変動

○最上友紀子, 鳥邊泰久, 柳原恵子, 鈴木保宏
大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科

11:30 ~ 12:10 急性脳炎・脳症 4 (S222)

座長 塩見正司 (大阪市立総合医療センター感染症センター)
浜野晋一郎 (埼玉県立小児医療センター神経科)

O-100 小児急性脳炎・脳症に対する脳低温療法一多施設共同研究に向けて一

○河野 剛¹, 岩田欧介², 大部敬三¹, 青木 健³, 赤池洋人⁴, 植松 貢⁵, 塩見正司⁶, 下野昌幸⁷, 千手絢子⁷, 浜田弘巳⁸, 平野 悟⁹, 平林伸一⁹, 山内秀雄¹⁰, 林下浩士⁶, 松石豊次郎²
聖マリア病院小児科¹, 久留米大学小児科², 筑波メディカルセンター病院小児科³, 川崎医科大学小児科⁴, 東北大学病院小児科⁵, 大阪市立総合医療センター感染症センター⁶, 産業医科大学小児科⁷, 日鋼記念病院小児科⁸, 長野県立こども病院神経科⁹, 獨協医科大学小児科¹⁰

O-101 急性脳症における免疫抑制薬の有効性の検討

○高木篤史¹, 鮫島希代子¹, 辻 恵¹, 小坂 仁¹, 井合瑞江¹, 山田美智子¹, 永瀨弘之², 山下純正¹
神奈川県立こども医療センター神経内科¹, 同 集中治療科²

O-102 小児神経集中治療における持続脳波モニタリングの試み

○丸山あずさ, 永瀬裕朗
兵庫県立こども病院脳神経内科

O-103 急性脳症罹患後の高次脳機能障害に対するリハビリテーション

○栗原まな^{1,2}, 小萩沢利孝^{1,2}, 山内裕子^{1,2}, 高橋佳代子^{1,2}, 矢嶋 幹¹, 衛藤義勝²
神奈川県総合リハビリテーションセンター小児科¹, 東京慈恵会医科大学小児科²

14:30 ~ 15:30 発達・評価 (S224)

座長 中村みほ (愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所)
五十嵐一枝 (白百合女子大学児童文化学科)

- O-104** 健常児における視空間短期記憶および作業記憶の発達変化
○岡 牧郎¹, 竹内章人¹, 諸岡輝子¹, 荻野竜也², 大塚頌子¹
岡山大学大学院発達神経病態学小児神経科¹, 中国学園大学子ども学部子ども学科²
- O-105** フォローアップ外来における乳児期の対面的共同注意に関する検討
○藤井靖史¹, 天方かおり¹, 荻田佳織¹, 疋田敏之¹, 金子衣野¹, 仲本なつ恵^{1,2}, 藤田靖子¹, 柳川幸重¹
帝京大学小児科¹, 目白大学保健医療学部作業療法科²
- O-106** 極低出生体重児における内向きバイバイの出現頻度と言語発達
○松井学洋¹, 山本暁生¹, 安積陽子^{1,2}, 高田 哲¹
神戸大学大学院¹, 甲南女子大学リハビリテーション学部²
- O-107** 健常児における Color-word matching Stroop task 得点の発達の变化の検討
○諸岡輝子, 竹内章人, 岡 牧郎, 荻野竜也, 大塚頌子
岡山大学大学院発達神経病態学小児神経科
- O-108** 3歳児における発達障害早期発見の試み(第2報)
—スクリーニングツールとしての「3歳児発達調査票」の検討—
○津田芳見, 橋本俊顕, 高原光恵
鳴門教育大学学校教育学部特別支援教育講座
- O-109** 発達障害の原因: 出生前要因
○黒川 徹¹, 横溝裕子¹, 由茅直子²
誠愛リハビリテーション病院小児科¹, 九州大学小児科²

15:30 ~ 16:30 発達障害実態調査 (S227)

座長 平林伸一 (長野県立こども病院神経科)
林 隆 (山口県立大学看護栄養学部看護学科, 同 大学院健康福祉学研究科)

- O-110** 大阪乳児院における入所児の実態
○三崎貴子^{1,2}, 末廣 豊^{1,2}
大阪府済生会中津病院小児科¹, 大阪乳児院²
- O-111** 保育所における発達障害児の実態に関する研究
○石岡由紀, 山本暁生, 松井学洋, 高田 哲
神戸親和女子大学発達教育学部福祉臨床学科
- O-112** 3歳児における発達障害早期発見の試み(第1報)—徳島県における実態調査—
○高原光恵, 橋本俊顕, 津田芳見
鳴門教育大学特別支援教育講座
- O-113** 5歳児健診後・発達障害要医療児の支援体制の必要性
○宮崎雅仁^{1,2}, 藤井笑子², 森 健治², 橋本俊顕³, 香美祥二²
小児科内科三好医院小児科¹, 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部小児医学分野²,
鳴門教育大学特別支援教育講座³
- O-114** 幼児期に診断された高機能広汎性発達障害の臨床的検討
○平岩里佳¹, 小枝達也^{1,2}, 大野耕策³
東部島根医療福祉センター小児科¹, 鳥取大学地域学部地域教育学科², 同 脳神経小児科³
- O-115** 近赤外線分析法を用いた自閉症スペクトラム障害の前頭葉評価
○福本 礼¹, 橋本俊顕^{2,3}, 竜田庸平³, 藤井笑子², 西村美緒^{2,4}, 津田芳見^{2,3},
森 健治², 宮崎雅仁², 原田雅史⁵, 香美祥二^{1,2}
徳島大学ヘルスバイオサイエンス研究部小児医学分野¹, 同 発生発達医学講座小児医学², 鳴門
教育大学特別支援教育講座³, 徳島赤十字ひのみね医療センター⁴, 徳島大学保健学科診療放射線
技術学⁵

16:30 ~ 17:30 発達障害の支援 (S230)

座長 星加明德 (東京医科大学小児科)
小野次郎 (和歌山大学教育学部障害児教育学)

O-116 S市における特別支援教育の現状と課題

○細田のぞみ, 三浦寿男, 武井研二
相模原療育園

O-117 通常学級に所属し特別な支援を必要とする子ども—知的障害に焦点をあてて—

○山口志麻^{1,2}, 高田 哲¹
神戸大学保健学科¹, 神戸市立垂水養護学校²

O-118 発達障害児へ配慮した学級運営への学校・医療の連携

○前田椰子
静岡医療福祉センター

O-119 通常クラスに在籍する広汎性発達障害の子どもの受診状況と二次合併症の検討

○古荘純一^{1,8}, 松崎くみ子¹, 岩崎裕治², 中山治美³, 柴田玲子⁴, 根本芳子⁵, 久場川哲二⁶, 曾根美恵⁷, 加藤進昌⁸
青山学院大学文学部教育学科¹, 都立東部療育センター², 都立四ツ木療育園³, 国立成育医療センター⁴, 太田総合病院⁵, 川崎市立病院精神科⁶, 白百合大学大学院⁷, 昭和大学精神科⁸

O-120 発達障害行動特性に対する教員の認識についての調査

—何が困って, 何が障害で, 何を低く評価してしまうのか—
○林 隆

山口県立大学看護栄養学部看護学科

O-121 地域療育機関における療育相談の現状と課題—発達障害児の学齢への移行支援について—

○今枝正行^{1,2}, 舟橋吉美¹, 石川道子²
名古屋市北部地域療育センター¹, 名古屋市立大学小児科²

17:30 ~ 18:20 自閉症・その他 (S233)

座長 山下裕史朗 (久留米大学小児科)
真田 敏 (岡山大学教育学部障害児教育)

O-122 KIDS からみた自閉症児の特徴

○成田有里¹, 浜野晋一郎², 黒田 舞¹, 南谷幹之², 田中 学²
埼玉県立小児医療センター保健発達部心理¹, 同 神経科²

O-123 読み書き障害のスクリーニング法として小学校国語の習熟度テストの開発

○長尾秀夫
愛媛大学教育学部障害児病理学

O-124 情動は報酬予測と意思決定に深く関与する—強化学習過程における交感神経皮膚反応の検討—

○保坂裕美, 青柳閣郎, 金村英秋, 加賀佳美, 山城 大, 後藤裕介, 反頭智子, 中村幸介, 杉田完爾, 相原正男

山梨大学小児科

O-125 注意欠陥多動性障害児における予期と行動抑制の発達の特徵

—随伴陰性電位と NoGo 電位の検討—
○野口佐綾香, 加賀佳美, 反頭智子, 杉田完爾, 相原正男

山梨大学小児科

O-126 AD/HD および AD/HD 症状を伴った PDD198 例における methylphenidate の使用経験

○洲鎌倫子, 石崎朝世
(社) 発達協会王子クリニック

19:00 ~ 20:00 夜間集会 5 イブニングセミナー：グラクソ・スミスクライン株式会社 (S170)

座長 大塚頌子 (岡山大学小児神経科)
根津敦夫 (横浜療育医療センター)

- 1) 痙性麻痺小児に対するボツリヌス治療の有用性
高橋保彦 (九州厚生年金病院小児科)
- 2) 重度肢体不自由児 (者) 60 例の痙性斜頸および全身性過緊張に対する A 型ボツリヌス毒素療法の試み
足立昌夫 (加古川市民病院小児科)
- 3) 脳性麻痺のボツリヌス毒素療法—最近の文献レビューと治療ガイドライン (案)—
根津敦夫 (横浜療育医療センター)

第3日目 第6会場 (ジュピター)

- 9:00 ~ 9:40 免疫性神経疾患 (S236)
 座長 平野幸子 (東京女子医科大学小児科)
 大矢達男 (鎌倉女子大学大学院児童学研究科)
- O-127 小児の脊髄・根疾患 13 例の解析
 ○下野昌幸, 千手絢子, 石井雅宏, 塩田直樹
 産業医科大学小児科
- O-128 小児期発症の多発性硬化症 5 例における治療 (ステロイドパルス・インターフェロンβ 1b 療法) の検討
 ○遠藤あゆみ, 藤田之彦, 今井由生, 春山和嘉子, 荒川千賀子, 小平隆太郎, 瀧上達夫
 日本大学小児科
- O-129 当院で経験した末梢性顔面神経麻痺の臨床的検討
 ○黒岩佑子¹, 一色史江¹, 福島直哉¹, 武田良淳¹, 七尾謙治¹, 高橋孝雄²
 大和市立病院小児科¹, 慶應義塾大学小児科²
- O-130 Clinical diagnosis and therapy analysis of opsoclonus-myoclonus syndrome
 ○Xiong Hui, Peng Jing, Zhang Yuehua
 Department of Pediatrics, First Hospital, Beijing University, Beijing, China
- 9:40 ~ 10:40 新生児画像その他 (S238)
 座長 楠田 聡 (東京女子医科大学母子総合医療センター)
 久保田哲夫 (安城更生病院小児科)
- O-131 新生児晩期循環不全 (急性期離脱後循環不全) による脳室周囲白質軟化症の発症動向の検討
 ○小林 悟¹, 服部文子¹, 安藤直樹¹, 木部哲也², 小山典久³, 横地健治², 戸荊 創¹
 名古屋市立大学大学院新生児・小児医学¹, 聖隷三方原病院小児神経科², 豊橋市民病院小児科³
- O-132 早産児における脳内酸素化状態の発達の变化について
 ○伊地知園子¹, 西田智子¹, 難波正則¹, 河田真由美¹, 小西行彦¹, 大久保賢介¹, 日下 隆², 今井 正¹,
 磯部健一¹, 伊藤 進¹
 香川大学小児科¹, 同 総合周産期母子医療センター²
- O-133 成熟児の MRI 白質異常所見: 正常か異常か?
 ○岩田欧介, 岩田幸子, 財津亜友子, 青柳陽子, 石堂雄毅, 向江徳太郎, 岡田純一郎,
 廣瀬彰子, 神田 洋, 藤野 浩, 前野泰樹, 松石豊次郎
 久留米大学小児科
- O-134 一絨毛性双胎 1 児死亡の生存児の頭部画像所見
 ○鈴木基正¹, 丸山幸一¹, 熊谷俊幸¹, 辻 健史², 加藤 徹², 早川文雄², 奥村彰久³
 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科¹, 岡崎市民病院小児科², 順天堂大学小児科³
- O-135 生後 1 カ月を過ぎた安定期に誘因・症状を伴わない重度頭蓋内出血を来した極低出生体重児の検討
 ○財津亜友子, 青柳陽子, 木下正啓, 石堂雄毅, 向江徳太郎, 岡田純一郎, 廣瀬彰子,
 神田 洋, 藤野 浩, 前野泰樹, 岩田欧介, 松石豊次郎
 久留米大学小児科
- O-136 新生児仮死の予後予測におけるヒト心臓由来脂肪酸結合蛋白 (H-FABP) の有用性の検討
 ○光藤伸人, 木原美奈子
 京都第一赤十字病院小児科総合周産期母子医療センター NICU
- 10:40 ~ 11:40 新生児 3 (けいれん・脳波) (S241)
 座長 早川文雄 (岡崎市民病院小児科)
 常石秀市 (医療福祉センターぎすな)
- O-137 脳室周囲白質軟化症の新生児期脳波の経時的変化
 ○城所博之¹, 久保田哲夫¹, 加藤 徹³, 早川文雄³, 鈴木基正⁴, 丸山幸一⁴, 奥村彰久², 渡邊一功⁵
 安城更生病院小児科¹, 順天堂大学小児科², 岡崎市民病院小児科³, 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科⁴, 愛知淑徳大学医療福祉学科⁵
- O-138 新生児低酸素性虚血性脳症における脳波の経時的変化— Wavelet 法を用いた検討—
 ○平澤恭子¹, 伊藤雅子², 楠田 聡³, 大澤真木子¹
 東京女子医科大学小児科¹, 同 乳児行動発達学講座 CREST/JST², 同 母子総合医療センター NICU 部門³

- O-139 脳室周囲白質軟化症における West 症候群以外のてんかん発症について**
 ○久保田哲夫¹, 大江英之¹, 城所博之¹, 鈴木基正², 丸山幸一², 加藤 徹³, 植村直子⁴, 夏目 淳⁵, 奥村彰久⁶, 越知信彦⁷
 安城更生病院小児科¹, 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科², 岡崎市民病院小児科³, 三菱名古屋病院小児科⁴, 名古屋大学小児科⁵, 順天堂大学小児科⁶, 第二青い鳥学園小児科⁷
- O-140 新生児未熟児の脳波包絡線の発達的变化—脳波包絡線による成熟度の判定は可能か?—**
 ○佐治量哉¹, 平澤恭子², 伊藤雅子³, 小西行郎³, 多賀巖太郎^{4,5}, 楠田 聡⁶
 玉川大学脳科学研究所¹, 東京女子医科大学小児科², 同 乳児行動発達学³, 東京大学大学院教育学研究科⁴, CREST/JST⁵, 東京女子医科大学母子総合医療センター新生児部門⁶
- O-141 新生児期に発症し部分発作を主体とした難治性てんかんの検討**
 ○服部妙香¹, 川脇 壽¹, 温井めぐみ¹, 九鬼一郎¹, 木村志保子¹, 岡崎 伸¹, 富和清隆²
 大阪市立総合医療センター小児神経内科¹, 京都大学遺伝カウンセラーコーディネーターユニット²
- O-142 潜因性新生児けいれんの長期予後**
 ○前田知己, 関口和人, 赤石睦美, 今井一秀, 泉 達郎
 大分大学脳・神経機能統御講座小児科学

11:40 ~ 12:20 脳外科 (S244)

座長 藍原康雄 (東京女子医科大学脳神経外科)
 藤井克則 (千葉大学大学院小児病態学)

- O-143 小児モヤモヤ病家族内発症例の臨床像の検討**
 ○武川麻紀, 成相 直, 前原健寿, 青柳 傑, 松島善治, 大野喜久郎
 東京医科歯科大学脳神経外科
- O-144 脳循環計測の日常臨床利用に基づいた小児モヤモヤ病の外科治療**
 ○成相 直, 百瀬俊哉, 稲次基希, 武川麻紀, 松島善治, 大野喜久郎
 東京医科歯科大学脳神経外科
- O-145 神経内視鏡手術の長期性成績と手術適応**
 ○松阪康弘, 坂本博昭
 大阪市立総合医療センター小児脳神経外科
- O-146 脳梁欠損を伴う脳内のう胞—乳幼児手術の治療方針と精神運動発達, てんかん合併の検討—**
 ○越智さと子¹, 高橋義男²
 北海道立子ども総合医療・療育センター脳神経外科¹, とまこまい脳神経外科病院小児脳神経外科²

14:30 ~ 15:50 筋ジストロフィー 1 (S246)

座長 石川幸辰 (国立病院機構八雲病院小児科)
 林由起子 (国立精神・神経センター神経研究科)

- O-147 当科 25 年間における小児皮膚筋炎, 多発性筋炎症例の臨床的検討と治療方針**
 ○岸 崇之, 平野幸子, 石垣景子, 村上てるみ, 鈴木陽子, 宍倉啓子, 平山義人, 大澤真木子
 東京女子医科大学小児科
- O-148 Muscular dystrophies associated with nuclear envelope proteins**
 ○Yukiko K. Hayashi, Park Young-Eun, Ikuya Nonaka, Ichizo Nishino
 Department of Neuromuscular Research, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry, Kodaira, Japan
- O-149 Electron microscopic analysis of myonuclei in edmd2/igmd1b**
 ○Young-Eun Park, Y. K. Hayashi, I Nakano, I Nishino
 Department of Neuromuscular Research, National Institute of Neuroscience, National Center of Neurology and Psychiatry, Kodaira, Japan
- O-150 Clinical, pathological and molecular genetic analysis of a Chinese family with dystrophinopathy**
 ○Xiong Hui, Luo Jing, Wang Xiaozhu, et al.
 Department of Pediatrics, First Hospital, Beijing University, Beijing, China
- O-151 Clinical and molecular pathological analysis of congenital muscular dystrophy-20 cases**
 ○Xiong Hui, Jing Luo, Yun Yuan
 Department of Pediatrics, First Hospital, Beijing University, Beijing, China

- O-152** メロシン欠損型先天性筋ジストロフィーの1女児例—頭部MRI所見および電気生理検査所見の経時的変化について—
○藤井裕士¹, 杉浦千登勢¹, 福田千佐子², 前垣義弘¹, 大野耕策¹
鳥取大学脳神経小児科¹, 同 保健学科病態生理学²
- O-153** 福山型先天性筋ジストロフィーにおけるウイルス感染罹患後の急性横紋筋融解症に関する検討
○村上てるみ, 石垣景子, 佐藤孝俊, 大澤真木子
東京女子医科大学小児科
- O-154** Windows プログラム「RISCALW」による Duchenne 型筋ジストロフィー carrier risk の推測
○石川幸辰, 石川悠加
国立病院機構八雲病院小児科

15:50 ~ 16:40 筋ジストロフィー 2 (S250)

座長 大谷宜伸 (熊本市子ども発達支援センター)
松尾雅文 (神戸大学大学院小児科学)

- O-155** MLPA 法で異常を示したジストロフィン遺伝子のナンセンス変異の1例
○起塚 庸, 栗野宏之, 八木麻理子, 竹島泰弘, 松尾雅文
神戸大学大学院小児科学
- O-156** MLPA 法によるジストロフィン遺伝子診断
○南 成祐¹, 西野一三²
国立精神・神経センター武蔵病院 DNA 診断・治療室¹, 同 神経研究所疾研一部²
- O-157** ジストロフィン遺伝子の微小変異によって誘導されるスプライシング異常に関する検討
○八木麻理子¹, 栗野宏之², 起塚 庸², 竹島泰弘², 松尾雅文²
神戸大学大学院臨床薬効評価学¹, 同 小児科学²
- O-158** Duchenne 型筋ジストロフィーにおける知的障害と脳内 dystrophin 発現に関する解析
○代 紅梅¹, 伊東恭子¹, 矢追 毅¹, 陣内研二², 伏木信次¹
京都府立医科大学大学院分子病態病理学¹, 国立病院機構兵庫中央病院神経内科²
- O-159** 筋ジストロフィーの細胞治療のための胎盤, 絨毛細胞由来間葉系幹細胞の分析
○荒川玲子¹, 川道弥生^{1,2}, 青木亮子¹, 近藤恵里^{1,3}, 斎藤加代子¹
東京女子医科大学遺伝子医療センター¹, 同 産婦人科学², 同 女性医学研究者支援室³

16:40 ~ 17:50 Pompe 病 (S252)

座長 井田博幸 (東京慈恵会医科大学小児科)
田中あけみ (大阪市立大学大学院発達小児医学)

- O-160** 遅発型 Pompe 病の診断に関する問題点について
○福田冬季子, 杉江秀夫, 桃井真里子
自治医科大学小児科学
- O-161** 小児型 Pompe 病における酵素補充療法の早期効果
○石垣景子, 村上てるみ, 宍倉啓子, 鈴木暁子, 平山義人, 大澤真木子
東京女子医科大学小児科
- O-162** 糖原病 2 型 (Pompe 病) の若年型症例に対する酵素補充療法
○富永康仁, 森田祥子, 北井征宏, 新谷 研, 下野九理子, 沖永剛志, 酒井規夫, 永井利三郎, 大藪恵一
大阪大学大学院小児科学
- O-163** 遅発型 Pompe 病に対する酵素補充療法の検討
○小林博司¹, 河合利尚^{1,2}, 大橋十也^{1,2}, 井田博幸^{1,2}, 衛藤義勝^{1,2}, 大澤真木子³
東京慈恵会医科大学小児科¹, 同 DNA 研究所遺伝子治療研究部², 東京女子医科大学小児科³
- O-164** 成人型 Pompe 病における酵素補充法の評価
○小田絵里¹, 田中藤樹¹, 小崎里香¹, 大澤真木子², 奥山虎之^{1,3}
国立成育医療センター特殊診療部遺伝診療科¹, 東京女子医科大学小児科², 国立成育医療センター特殊診療部遺伝診療科、臨床検査部³
- O-165** 糖原病 II 型小児型症例における 4 年間の酵素治療の経過
○田中あけみ, 澤田 智, 山野恒一
大阪市立大学大学院発達小児医学

O-166 Alglucosidase alfa in juvenile and adult patients with Pompe disease: results from a randomized, double-blind, multicenter, multinational, placebo-controlled study

○ A van der Ploeg¹, P Clemens², D Corzo³, D Escolar⁴, J Florence⁵, P Laforet⁶, S Lake³, J Mayhew⁷, A Pestronk⁵, B Rosenbloom⁸, A Skrinar³, M Wasserstein⁹

Erasmus Medical Center, Rotterdam, NL¹, University of Pittsburgh, Department of Neurology, Pittsburgh, PA, USA², Genzyme Corporation, Cambridge, MA, USA³, Children's National Medical Center, Washington, DC, USA⁴, Washington University, School of Medicine, St Louis, MO, USA⁵, Institut de Myologie, Groupe Hospitalier Pitie-Salpetriere, Paris, FR⁶, The Cooperative International Neuromuscular Research Group (CINRG), Washington, DC, USA⁷, Tower Hematology Oncology, Beverly Hills, CA, USA⁸, Mount Sinai School of Medicine, New York, NY, USA⁹

17:40 ~ 18:20 神経・筋疾患 (S256)

座長 竹内義博 (滋賀医科大学小児科)
後藤雄一 (国立精神・神経センター神経研究所疾研二部)

O-167 脊髄性筋萎縮症の病態解析 — SMN タンパクのリン酸化に関する研究—

○青木雄介, 深尾敏幸, 大西秀典, 折居建治, 近藤直実
岐阜大学大学院小児病態学

O-168 シンメトレルは SMAII の症状改善に有効な可能性がある

○萩野谷和裕¹, 田中総一郎¹, 植松 貢², 福與なおみ², 渡辺周永¹, 新里純子¹, 大沼 晃¹
宮城県拓桃医療療育センター小児科¹, 東北大学小児科²

O-169 Valproic acid does not always increase SMN2 expressions in fibroblasts from patient with SMA Type1

○ GUNADI¹, Masafumi Matsuo², Hisahide Nishino^{1,2}
Department of Genetic Epidemiology¹, Department of Pediatrics², Kobe University Graduate School of Medicine, Kobe, Japan

O-170 乳児良性型 cytochrome c oxidase 欠損症が疑われた 1 男児例

○松重武志¹, 梶本まどか¹, 市山高志¹, 古川 漸¹, 杉尾陽子², 西野一三³, 後藤雄一⁴
山口大学大学院小児科学分野¹, 山口県立総合医療センター小児科², 国立精神・神経センター神経研究所疾研一部³, 同 二部⁴

第3日目 ポスター会場 (オリオン)

14:30 ~ 15:15 脳炎 1 (S354)

座長 林 北見 (東京女子医科大学八千代医療センター発達小児科)
今村 淳 (岐阜県総合医療センター小児科)

P-163 けいれん重積型急性脳症の発症年齢による発症関連因子

○井上貴仁, 加倉寛也, 井手口博, 藤田貴子, 井原由紀子, 友納優子, 二之宮信也, 中村紀子,
安元佐和, 廣瀬伸一
福岡大学小児科

P-164 当院で経験したけいれん重積型急性脳症の検討

○高柳 勝¹, 北村太郎¹, 山本克哉²
仙台市立病院小児科¹, 南光台やまもと小児科²

P-165 頭部外傷後にけいれん重積型急性脳症類似の MRI 所見を呈した 1 例

○梶本まどか, 市山高志, 末永尚子, 松重武志, 古川 漸
山口大学大学院小児科学分野

P-166 けいれん重積型脳症後の難治性てんかん

○米谷 博, 佐久間啓, 斎藤義朗, 小牧宏文, 中川栄二, 須貝研司, 佐々木征行
国立精神・神経センター武蔵病院小児神経科

P-167 急性脳症として発症し, 潜伏期をおかず局在関連てんかんに移行した 2 例

○丸山幸一¹, 近藤容子², 糸見世子²
愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科¹, 名古屋第一赤十字病院小児科²

- P-168** 二相性けいれんと遅発性拡散能低下を呈する急性脳症 (AESD) における血清逸脱酵素の経時的变化の特徴
○後藤知英¹, 野村寿博², 有馬ふじ代³, 三山佐保子¹
都立清瀬小児病院神経科¹, 国立病院機構埼玉病院小児科², 国立病院機構東京医療センター小児科³
- P-169** インフルエンザ脳症の神経後遺症の臨床的解析
○後藤珠子, 藤田ひとみ, 諏訪清隆, 森 雅人, 福田冬季子, 山形崇倫, 杉江秀夫, 桃井真里子
自治医科大学小児科
- P-170** Hemorrhagic shock and encephalopathy syndrome の経過を示した 2 例の臨床的検討
○遠藤雄策¹, 鈴木輝彦¹, 宮本 健², 平野浩一¹, 大関武彦¹
浜松医科大学小児科¹, 共立湖西総合病院小児科²
- P-171** けいれん抑制に高濃度のインフルランの吸入を必要とした特異な脳炎/脳症後てんかんの 1 例
○白神浩史
国立病院機構岡山医療センター小児科

15:15 ~ 15:55 脳炎 2 (S358)

座長 牛島廣治 (藍野大学藍野健康科学センター)

田辺卓也 (市立枚方市民病院小児科)

- P-172** 精神症状を認めた小児の急性脳炎・脳症 7 例の検討
○三山佐保子¹, 後藤知英¹, 後藤裕介², 詫間由一³
都立清瀬小児病院神経科¹, 山梨大学小児科², タクマこどもクリニック³
- P-173** 異常言動で発症し, MRI で一過性拡散能低下を認めた脳炎の 1 例
○山本敬一¹, 尾崎裕彦³, 高橋孝雄²
伊勢原協同病院小児科¹, 慶應義塾大学小児科², 平塚共済病院小児科³
- P-174** 重篤な経過で発症したが, 良好な転帰をとった非ヘルペス性急性辺縁系脳炎の 1 女児例
○片桐朋子¹, 荒木 聡¹, 由井崇子², 宮田理英³, 田沼直之³, 林 雅晴³, 高橋幸利⁴
東京医科歯科大学小児科¹, 横浜市立みなと赤十字病院小児科², 東京都神経科学総合研究所臨床神経病理³, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科⁴
- P-175** 側頭葉てんかんを発症した非ヘルペス性急性辺縁系脳炎の 1 小児例
○荒木 敦¹, 鈴木純子¹, 金子一成²
関西医科大学滝井病院小児科¹, 同 枚方病院小児科²
- P-176** 小児の急性辺縁系脳炎—典型的な症例の報告と本邦報告例のまとめ—
○佐久間啓^{1,2}, 斎藤義朗¹, 小牧宏文¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹, 山中康成²
国立精神・神経センター武蔵病院小児神経科¹, 京都大学小児科²
- P-177** ¹²³I-iomazenil SPECT で発症早期に病変部集積低下を認めた非ヘルペス性急性脳炎の 15 歳女児例
○日暮憲道^{1,2}, 浜野晋一郎¹, 吉成 聡¹, 田中 学¹, 南谷幹之³, 衛藤義勝²
埼玉県立小児医療センター神経科¹, 東京慈恵会医科大学小児科², 埼玉県立小児医療センター保健発達部³
- P-178** 当科で経験した HHV-6 脳炎 / 脳症 5 例の臨床的検討
○西村 章¹, 佐久間悟², 服部英司², 高浦奈津子¹, 今村卓司¹, 浅田 稔¹
PL 病院小児科¹, 大阪市立大学大学院発達小児医学²
- P-179** 経過中に発疹を認めなかった HHV-6 脳症の 1 例
○原 啓太¹, 田辺卓也¹, 島川修一², 玉井 浩²
市立枚方市民病院小児科¹, 大阪医科大学小児科²

15:55 ~ 16:35 脳炎 3 (S362)

座長 吉良龍太郎 (九州大学大学院成長発達医学 (小児科))

麻生誠二郎 (日本赤十字社医療センター小児科)

- P-180** 頭部 MRI にて異常所見を認めなかった単純ヘルペス脳炎の 1 例
○富沢尚子, 四ノ原祐希, 鈴木恵子, 上田 哲, 梅津亮二, 杉原茂孝
東京女子医科大学東医療センター小児科
- P-181** コクサッキーウイルス A16 の手足口病に伴って菱脳炎を呈した 1 例
○實藤雅文, 吉良龍太郎, 鳥巢浩幸, 石崎義人, 由茅直子, 鷲東菜摘, 原 寿郎
九州大学大学院成長発達医学分野小児科

- P-182** 複雑部分発作重積症で発症した、ヒトパルボウイルス B19 による 2 次性脳炎の 1 例
○山崎佐和子¹, 東條 恵²
新潟市民病院小児科¹, 新潟県はまぐみ小児療育センター小児科²
- P-183** 脳梁膨大部一過性病変と小脳症状を呈したロタウイルス脳炎の 1 例
○宮本 健^{1,2}, 鈴木輝彦², 遠藤雄策², 平野浩一², 高橋幸利³, 大関武彦²
共立湖西総合病院小児科¹, 浜松医科大学小児科², 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター³
- P-184** ロタウイルス小脳炎に伴い失語を来した 4 歳女児例
○西岡桃子¹, 本田涼子¹, 今村善彦¹, 津留 陽², 森内浩幸¹
長崎大学小児科¹, 国立病院機構長崎病院小児科²
- P-185** 脳室ドレナージを必要とした急性小脳炎の 1 例
○道下崇史, 糀 敏彦
武蔵野赤十字病院小児科
- P-186** 激しい頭痛とめまいで発症した急性小脳炎の 1 例
○石田 博¹, 中嶋靖潤¹, 横井俊明², 服部英司², 松岡 取², 市山高志³, 村上城子¹
和泉市立病院小児科¹, 大阪市立大学大学院発達小児医学², 山口大学大学院小児科学³
- P-187** 脳血流 SPECT にて小脳低血流を呈した 2 例
○小泉慎也¹, 藤野 修¹, 桑原健太郎², 高木篤史², 羽鳥誉之², 藤松真理子³, 川上康彦⁴, 藤田武久³, 高石康子², 岡田一芳²
日本医科大学千葉北総病院小児科¹, 同 附属病院小児科², 同 武蔵小杉病院小児科³, 同 多摩永山病院小児科⁴

16:35 ~ 17:05 脳炎 4 (S366)

座長 藤田之彦 (日本大学医学教育企画・推進室)
平安京美 (沖縄整肢療護園小児科)

- P-188** 細菌性髄膜炎の最近の特徴と神経学的予後
○村上貴孝
中野こども病院
- P-189** Epstein-Barr virus 初感染時に川崎病の症状を呈し、後に出血を伴う急性散在性脳脊髄炎を合併した 1 歳女児例
○武本環美, 権藤健二郎, 花井敏男
福岡市立こども病院小児神経科
- P-190** 複雑部分発作を繰り返し、発作時脳波をとらえた ADEM の 1 例
○磯田賢一, 横井健太郎, 松井史裕, 西村 陽, 森本昌史
京都府立医科大学小児科
- P-191** ステロイドパルス・免疫グロブリン療法・血漿交換を要した急性散在性脳脊髄炎の 1 例
○今村真理^{1,2}, 丸山慎介^{1,2}, 豊島光雄², 河野嘉文²
鹿児島県立大島病院¹, 鹿児島大学大学院小児発達機能病態学分野小児科²
- P-192** 2 相性の経過を示したと考えられる急性散在性脳脊髄炎の 1 例
○藤松真理子, 藤田武久
日本医科大学武蔵小杉病院小児科
- P-193** 皮質優位の MRI 所見を認めた急性散在性脳脊髄炎 (ADEM) の 1 例
○北村太郎¹, 高柳 勝¹, 山本克哉², 石井 清³
仙台市立病院小児科¹, 南光台やまもと小児科², 仙台市立病院放射線科³

17:05 ~ 17:50 脳炎 5 (S369)

座長 愛波秀男 (静岡県立こども病院神経科)
吉岡 博 (よしおかこどもクリニック)

- P-194** 発症時に著明な急性腎不全を認めた急性脳症の 2 例
○成田 綾, 玉木久光, 伊藤昌弘
都立墨東病院小児科
- P-195** 当院にて経験した劇症肝炎 9 例における急性期脳波所見の検討
○星野英紀, 水口浩一, 長澤哲郎, 久保田雅也
国立成育医療センター神経内科

- P-196** 二相性の経過をとり、けいれん再発前日の頭部 MRI が正常であった HHE 症候群の 1 例
○高橋 努
済生会宇都宮病院小児科
- P-197** 心疾患由来の低酸素性脳症後遺症と高次脳機能障害
○山内裕子^{1,2}, 栗原まな^{1,2}, 小萩沢利孝^{1,2}, 高橋佳代子^{1,2}, 衛藤義勝²
神奈川県総合リハビリテーションセンター小児科¹, 東京慈恵会医科大学小児科²
- P-198** 高度な脳浮腫が遷延した結節性硬化症に伴う急性脳症の 1 例
○寺嶋 宙¹, 佐藤敦志¹, 高橋 寛¹, 三牧正和¹, 岡 明¹, 水口 雅²
東京大学小児科¹, 同 大学院発達医科学²
- P-199** MRI 拡散強調像で側頭後頭葉の信号異常が持続した急性脳症の 1 例
○水野葉子¹, 柏井洋文¹, 雨宮 馨¹, 鈴木里伊奈¹, 久保田雅也¹, 市山高志², 田沼直之³, 宮田理英³, 林 雅晴³
都立八王子小児病院小児内科¹, 山口大学小児科², 東京都神経科学総合研究所臨床神経病理³
- P-200** 発症時より著明な局在性棘波を認めた脳症の 1 例
○小野浩明
県立広島病院小児科
- P-201** MRI による発熱時に持続するけいれんの検討
○赤池洋人, 河合泰宏
川崎医科大学小児科
- P-202** 長期脳死状態にて生存した 2 症例の臨床的検討
○折居恒治^{1,2}, 松尾直樹³, 伊藤玲子², 今村 淳²
岐阜県総合医療センター救命救急センター¹, 同 小児科², 同 新生児科³
- 14:30 ~ 15:05 てんかん 1 (S374)**
座長 皆川公夫 (北海道立子ども総合医療・療育センター小児科)
堀田秀樹 (茨城県こども福祉医療センター)
- P-203** 乳児重症ミオクロニーてんかんの早期スクリーニング法
○大守伊織¹, 服部旬里², 大内田守³, 真庭 聡⁴, 御牧信義⁵, 三宅 進⁶, 大塚頌子²
岡山大学大学院細胞生理学¹, 同 発達神経病態学², 同 分子遺伝学³, 松山赤十字病院小児科⁴, 倉敷成人病センター小児科⁵, 香川県立中央病院小児科⁶
- P-204** 乳児重症ミオクロニーてんかんにおける突然死
○底田辰之^{1,2}, 高野知行¹, 竹内義博¹, 口分田政夫², 藤田泰之²
滋賀医科大学小児科¹, びわこ学園医療福祉センター草津²
- P-205** SCN1A に新規遺伝子変異を認めた、乳児てんかんの 1 例
○松本 浩¹, 中村康子¹, 瀧沢裕司¹, 廣瀬伸一², 倉橋宏和^{2,3}
防衛医科大学小児科¹, 福岡大学小児科², 名古屋大学大学院小児科学³
- P-206** Infants with diarrhea-related seizures were not associated with SCN1A mutation
○Wang-Tso Lee¹, Wen-Chin Weng¹, Yen-Ting Chou¹, Shinichi Hirose²
Pediatrics, National Taiwan University Hospital, Taipei, Taiwan¹, Pediatrics, Fukuoka University, Fukuoka, Japan²
- P-207** 電位依存性ナトリウムチャンネル $\alpha 1$ (SCN1A) 遺伝子変異とてんかん
○荻原郁夫, 山川和弘
理化学研究所脳科学総合研究センター神経遺伝研究チーム
- P-208** ミオクロニー欠神てんかんの長期検討
○池田浩子, 久保田英幹, 久保田裕子, 今井克美, 下村次郎, 重松秀夫, 大谷早苗, 高橋宏佳, 美根潤, 高橋幸利, 藤原建樹
国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター
- P-209** 音刺激により脱力発作が誘発されたミオクロニー失立てんかん例
○松本 歩, 山形崇倫, 後藤珠子, 杉江秀夫, 桃井真里子
自治医科大学小児科

15:05 ~ 15:40 てんかん 2 (S377)

座長 吉川秀人 (宮城県立こども病院神経科)
前澤真理子 (鶴見大学短期大学部歯科衛生科)

- P-210** 広汎性発達障害に発症したてんかんの臨床的検討
○鳥川修一¹, 田辺卓也², 若宮英司³, 原 啓太², 玉井 浩¹
大阪医科大学小児科¹, 市立枚方市民病院小児科², 藍野大学医療保健学部³
- P-211** 裂脳症と孔脳症におけるてんかん特性とその差異
○清水未希^{1,2}, 前田知己², 泉 達郎²
別府発達医療センター¹, 大分大学脳・神経機能統御講座小児科学²
- P-212** **Clinical course of epilepsy secondary to neonatal hypoglycemia**
○モンタセル・ヘシヤム¹, 前垣義弘¹, 大野耕策¹, 小倉加恵子²
鳥取大学脳神経小児科¹, 東北大学高次機能障害²
- P-213** てんかんをもつ人の運転免許取得に係る適性判定の検討—広島県での運用実態調査から—
○伊予田邦昭¹, 岡崎富男¹, 岸 高正²
広島市立広島市民病院小児科¹, 広島記念病院小児科²
- P-214** 良好な発達の改善が見られている **migrating partial seizures in infancy** の1例
○小野晋康, 須貝研司, 佐久間啓, 斎藤義朗, 小牧宏文, 中川栄二, 佐々木征行
国立精神・神経センター武蔵病院小児神経科
- P-215** けいれん群発で発症した **QT 延長症候群** の1例
○山本 歩¹, 山本 剛¹, 大府正治^{1,2}
福岡徳洲会病院小児科¹, 福岡大学小児科²
- P-216** 突然死した **acute encephalitis with refractory, repetitive partial seizure (AERRPS)** の1例
○福山哲広¹, 石田修一², 永春幸子¹, 三澤由佳¹, 関口幸男³, 稲葉雄二¹, 樋口 司¹, 栗屋 豊⁴
信州大学小児医学¹, 国立病院機構中信松本病院小児科², 信州大学附属病院高度救命救急センター³, 聖母病院小児科⁴

15:40 ~ 16:15 てんかん 3 (S381)

座長 麻生幸三郎 (愛知県青い鳥医療福祉センター)
鈴木保宏 (大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科)

- P-217** 乳幼児難治性てんかんの外科治療前後における視覚認知機能からみた発達評価 (第2報)
○大橋 伯¹, 中川栄二¹, 大江啓賢², 須貝研司¹, 佐々木征行¹, 小林 巖³
国立精神・神経センター武蔵病院小児神経科¹, 同 心理・指導部², 東京学芸大学教育実践研究支援センター³
- P-218** 年齢依存性てんかん性脳症における血清・髄液中 **biomarker** の検討
○山中 岳, 石井知愛子, 菅波佑介, 小穴信吾, 渡邊聖子, 渡邊嘉章, 河島尚志, 宮島 祐, 星加明徳
東京医科大学小児科
- P-219** **Risk for recurrence and outcome after a first unprovoked seizure in infancy**
○Chu-Chin Chen, Hsueh-Ting Huang, Pac-Chin Chiu
Department of Pediatrics, Kaohsiung Veterans General Hospital, Kaohsiung, Taiwan
- P-220** **Panayiotopoulos 症候群** における治療抵抗因子の検討
○平野嘉子, 小国弘量, 舟塚 真, 今井 薫, 大澤真木子
東京女子医科大学小児科
- P-221** 同時期に異なる発作焦点をもつ発作時脳波を記録した **Panayiotopoulos 症候群** の1例
○森本恭子
大阪府済生会千里病院小児科
- P-222** その経過に前頭葉発射が関与したと考えられる徐波睡眠時持続性の棘徐波を示すてんかん (**CSWS**) の1例
○木村一恵¹, 八森 啓¹, 長尾ゆり¹, 市川和志², 根津敦夫², 野村芳子¹, 瀬川昌也¹
瀬川小児神経学クリニック¹, 横浜市立大学市民総合医療センター小児科²
- P-223** 全般性棘徐波複合群発を特徴とするてんかん症候群の焦点棘波合併に関する臨床脳波学的検討
○勝盛 宏, 白川清吾
東京臨海病院小児科

- 16:15 ~ 16:55 てんかん薬物療法 (S384)
 座長 長尾秀夫 (愛媛大学教育学部特別支援医学)
 岩崎信明 (茨城県立医療大学小児科)
- P-224 **Burst-suppression 様の背景脳波を呈し phenytoin が有効であった malignant migrating partial seizures in infancy の1例**
 ○親里嘉展, 中川 卓, 起塚 庸, 高見勇一, 松尾雅文
 神戸大学大学院小児科学
- P-225 **進行性ミオクローヌステんかん症候群のミオクローヌス重積に対するフェニトインの有効性**
 ○宮原綾子, 佐久間啓, 斎藤義朗, 小牧宏文, 中川栄二, 須貝研司, 佐々木征行
 国立精神・神経センター武蔵病院小児神経科
- P-226 **月経てんかんに対するガバペンチンの効果**
 ○高石康子, 藤野 修, 桑原健太郎, 岡田一芳, 藤田武久, 川上康彦, 藤松真理子, 小泉慎也
 日本医科大学小児科
- P-227 **難治性てんかんに対するガバペンチンの有効性の検討**
 ○渡辺好宏¹, 市川和志², 武下草生子², 根津敦夫²
 済生会横浜市南部病院小児科¹, 横浜市立大学市民総合医療センター小児総合医療センター²
- P-228 **Wolf-Hirschhorn 症候群に半身けいれん重積を認めカルバマゼピンが有効であった2例**
 ○小穴信吾, 渡邊聖子, 渡邊嘉章, 山中 岳, 宮島 祐, 星加明徳
 東京医科大学
- P-229 **トピラメートの抗けいれん作用**
 ○永木 茂, 高橋里恵子, 大澤真木子
 東京女子医科大学小児科
- P-230 **軽症胃腸炎関連けいれんに対するフェノバルビタール坐薬初回大量療法の有効性**
 ○今高城治, 山内秀雄, 有阪 治
 獨協医科大学小児科
- P-231 **ジアゼパム座薬定時投与が有効であった脳形成異常症に伴う難治性てんかんの3症例**
 ○仁後綾子^{1,2}, 熊田聡子¹, 星野 愛¹, 富田 直¹, 花房由季子¹, 栗原栄二¹, 清水弘之³
 都立神経病院神経小児科¹, 都立府中病院小児科², 都立神経病院脳神経外科³
- 16:55 ~ 17:35 てんかん 4 (S388)
 座長 松本昭子 (愛知県心身障害者コロニーこぼと学園)
 松坂哲應 (長崎県立こども医療福祉センター小児神経科)
- P-232 **軽微な不全片麻痺を呈する症候性 West 症候群の検討**
 ○塩田睦記, 小国弘量, 伊藤 康, 大澤真木子
 東京女子医科大学小児科
- P-233 **先天性第 V 因子欠損による脳実質内と硬膜下の多発出血後, 寛解した West 症候群の1女児例**
 ○福與なおみ¹, 萩野谷和裕^{1,2}, 植松 貢¹, 土屋 滋¹
 東北大学大学院小児病態学¹, 宮城県拓桃医療療育センター²
- P-234 **重症心身障害児に合併した infantile spasms に対する ACTH 治療の検討**
 ○熊田知浩, 三國貴康, 木村暢佑, 宮嶋智子, 藤井達哉
 滋賀県立小児保健医療センター小児科
- P-235 **ケトン食療法が奏効した HIE (低酸素性虚血性脳症) 後の点頭てんかんの1女児例**
 ○立石美穂, 鍋谷まこと, 和田 浩, 船戸正久
 淀川キリスト教病院小児科
- P-236 **高ゾニサミド血症に非けいれん性重積状態を来した1女児例**
 ○森山伸子¹, 菊地 斉¹, 山岡明子¹, 直井高歩¹, 岩崎信明²
 茨城県立こども病院小児科¹, 茨城県立医療大学小児科²
- P-237 **先天性高乳酸血症における難治性てんかんに対するケトン食療法の試み**
 ○菊池敦生^{1,2}, 植松 貢¹, 小林朋子¹, 松本葉子¹, 涌澤圭介¹, 中山東条¹, 福與なおみ¹, 萩野谷和裕³,
 土屋 滋¹
 東北大学小児科¹, 石巻赤十字病院小児科², 宮城県拓桃医療療育センター³
- P-238 **マグネシウムの静注が著効した新生児期発症のてんかん性脳症の1例**
 ○木村志保子, 川脇 壽, 服部妙香, 温井めぐみ, 九鬼一郎, 岡崎 伸
 大阪市立総合医療センター小児医療センター小児神経内科

- P-239 「軽症胃腸炎に伴うけいれん」に対するカルバマゼピン少量経口療法とリドカイン持続静注療法の比較検討

○白川清吾, 勝盛 宏
東京臨海病院小児科

14:30 ~ 15:15 画像 2 (S392)

座長 川上康彦 (日本医科大学多摩永山病院小児科)
森本昌史 (京都府立医科大学小児科)

- P-240 Prader-Willi 症候群における行動障害と脳血流異常

○小倉加恵子, 藤井俊勝, 細貝良行, 篠原真弓, 森 悦朗
東北大学大学院高次機能障害学

- P-241 脳軟膜血管腫を認めず片側大脳半球に血流低下を認めた Sturge-Weber 症候群の 1 例

○米衛ちひろ, 豊島光雄, 四俣一幸, 河野嘉文
鹿児島大学小児科

- P-242 West 症候群後難治性てんかんの脳磁図, 脳機能画像をもちいた評価

○佐伯啓介, 中川栄二, 佐久間啓, 斎藤義朗, 小牧宏文, 須貝研司, 佐々木征行
国立精神・神経センター武蔵病院小児神経科

- P-243 潜因性 West 症候群の発症時における髄鞘形成遅延

○高野知行, 柴田晶美, 林 安里, 底田辰之, 阪上由子, 澤井ちひろ, 竹内義博
滋賀医科大学小児科

- P-244 Three-dimensional ultrasound application in a congenital lipoma of corpus callosum

○Wei-Yuan Huang¹, Nan-Chang Chiu¹, Che-Sheng Ho¹, Po-Lei Lee²
Department of Pediatric Neurology, Mackay Memorial Hospital, Taipei, Taiwan¹, Institute of Brain Science, National Yang-Ming University, Taipei, Taiwan²

- P-245 急性脳症における NIRS を用いた脳皮質血流についての検討

○市川和志, 武下草生子, 根津敦夫
横浜市立大学市民総合医療センター小児総合医療センター

- P-246 二相性脳症における拡散テンソル画像

○池野 充, 奥村彰久, 安部信平, 斉藤雅子, 中澤友幸
順天堂大学小児科・思春期科

- P-247 細菌性髄膜炎における頭部造影 MRI の検討

○原田明佳, 吉田健司, 辻 雅弘
神戸市立医療センター中央市民病院小児科

- P-248 マイコプラズマ感染症に伴い一過性脳梁膨大部病変を示した 1 女児例

○徳永洋一
九州労災病院小児科, 国立病院機構小倉病院小児科

15:15 ~ 15:50 画像 3 (S397)

座長 松尾宗明 (佐賀大学小児科)
中川栄二 (国立精神・神経センター武蔵病院小児神経科)

- P-249 周産期低酸素性虚血性脳障害による中心被蓋路病変の出現頻度

○岸野 愛, 洲鎌盛一
国立成育医療センター総合診療部

- P-250 癩痕脳回 (ulegyria) 6 例の臨床的検討—その特徴的経過と診療上の留意点について—

○田辺 良¹, 藤井克則¹, 遠藤真美子¹, 前本達男², 内川英紀¹, 安斎 聡¹, 吉橋 学¹, 河野陽一¹
千葉大学大学院小児病態学¹, 国保旭中央病院小児科²

- P-251 画像上低酸素性脳症が疑われた重症貧血の 1 女児例

○菊池健二郎¹, 衛藤義勝²
東京慈恵会医科大学附属青戸病院小児科¹, 同 小児科学²

- P-252 小児期における posterior leukoencephalopathy syndrome とその類似例の検討—臨床および MRI 画像の検討—

○小一原玲子¹, 浜野晋一郎²
深谷赤十字病院小児科¹, 埼玉県立小児医療センター 神経科²

- P-253** 中鎖アシル-CoA 脱水素酵素欠損症における MRI 拡散強調画像
○山口 結¹, 吉良龍太郎¹, 鷲東葉摘¹, 鳥巢浩幸¹, 實藤雅文¹, 長谷川有紀², 山口清次², 原 寿郎¹
九州大学大学院成長発達医学小児科¹, 鳥根大学小児科²
- P-254** 大脳白質のびまん性 T2 延長および脳動脈瘤を伴った Alagille 症候群の 1 例
○下郷幸子, 小崎健次郎, 高橋孝雄
慶應義塾大学小児科
- P-255** Lowe 症候群に 3 例における頭部 MRI の経時的変化
○平山 文¹, 幕田政博¹, 沢石由記夫²
秋田県小児療育センター小児科¹, 秋田大学小児科²

15:50 ~ 16:35 末梢神経 (S400)

- 座長 下野昌幸 (産業医科大学小児科)
沖永剛志 (大阪大学大学院小児科学)
- P-256** 変異 aprataxin 導入培養ラット末梢神経における髄鞘形成
○堀本佳誉¹, 菊池 真², 小塚直樹³, 館 延忠⁴
北海道済生会西小樽病院¹, 札幌医科大学解剖学第一講座², 同 保健医療学部理学療法学科³, 同 作業療法学科⁴
- P-257** 小児 Charcot-Marie-Tooth 病 1A 型の臨床像: 早期診断のポイントとその留意点
○齋藤直樹¹, 藤井克則¹, 遠藤真美子¹, 田邊 良¹, 金子堅一郎², 河野陽一¹
千葉大学大学院小児病態学¹, 順天堂大学浦安病院小児科²
- P-258** 小児 Miller-Fisher 症候群の臨床像—ガンマグロブリン療法の必要性について—
○榎本麻衣子¹, 藤井克則¹, 新井ひでえ², 吉橋 学¹, 遠藤真美子¹, 小俣 卓², 大竹 明³, 田辺雄三², 河野陽一¹
千葉大学大学院小児病態学¹, 千葉県こども病院神経科², 埼玉医科大学小児科³
- P-259** 筋痛から発症し筋力低下, 失調を呈し Guillain-Barré 症候群亜型と考えられた 1 例
○佐藤育子^{1,2}, 涌澤圭介¹, 柿坂庸介¹, 萩野谷和裕³
東北大学小児科¹, 気仙沼市立病院小児科², 宮城県拓桃医療療育センター小児科³
- P-260** 下肢痛を唯一の症状とし, 蛋白細胞解離, 抗 GM1 抗体上昇を呈した acute sensory neuropathy の 12 歳 女児例
○出島 直, 尾崎 望
京都民医連中央病院小児科
- P-261** 伝染性紅斑罹患後に acute autonomic and sensori-motor neuropathy を発症した 1 例
○花井彩江¹, 佐久間啓¹, 小牧宏文¹, 斎藤義朗¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹, 日暮憲道², 浜野晋一郎²
国立精神・神経センター武蔵病院小児神経科¹, 埼玉県立小児医療センター神経科²
- P-262** 病初期診断に苦慮した慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチーの 1 例
○井上岳彦¹, 斎藤義朗¹, 前垣義弘¹, 大野耕策¹, 福田千佐子², 富田 豊²
鳥取大学脳神経小児科¹, 同 保健学科病態検査学²
- P-263** Novel mutation による giant axonal neuropathy の長期経過
○森田祥子¹, 赤木幹弘², 毛利育子³, 加藤久美³, 北井征宏¹, 新谷 研¹, 富永康仁¹, 下野九理子¹, 沖永剛志¹, 酒井則夫¹, 谷池雅子³, 大藪恵一¹
大阪大学大学院小児科学¹, 大手前病院小児科², 大阪大学大学院子どものこころの分子統御機構 研究センター³
- P-264** 出血性ショック後の神経因性疼痛にガバペンチンが有効だった 1 女児例
○樋口 司, 永春幸子, 三澤由佳, 福山哲広, 稲葉雄二
信州大学小児医学

16:35 ~ 17:10 形態・病理 (S405)

- 座長 穴倉啓子 (東京女子医科大学小児科)
高野知行 (滋賀医科大学小児科)
- P-265** 新生仔ラットにおけるセロトニン神経線維の運動細胞に対する投射様式の発達と, それに対する低酸素 負荷の影響
○田中 肇¹, 雨宮 聡², 高橋 悟¹, 鈴木菜生¹, 荒木章子¹, 大日向純子¹, 藤枝憲二¹
旭川医科大学小児科¹, 旭川厚生病院小児科²

- P-266** ヒト外転神経核の形態学的発達について
○山口勝之^{1,2}
獨協医科大学病理学(形態)¹, 脳神経疾患研究所総合南東北病院小児科²
- P-267** 神経細胞特異的ノックアウトマウスの作製と解析
○村松一洋^{1,2}, 緒方朋実¹, 澤浦法子¹
群馬大学大学院小児生体防御学¹, 同 体調節研究所細胞構造分野²
- P-268** Dscam1 ノックアウトマウスは中枢性呼吸異常を示す
○天野賢治¹, 藤井盛光², 荒田晶子², 山川和弘¹
理化学研究所脳科学総合研究センター神経遺伝研究チーム¹, 同 記憶学習²
- P-269** Down 症モデルマウス脳におけるヘキサノイルリジンおよびヒドロキシノネナル修飾タンパク質量の増加と修飾タンパク質の同定
○石原慶一, 山川和弘
理化学研究所脳科学総合研究センター神経遺伝研究チーム
- P-270** Down 症モデルマウス (Ts1Cje) に見られた行動抑制障害
○下畑充志, 山川和弘
理化学研究所脳科学総合研究センター神経遺伝研究チーム
- P-271** 小児神経発達の進化的基盤の解明にむけて—チンパンジー幼児期における扁桃体の発達—
○酒井朋子, 三上章允
京都大学理学部霊長類研究所行動神経研究部門

17:10 ~ 17:55 代謝・変性 1 (S408)

座長 中野和俊 (東京女子医科大学小児科)
小坂 仁 (神奈川県立こども医療センター神経内科)

- P-272** 急性脳症を反復しミトコンドリア DNA 点変異または欠失が明らかでない2例
○小平隆太郎, 今井由生, 遠藤あゆみ, 荒川千賀子, 藤田之彦, 淵上達夫
日本大学小児科
- P-273** 幼児期に発症した脊髄小脳失調症2型の1男児例
○岸 和子¹, 柴田直昭¹, 瀬島 齊¹, 山口清次¹, 江田伊勢松²
鳥根大学小児科¹, 西部鳥根医療福祉センター脳神経小児科²
- P-274** 血尿にて発症し, その後の神経症状にて診断された Wilson 病の1例
○清水教一, 青木継稔
東邦大学小児科学第二講座
- P-275** 痙直型両麻痺の病像で発症した H-ABC syndrome の1例
○吉田菜穂子¹, 廣田陽代¹, 神田豊子¹, 家森百合子¹, 吉田昌子², 早川克己²
聖ヨゼフ医療福祉センター聖ヨゼフ整形外科¹, 京都市立病院放射線科²
- P-276** T295M 変異による glucose transporter type 1 欠損症候群の特徴
○藤井達哉¹, 森本昌史², 吉岡 博³, Ho Yuan-Yuan⁴, Law Peggy PY⁴, Wang Dong⁵,
De Vivo Darryl C⁵
滋賀県立小児保健医療センター小児科¹, 京都府立医科大学小児科², よしおかこどもクリニック³,
香港中文大学生化学教室⁴, コロンビア大学神経内科 Colleen Giblin 小児神経研究室⁵
- P-277** 糖輸送担体1異常症に対するグルコース静注による脳波・臨床症状の変化について
○鶴井 聡¹, 関井克行¹, 大関武彦², 柳原恵子³
聖隷沼津病院小児科¹, 浜松医科大学小児科², 大阪府立母子保健総合医療センター研究所免疫部門³
- P-278** けいれん, 意識障害, 代謝性アシドーシスを契機に, ジストニアが進行した両側線条体壊死の1男児例
○石川亜貴¹, 加藤高広¹, 大屋一博¹, 館 延忠², 後藤雄一³
札幌医科大学小児科¹, 同 保健医療学部², 国立精神・神経センター神経研究所疾研二部³
- P-279** 小児交互性片麻痺の皮膚血管電顕所見
○佐々木征行¹, 須貝研司¹, 中川栄二¹, 斎藤義朗¹, 小牧宏文¹, 佐久間啓¹, 有馬邦正²
国立精神・神経センター武蔵病院小児神経科¹, 同 臨床検査部²
- P-280** 特徴的な病理像を呈したムコリピドーシス III 型の男性例
○小林博司^{1,3}, 藤ヶ崎純子², 福田隆浩², 櫻井 謙^{1,3}, 井田博幸^{1,3}, 大橋十也^{1,3}, 衛藤義勝^{1,3}
東京慈恵会医科大学小児科¹, 同 神経病理学², 同 DNA 医学研究所遺伝子治療研究部³

14:30 ~ 15:10 発達 (S413)

座長 稲垣真澄 (国立精神・神経センター精神保健研究所知的障害部)
高田 哲 (神戸大学保健学科)

- P-281** 児の利き手はいつきまるのか?
—日本の子供の発達コホート研究：大脳半球機能分化と社会能力の発達に関する研究—
○塩谷裕香¹, 松澤重行^{1,2}, 澤田晃子¹, 吉田ゆみ¹, 栗屋智就^{1,2}, 岡田真子^{1,2}, 池田浩子³, 富和清隆^{1,2}
科学技術振興機構¹, 京都大学大学院², 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター³
- P-282** 児の利き手と親の願う利き手
—日本の子供の発達コホート研究：大脳半球機能分化と社会能力の発達に関する研究—
○塩谷裕香¹, 澤田晃子¹, 松澤重行^{1,2}, 吉田ゆみ¹, 栗屋智就^{1,2}, 岡田真子^{1,2}, 池田浩子³, 富和清隆^{1,2}
科学技術振興機構¹, 京都大学大学院², 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター³
- P-283** 18カ月児の laterality (片側性) の性差, および親の利き手との関連
—日本の子どもの発達コホート研究より—
○松澤重行^{1,2}, 塩谷裕香¹, 澤田晃子¹, 吉田ゆみ¹, 栗屋智就^{1,2}, 岡田真子^{1,2}, 池田浩子³, 富和清隆^{1,2}
科学技術振興機構¹, 京都大学大学院², 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター³
- P-284** 乳幼児の頭囲成長の評価について
—日本の子どもの発達コホート研究：身体発育と社会能力の計測から—
○澤田晃子¹, 松澤重行^{1,2}, 塩谷裕香¹, 吉田ゆみ¹, 栗屋智就^{1,2}, 岡田真子¹, 池田浩子³,
富和清隆^{1,2}
科学技術振興機構社会技術研究開発センター日本の子どもの発達コホート研究 (JCS)¹, 京都大学
大学院², 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター³
- P-285** 発達コホート研究における医師観察に関する検討
—6歳時診断に基づく5, 6歳医師観察法の再評価—
○関あゆみ^{1,2}, 竹内亜理子^{1,2}, 小枝達也^{1,2}
科学技術振興機構 (JST/RISTEX)¹, 鳥取大学地域学部地域教育学科²
- P-286** 茨城県行方市保健センターにおける5歳児健診
○鈴木直光
なめがた地域総合病院小児科
- P-287** 探索眼球運動評価による小児期の視覚認知機能の発達
○江上千代美^{1,2}, 森田喜一郎³, 石井洋平³, 山下裕史朗², 松石豊次郎², 大矢崇志³
医療福祉専門学校緑生館看護学科¹, 久留米大学小児科², 同 高次脳疾患研究所³
- P-288** 島田療育センターにおける Down 症児の早期療育グループ指導について
○上石晶子, 大瀧 潮, 佐々木匡子, 中島未美, 小沢 浩, 石塚丈宏, 有本 潔, 木実谷哲史
島田療育センター小児科

15:10 ~ 15:50 脳性麻痺・療育 1 (S417)

座長 栗原まな (神奈川県総合リハビリテーションセンター小児科)
家島 厚 (茨城県立こども福祉医療センター小児科)

- P-289** 低出生体重児あるいは多胎で出生した脳性麻痺児についての検討
○宍戸 淳^{1,2}, 有賀賢典¹, 早川美佳¹, 今井佑之¹, 落合幸勝¹, 衛藤義勝²
都立北療育医療センター小児科¹, 東京慈恵会医科大学小児科²
- P-290** 歩ける脳性まひ児の姿勢反応
○家森百合子, 吉田菜穂子, 廣田陽代, 神田豊子
聖ヨゼフ医療福祉センター小児科
- P-291** 大腿骨骨折を発症した脳性麻痺児 5 症例の検討
○安藤直樹, 小林 悟, 服部文子, 伊藤哲哉, 戸荻 創
名古屋市立大学大学院新生児・小児医学
- P-292** Treatment with autologous umbilical cord blood for infantile or childhood cerebral palsy
○Chuan-Yu, Wang MD, PhD, Kuan-Sheng Chor, MD, PhD², Men-Yao Lu, MD², Kai-Hsin Lin, MD², Dah-Chin Yan, MD³ and Tzou-Yien Lin, MD⁴
Taipei Division of Pediatric Neurology, Chang Gung Children Hospital, Tao-Yuan, Taipei, Taiwan¹, Pediatric Hematology Oncology, National Taiwan University Hospital, Taipei, Taiwan², Taipei Division of Pediatric Immunology, Chang Gong Children Hospital Taipei, Taiwan³

- P-293** 肢体不自由児施設における環境療法—ペアレントトレーニングの手法を取り入れた取り組み—
○長瀬美香¹, 北 道子², 高橋長久¹, 米山 明¹, 北住映二¹
心身障害児総合医療療育センター小児科¹, 同 小児精神科²
- P-294** 肢体不自由施設における長期入園児に対する SST (ソーシャルスキルトレーニング) の検討
○高橋長久, 長瀬美香, 北 道子, 米山 明, 北住映二
心身障害児総合医療療育センター小児科
- P-295** 里親に養育されている脳性麻痺児の療育における問題点
○宮本晶恵, 福田郁江, 岡 隆治, 長 和彦
北海道立旭川肢体不自由児総合療育センター小児科
- P-296** 成人期における重症心身障害児・者の生活習慣病— SMID データベースを用いて—
○曾根 翠, 荒木克仁, 倉田清子
東京都立東大和療育センター

15:50 ~ 16:20 脳性麻痺・療育 2 (S421)

- 座長 田角 勝 (昭和大学小児科)
北原 侑 (鳥取県立総合療育センター)
- P-297** 大阪府医師会による「医療的ケア」の教育リソースの作成
○服部英司¹, 永井利三郎^{2,6}, 船戸正久^{3,6}, 田川哲三^{4,6}, 根岸宏邦^{5,6}
大阪市立大学大学院発達小児医学¹, 大阪大学大学院生命育成看護科学², 淀川キリスト教病院小児科³, 大阪厚生年金病院小児科⁴, 特定(医)愛仁会高槻病院⁵, 大阪府医師会小児の医療的ケア検討委員会⁶
- P-298** 重症心身障害児・者における医療ケア実施に関する実態調査についての報告
○阿部純子, 永江彰子, 藤田泰之, 口分田政夫
びわこ学園医療福祉センター草津
- P-299** 学校における「医療的ケア」の実態と学校医の認識
○横川しのぶ¹, 永井利三郎^{1,7}, 池田友美^{1,2}, 奥野裕子¹, 杉浦圭子¹, 高間さとみ¹, 田川哲三^{3,7}, 根岸宏邦^{4,7}, 服部英司^{5,7}, 船戸正久^{6,7}
大阪大学大学院保健学専攻¹, 兵庫大学健康科学部², 大阪厚生年金病院小児科³, 特定医療法人愛仁会高槻病院⁴, 大阪市立大学大学院発達小児医学⁵, 淀川キリスト教病院小児科⁶, 大阪府医師会小児の医療的ケア検討委員会⁷
- P-300** 茨城県内養護学校教員における医療—教育連携および医療的ケアに関する実態調査—
○大歳太郎¹, 高田 哲², 岩崎信明³
星城大学リハビリテーション学部作業療法学専攻¹, 神戸大学保健学科², 茨城県立医療大学附属リハビリテーション病院小児科³
- P-301** 重症心身障害児・者に対する新しい医療度評価の試み
○永江彰子¹, 阿部純子¹, 藤田泰之¹, 口分田政夫¹, 横地健治²
びわこ学園医療福祉センター草津¹, 聖隷おおぞら療育センター²
- P-302** 重症心身障害児者通所施設におけるキャリアオーバー医療の現状
○大谷良子^{1,2}, 松井美穂子¹, 作田亮一²
都立北療育医療センター城北分園¹, 獨協医科大学越谷病院小児科²

16:20 ~ 17:05 脳性麻痺・合併症 (S424)

- 座長 佐々木征行 (国立精神・神経センター武蔵病院小児神経科)
落合幸勝 (東京都立北療育医療センター小児科)
- P-303** 重症心身障害児・者における低 Na 血症
○後藤晴美, 鈴木郁子, 丸木和子
(社福)毛呂病院光の家小児科
- P-304** 亜鉛投与により銅欠乏性の貧血・無顆粒球症をきたし, 急性白血球様の骨髓像を呈した経腸栄養中の重症心身障害の 1 女児例
○永春幸子, 稲葉雄二, 三澤由佳, 福山哲広, 樋口 司
信州大学小児医学
- P-305** 重症心身障害者における purple glove syndrome の経験と phenytoin 静注投与の問題点
○桂 千晶, 中川栄二, 佐伯啓介, 佐久間啓, 斎藤義朗, 小牧宏文, 須貝研司, 佐々木征行
国立精神・神経センター武蔵病院小児神経科

- P-306** 感染症罹患を契機に不全型 **Fanconi** 症候群を発症した重症心身障害者の2例
 ○新美妙美, 石田修一
 国立病院機構中信松本病院小児科
- P-307** 抗てんかん薬の併用療法による悪性症候群と考えられた重症心身障害の1例
 ○神谷裕子^{1,2}, 中根貴弥¹, 畠山和男², 中村幸介¹, 野口佐綾香¹, 杉田完爾², 相原正男²
 国立病院機構甲府病院小児科¹, 山梨大学小児科²
- P-308** 肺炎を発症した重症心身障害児の3例
 ○鈴木由芽, 森 雅人, 後藤珠子, 山形崇倫, 桃井真里子
 自治医科大学小児科学
- P-309** 重症心身障害児(者)のビタミンK依存性凝固異常の検討
 ○新井麻子, 佐久間啓, 斎藤義朗, 小牧宏文, 中川栄二, 須貝研司, 佐々木征行
 国立精神・神経センター武蔵病院小児神経科
- P-310** 長期経管栄養管理中の貧血-胃液廃棄による内因子欠乏例を中心に
 ○藤田ひとみ, 鈴木由芽, 後藤珠子, 諏訪清隆, 森 雅人, 山形崇倫, 桃井真里子
 自治医科大学小児科
- P-311** 周期性嘔吐症を伴った重症心身障害児の1男児例と就学
 ○西本幸弘
 南紀福祉センター小児科

17:05 ~ 17:45 脳性麻痺・不随意運動 (S428)

座長 樋口和郎 (済生会明和病院, なでしこ)
 神田豊子 (聖ヨゼフ医療福祉センター小児科)

- P-312** 機能的脊髄後根切断術の術後経過
 ○當山 潤, 當山真弓
 沖縄小児発達センター
- P-313** Hallervorden-Spatz 病に伴う全身性ジストニアに対し脳深部電極刺激療法が有効であった1例
 ○立川恵美子¹, 舟塚 真¹, 田宮さやか¹, 中務秀嗣¹, 藤井明子¹, 小平かやの¹, 坂内優子¹, 落合 卓², 平 孝臣², 大澤真木子¹
 東京女子医科大学小児科¹, 同 脳神経センター脳神経外科²
- P-314** 喉頭ジストニーとカタトニー状態を呈したA群色素性乾皮症の1例
 ○井手口博, 二之宮信也, 井原由紀子, 友納優子, 藤田貴子, 中村紀子, 井上貴仁, 安元佐和, 廣瀬伸一
 福岡大学小児科
- P-315** 重症心身障害児における経皮内視鏡的胃瘻造設術の検討
 ○武下草生子¹, 平澤欣吾², 矢原 青², 市川和志¹, 根津敦夫¹
 横浜市立大学市民総合医療センター小児総合医療センター¹, 同 消化器病センター²
- P-316** 当センターでの重症心身障害児(者)における在宅酸素療法の検討
 ○松藤博紀, 末永尚子, 西河美希, 杉尾嘉嗣
 鼓ヶ浦こども医療福祉センター小児科
- P-317** 慢性呼吸不全を合併する重症心身障害児(者)での非侵襲的換気療法
 ○児玉真理子¹, 米山 明¹, 村山恵子^{1,2}, 荷見博樹¹, 中谷勝利¹, 篠崎裕子³, 安西有紀⁴, 北住映二¹
 心身障害児総合医療療育センター¹, げんきこどもクリニック², 国立精神・神経センター武蔵病院小児神経科³, 済生会横浜市東部病院こどもセンター⁴
- P-318** ボツリヌスA型毒素唾液腺内投与により誤嚥性肺炎の重症化が予防できた1女児例
 ○スピヤント・ケイジ, 笹月桃子, 坂本 慶, 相部美由紀, 水野勇司
 国立病院機構福岡東医療センター小児科
- P-319** 重症児者に対するプロマックによる亜鉛補充療法について
 ○和田恵子, 長 博雪, 舟橋満寿子, 鈴木康之
 東京小児療育病院

第4日目 第1会場 (ペガサスA)

- 8:00 ~ 9:00 モーニング教育セミナー 4: エーザイ株式会社…………… (S145)
 小奇形から胎児病理を推理する
 座長 山本 仁 (聖マリアンナ医科大学小児科)
 講演 小崎健次郎 (慶應義塾大学小児科)
- 9:00 ~ 9:40 教育講演 8…………… (S109)
 微小管関連蛋白 doublecortin とその仲間たちによる神経細胞遊走の制御機構
 座長 高橋孝雄 (慶應義塾大学小児科)
 講演 田中輝幸 (東京大学大学院発達医科学)
- 9:40 ~ 10:50 睡眠・行動障害…………… (S258)
 座長 神山 潤 (東京北社会保険病院小児科)
 杉田克生 (千葉大学教育学部基礎医科学)
- O-171 修正 12 ヶ月前後の早期産児の夜間睡眠の特徴
 ○安積陽子^{1,2}, 松井学洋², 高田 哲²
 甲南女子大学看護リハビリテーション学部¹, 神戸大学大学院博士後期課程保健学²
- O-172 睡眠習慣・睡眠障害と行動の問題との関連
 ○岡 靖哲^{1,2}, 鈴木周平²
 (財) 神経研究所附属睡眠学センター¹, 大阪医科大学高次脳機能発達総合研究講座²
- O-173 脳幹部海綿状血管腫に合併した睡眠異常
 ○下野九理子¹, 加藤久美², 北井征宏¹, 新谷 研¹, 富永康仁¹, 沖永剛志¹, 毛利育子²,
 谷池雅子², 大藪恵一¹
 大阪大学大学院小児科学¹, 同 こどものこころの分子統御機構研究センター環境関連分子解析部
 門²
- O-174 睡眠障害を有する発達障害へのメラトニン治療—最近 3 年間 178 例の治療経験, 睡眠以外の変化も含めて—
 ○石崎朝世, 洲鎌倫子, 竹内紀子
 (社) 発達協会王子クリニック
- O-175 精神神経症状を呈した患者における血中抗脳抗体
 ○本郷和久, 原井朋美, 藤木靖子, 宮 一志, 影山隆司, 田仲千秋, 八木信一, 本間一正,
 宮脇利男, 遠藤彰一
 富山大学小児科発達小児神経部門
- O-176 インフルエンザの経過中に異常行動・言動を呈した症例に対するリン酸オセルタミビル (タミフル[®])
 による治療経過について
 ○田辺卓也¹, 原 啓太¹, 富永三和¹, 島川修一², 玉井 浩²
 市立枚方市民病院小児科¹, 大阪医科大学小児科²
- O-177 乳幼児の虐待が疑われる外傷性脳傷害患者は外傷ではなく, 神経症状を主訴に来院する
 ○永瀬裕朗¹, 奥山真紀子², 青木一憲¹, 丸山あずさ¹
 兵庫県立こども病院脳神経内科¹, 国立成育医療センターこころの診療部²
- 10:50 ~ 11:00 閉会式

第4日目 第2会場 (ペガサス B)

- 8:00 ~ 9:00 モーニング教育セミナー 5: 万有製薬株式会社…………… (S146)
 小児神経画像診断 A to Z
 座長 橋本俊顕 (徳島赤十字ひのみね総合療育センター)
 講演 大場 洋 (帝京大学放射線科)
- 9:00 ~ 9:50 不随意運動・てんかん (PC 動画)…………… (S261)
 座長 若井周治 (中の島診療所)
 木村一恵 (瀬川小児神経学クリニック)
- O-178 発作性労作誘発性ジスキネジアの1例
 ○佐藤孝俊¹, 伊藤 康^{1,2}, 衛藤 薫¹, 阿部和代¹, 西川愛子¹, 藤井明子¹, 今井 薫¹,
 小国弘量¹, 大澤真木子¹
 東京女子医科大学小児科¹, 土屋小児病院小児科²
- O-179 強直けいれん重積状態との鑑別を要した haloperidol 反応性ジストニアの2重症心身障害児
 ○関口和人, 宮原弘明, 清水未希, 前田知己, 秋吉健介, 泉 達郎
 大分大学脳・神経機能統御講座小児科学
- O-180 Paroxysmal tonic upgaze of childhood の1例
 ○榎日出夫
 聖隷浜松病院小児神経科
- O-181 神経節細胞腫に起因する局在関連てんかんが periodic spasms を引き起こした1例
 ○粟屋智就¹, 長田加寿子¹, 柴田 実¹, 山中康成¹, 加藤竹雄¹, 中畑龍俊¹, 富和清隆²
 京都大学大学院発達小児科学¹, 同 遺伝カウンセラー・コーディネーターユニット²
- O-182 初期には脳波上ヒプスアリスミアを示さずに発作は spasms を呈し, その後強直発作に移行した1男児例
 ○渡邊年秀, 皆川公夫
 北海道立子ども総合医療・療育センター
- 9:50 ~ 10:50 てんかん・けいれん 4…………… (S264)
 座長 吉永治美 (岡山大学大学院発達神経病態学)
 永井利三郎 (大阪大学大学院保健学専攻)
- O-183 けいれん重積時, プロポフォールが著効した3症例
 ○細谷まち子
 佐久総合病院小児科
- O-184 小児期の難治な部分発作に対する gabapentin の効果
 ○岩崎俊之¹, 野々田豊¹, 武井研二^{1,2}, 細田のぞみ^{1,2}, 石井正浩¹
 北里大学小児科¹, 相模原療育園²
- O-185 小児期発症の難治性てんかん例における gabapentin の長期効果の検討
 ○岡崎 伸¹, 川脇 壽¹, 服部妙香¹, 温井めぐみ¹, 九鬼一郎¹, 木村志保子¹, 石川順一², 外川正生²,
 塩見正司³, 富和清隆^{1,4}
 大阪市立総合医療センター小児医療センター小児神経内科¹, 同 小児医療センター小児救急科²,
 同 感染症センター³, 京都大学遺伝カウンセラーコーディネーターユニット⁴
- O-186 難治てんかんに対する臭化カリウムの効果
 ○須貝研司, 佐久間啓, 小牧宏文, 中川栄二, 佐々木征行
 国立精神・神経センター武蔵病院小児神経科
- O-187 小児難治性てんかんに対するケトン食療法の再検討
 ○小国美也子^{1,2}, 小国弘量², 大澤真木子², 伊藤 康², 伊藤 進²
 山脇学園短期大学食物科¹, 東京女子医科大学小児科²
- O-188 バルプロ酸で加療中の初発てんかん患児における血清尿酸値
 ○岸 高正
 国家公務員共済広島記念病院小児科
- 12:00 ~ 16:00 市民公開講座: 日本イーライリリー株式会社
 こどもの心を温く育むために
 座長 松石豊次郎 (久留米大学小児科)
 榊原洋一 (お茶の水女子大学チャイルドケア&エデュケーション講座)

第4日目 第3会場 (ペガサスC)

- 8:00 ~ 9:00 モーニング教育セミナー 6: 大日本住友製薬株式会社 (S147)
 眼で見てんかん発作—全般発作編—
 座長 大田原俊輔 (岡山大学名誉教授)
 講演 小国弘量 (東京女子医科大学小児科)
- 9:00 ~ 9:50 補助診断 (PC 動画) (S267)
 座長 山形崇倫 (自治医科大学小児科)
 作田亮一 (獨協医科大学越谷病院小児科)
- O-189 仮死による神経障害の早期発見とフォローアップに関する研究—視覚認知機能障害の診断と介入方法の検討—
 ○山口文佳¹, 平澤恭子², 田村正徳¹
 埼玉医科大学総合医療センター小児科¹, 東京女子医科大学小児科²
- O-190 福山型先天性筋ジストロフィーにおける嚥下障害の検討
 ○森 有加, 木部哲也, 横地健治
 聖隷三方原病院小児科
- O-191 Marcus Gunn 現象を呈する兄妹例
 ○池田佳世¹, 柳原恵子^{1,2}, 荒井 洋^{1,3}
 りんくう総合医療センター市立泉佐野病院小児科¹, 大阪府立母子保健総合医療センター研究所², 森之宮病院小児神経科³
- O-192 PET が診断に有用であった限局性脳炎の1例
 ○関川麻里子¹, 新島新一¹, 飯島禎貴¹, 岩崎友弘¹, 鎌田彩子¹, 田原加奈子¹, 鈴木竜洋¹, 渡辺直樹¹, 大友義之¹, 奥村彰久², 林 雅晴³
 順天堂大学練馬病院小児科¹, 同 順天堂大学小児科², 東京都神経科学総合研究所臨床神経病理³
- O-193 携帯電話ネットによる在宅重症心身障害児の遠隔ケア
 ○笛木 昇¹, 福山哲広², 石田修一³, 平林伸一⁴, 平野 悟⁴
 長野県立こども病院リハビリテーション科¹, 信州大学病院小児科², 国立病院機構中信松本病院小児科³, 長野県立こども病院神経科⁴
- 9:50 ~ 10:50 ジストニア (PC 動画) (S269)
 座長 館野昭彦 (東邦大学医療センター佐倉病院小児科)
 田川哲三 (大阪厚生年金病院小児科)
- O-194 小児神経科専門医に対する小児期発症ジストニアの疫学調査
 ○舟塚 真, 加藤郁子, 大澤真木子
 東京女子医科大学小児科
- O-195 血清・髄液プテリジン分析によるドーパ反応性ジストニアのスクリーニング
 ○藤岡弘季¹, 新宅治夫¹, 平林伸一², 山野恒一¹
 大阪市立大学大学院発達小児医学¹, 長野県立こども病院神経科²
- O-196 頸部より発症し、頸部・体幹の分節性ジストニアを示した早期発症捻転ジストニア (DYT1) 小児例
 ○熊田聡子¹, 横地房子², 谷口 真³, 奥村さやか¹, 星野 愛¹, 花房由季子¹, 富田 直¹, 栗原栄二¹
 都立神経病院神経小児科¹, 同 脳神経内科², 同 脳神経外科³
- O-197 発声障害と首下がりを主徴とした瀬川病の1例
 ○花房由季子¹, 熊田聡子¹, 横地房子², 谷口 真³, 星野 愛¹, 富田 直¹, 栗原栄二¹, 新宅治夫⁴, 藤岡弘季⁴
 都立神経病院神経小児科¹, 同 脳神経内科², 同 脳神経外科³, 大阪市立大学大学院発達小児医学⁴
- O-198 少量レボドパ療法が喉頭ジストニアに有効であった A 群色素性乾皮症の2例
 ○宮田理英¹, 林 雅晴², 荒木 聡³, 神山 潤¹
 東京北社会保険病院小児科¹, 東京都神経科学総合研究所臨床神経病理², 東京医科歯科大学小児科³
- O-199 深部脳刺激により難治性不随意運動が著減した1女児例
 ○佐藤 研¹, 中川栄二¹, 花井彩江¹, 佐久間啓¹, 小牧宏文¹, 斎藤義朗¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹, 仲間秀幸², 大槻泰介²
 国立精神・神経センター武蔵病院小児神経科¹, 同 脳神経外科²